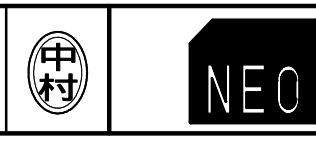


建築改修工事 特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																						
<p>【1】 工 事 概 要</p> <p>1. 工 事 場 所 _____</p> <p>2. 敷 地 面 積 _____ m²</p> <p>3. 建築物概要</p> <table border="1"> <tr> <th>棟 名</th> <th>構 造</th> <th>階 数</th> <th>建築面積(m²)</th> <th>延べ面積(m²)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>執務並行改修 全館無人改修</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>執務並行改修 全館無人改修</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>執務並行改修 全館無人改修</td> </tr> </table> <p>4. そ の 他 _____</p>		棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考						執務並行改修 全館無人改修						執務並行改修 全館無人改修						執務並行改修 全館無人改修	<p>1 一般共通事項</p> <p>特別な材料の工法 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>風圧力及び積雪に対する性能 建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速 (Vo) 3 2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 _____ 多雪地域の指定 なし あり</p> <p>現場代理人 本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。</p> <p>工事工程報告 月報は毎月末日に、翌5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週()曜日に提出する。</p> <p>工事実績情報の登録 (1.1.4) 適用する (適用事項は、現場説明書による)</p> <p>設備工事との取合い 施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>施工図等の取扱い (1.2.3) 施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。</p> <p>工事写真 (1.2.4) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 下記のものを経営職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>部 数(ネガ1枚につき)</th> <th>分 類 ・ 規 格</th> <th>原版の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>着 工 前</td> <td>1 カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工 事 中</td> <td>1 カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>完 成 時</td> <td>2 屋内 カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 外観 カラーサービス版</td> <td>60×70以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2 外観 カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>()箇所 カラーパネル半切</td> <td>60×70以上</td> </tr> </table> <p>写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。</p>	部 数(ネガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原版の大きさ(mm)	着 工 前	1 カラーサービス版	24×36以上	工 事 中	1 カラーサービス版	24×36以上	完 成 時	2 屋内 カラーサービス版	24×36以上		2 外観 カラーサービス版	60×70以上		2 外観 カラーサービス版	24×36以上		()箇所 カラーパネル半切	60×70以上	<p>1 一般共通事項</p> <p>P C B 含有シーリング材の分析調査 行う(____箇所) 行わない P C B 含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 蛍光灯ランプ H I Dランプ 硬質塩化ビニル管・継手</p> <p>再生資源利用【促進】計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による。</p> <p>マニフェスト制度 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p> <p>調査 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記より行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない</p> <p>石綿含有分析方法 行う(分析結果を監督職員に提出する) JIS A 1481に基づくこと</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(____箇所)</td> <td>(____箇所)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(____箇所)</td> <td>(____箇所)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(____箇所)</td> <td>(____箇所)</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		(____箇所)	(____箇所)		(____箇所)	(____箇所)		(____箇所)	(____箇所)	<p>17 施工の検査等 (1.7.5) 見本施工の実施 適用する(____) 適用しない</p> <p>18 化学物質の濃度測定 (1.7.9) 適用する (適用事項は、現場説明書による)</p> <p>完成図 (1.9.2) 作成する (提出部数 2部 ____部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。</p> <p>安全に関する資料 (1.9.3) 作成する (提出部数 2部 ____部) 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。</p>
棟 名	構 造	階 数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備 考																																																								
					執務並行改修 全館無人改修																																																								
					執務並行改修 全館無人改修																																																								
					執務並行改修 全館無人改修																																																								
部 数(ネガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原版の大きさ(mm)																																																											
着 工 前	1 カラーサービス版	24×36以上																																																											
工 事 中	1 カラーサービス版	24×36以上																																																											
完 成 時	2 屋内 カラーサービス版	24×36以上																																																											
	2 外観 カラーサービス版	60×70以上																																																											
	2 外観 カラーサービス版	24×36以上																																																											
	()箇所 カラーパネル半切	60×70以上																																																											
材 料 名	定性分析	定量分析																																																											
	(____箇所)	(____箇所)																																																											
	(____箇所)	(____箇所)																																																											
	(____箇所)	(____箇所)																																																											
<p>【2】 適 用 範 囲</p> <p>現場説明書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。 すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。 上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)をいう。(以下、これを「改修標仕」という。) 本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。</p>		<p>11 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する</p> <p>施工条件 (1.3.5) 現場説明書による</p> <p>発生材の処理等 (1.3.12) 引渡しを要するもの(____) 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの(____) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分(____) 自由処分(____) 最寄りの再資源化施設へ搬出すること(____) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理(____) 特別管理産業廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B を含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B 含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6 ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </table> <p>廃石綿の処分地(____) 東京都環境保全公社瑞穂センター</p>	種 類	処 理 方 法	廃石綿等		P C B を含む機器類		P C B 含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6 ガス使用機器		<p>14 石綿含有建材の調査 (1.5.1) 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記より行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない</p> <p>石綿含有分析方法 行う(分析結果を監督職員に提出する) JIS A 1481に基づくこと</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td></td> <td>(____箇所)</td> <td>(____箇所)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(____箇所)</td> <td>(____箇所)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(____箇所)</td> <td>(____箇所)</td> </tr> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		(____箇所)	(____箇所)		(____箇所)	(____箇所)		(____箇所)	(____箇所)	<p>2 仮設工事</p> <p>足場その他 (2.1.3) (2.2.1) 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所に枠組足場を設ける。 施行箇所にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 枠組足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p>																													
種 類	処 理 方 法																																																												
廃石綿等																																																													
P C B を含む機器類																																																													
P C B 含有シーリング																																																													
廃油																																																													
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																																																													
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																																																													
S F 6 ガス使用機器																																																													
材 料 名	定性分析	定量分析																																																											
	(____箇所)	(____箇所)																																																											
	(____箇所)	(____箇所)																																																											
	(____箇所)	(____箇所)																																																											
<p>【3】 工 事 区 分</p> <p>設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</p>		<p>15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3) 既存破壊部分の補修方法 図示による</p> <p>16 技能士 (1.7.2) 適用する技能士の技能検定における選択作業</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作业 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALCA補工事</td> <td>コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポット工事</td> <td>金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業	ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業	カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業	防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業	内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業	植栽工事	造園工事作業	<p>2 仮設工事</p> <p>足場その他 (2.1.3) (2.2.1) 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所に枠組足場を設ける。 施行箇所にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 枠組足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p>																		
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																												
仮設工事	とび作業																																																												
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																												
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業																																																												
鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業																																																												
ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業																																																												
カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業																																																												
防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業																																																												
石工事	石張り作業																																																												
タイル工事	タイル張り作業																																																												
木工事	大工工事作業																																																												
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																																												
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																																												
左官工事	左官作業																																																												
塗装工事	建築塗装作業																																																												
建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業																																																												
内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																																												
排水工事	建築配管作業																																																												
舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業																																																												
植栽工事	造園工事作業																																																												
<p>【4】 工 事 仕 様</p> <p>1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。 2.項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 3.特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。 印と 印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。 4.項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>11 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する</p> <p>施工条件 (1.3.5) 現場説明書による</p> <p>発生材の処理等 (1.3.12) 引渡しを要するもの(____) 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの(____) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分(____) 自由処分(____) 最寄りの再資源化施設へ搬出すること(____) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理(____) 特別管理産業廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B を含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B 含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6 ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </table> <p>廃石綿の処分地(____) 東京都環境保全公社瑞穂センター</p>	種 類	処 理 方 法	廃石綿等		P C B を含む機器類		P C B 含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6 ガス使用機器		<p>15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3) 既存破壊部分の補修方法 図示による</p> <p>16 技能士 (1.7.2) 適用する技能士の技能検定における選択作業</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作业 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALCA補工事</td> <td>コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポット工事</td> <td>金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業	ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業	カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業	防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業	内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業	植栽工事	造園工事作業	<p>2 仮設工事</p> <p>足場その他 (2.1.3) (2.2.1) 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所に枠組足場を設ける。 施行箇所にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 枠組足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p>	
種 類	処 理 方 法																																																												
廃石綿等																																																													
P C B を含む機器類																																																													
P C B 含有シーリング																																																													
廃油																																																													
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																																																													
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																																																													
S F 6 ガス使用機器																																																													
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																												
仮設工事	とび作業																																																												
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																												
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業																																																												
鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業																																																												
ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業																																																												
カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業																																																												
防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業																																																												
石工事	石張り作業																																																												
タイル工事	タイル張り作業																																																												
木工事	大工工事作業																																																												
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																																												
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																																												
左官工事	左官作業																																																												
塗装工事	建築塗装作業																																																												
建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業																																																												
内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																																												
排水工事	建築配管作業																																																												
舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業																																																												
植栽工事	造園工事作業																																																												
<p>章 項 目</p> <p>1 一般共通事項</p> <p>建築材料等</p> <p>本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。</p> <p>下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとしてすることができる。(評価名簿によるもの) 床型枠用鋼製デッキプレート(ワイドデッキ)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材(ブレイク形、現場調合形)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材(防水立上部)、陶磁器質タイル、既製調合モルタル(タイル工用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材(タイル工用)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類(シリンダー錠、レバー錠、シリンダー錠)、クローザー類(ドアクローザー、ドアクローザー、ドアクローザー)、自動扉機構(制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、自閉式上吊り引戸機構(手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、オートヘッドドア、ガラス(フロートガラス、型板ガラス、網入板ガラス・線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス)、ガラスブロック(中空)、防水剤、現場発泡断熱材、ポリウレタン(3000N、5000N)、可動間仕切り、移動間仕切り(スライドドア)、トイレプス、煙突用成形ライニング材、天井天井口、床天井口、グレーチング、屋上緑化システム(屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた(マンホールふた・弁掛ふた)</p>		<p>11 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する</p> <p>施工条件 (1.3.5) 現場説明書による</p> <p>発生材の処理等 (1.3.12) 引渡しを要するもの(____) 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの(____) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分(____) 自由処分(____) 最寄りの再資源化施設へ搬出すること(____) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理(____) 特別管理産業廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B を含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B 含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6 ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </table> <p>廃石綿の処分地(____) 東京都環境保全公社瑞穂センター</p>	種 類	処 理 方 法	廃石綿等		P C B を含む機器類		P C B 含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6 ガス使用機器		<p>15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3) 既存破壊部分の補修方法 図示による</p> <p>16 技能士 (1.7.2) 適用する技能士の技能検定における選択作業</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作业 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALCA補工事</td> <td>コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポット工事</td> <td>金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業	ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業	カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業	防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業	内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業	植栽工事	造園工事作業	<p>2 仮設工事</p> <p>足場その他 (2.1.3) (2.2.1) 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所に枠組足場を設ける。 施行箇所にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 枠組足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p>	
種 類	処 理 方 法																																																												
廃石綿等																																																													
P C B を含む機器類																																																													
P C B 含有シーリング																																																													
廃油																																																													
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																																																													
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																																																													
S F 6 ガス使用機器																																																													
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																												
仮設工事	とび作業																																																												
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																												
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業																																																												
鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業																																																												
ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業																																																												
カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業																																																												
防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業																																																												
石工事	石張り作業																																																												
タイル工事	タイル張り作業																																																												
木工事	大工工事作業																																																												
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																																												
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																																												
左官工事	左官作業																																																												
塗装工事	建築塗装作業																																																												
建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業																																																												
内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																																												
排水工事	建築配管作業																																																												
舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業																																																												
植栽工事	造園工事作業																																																												
<p>備 考</p>		<p>11 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する</p> <p>施工条件 (1.3.5) 現場説明書による</p> <p>発生材の処理等 (1.3.12) 引渡しを要するもの(____) 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの(____) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分(____) 自由処分(____) 最寄りの再資源化施設へ搬出すること(____) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理(____) 特別管理産業廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B を含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B 含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6 ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </table> <p>廃石綿の処分地(____) 東京都環境保全公社瑞穂センター</p>	種 類	処 理 方 法	廃石綿等		P C B を含む機器類		P C B 含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6 ガス使用機器		<p>15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3) 既存破壊部分の補修方法 図示による</p> <p>16 技能士 (1.7.2) 適用する技能士の技能検定における選択作業</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作业 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALCA補工事</td> <td>コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポット工事</td> <td>金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業	ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業	カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業	防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業	内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業	植栽工事	造園工事作業	<p>2 仮設工事</p> <p>足場その他 (2.1.3) (2.2.1) 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所に枠組足場を設ける。 施行箇所にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 枠組足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p>	
種 類	処 理 方 法																																																												
廃石綿等																																																													
P C B を含む機器類																																																													
P C B 含有シーリング																																																													
廃油																																																													
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																																																													
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																																																													
S F 6 ガス使用機器																																																													
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																												
仮設工事	とび作業																																																												
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																												
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業																																																												
鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業																																																												
ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業																																																												
カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業																																																												
防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業																																																												
石工事	石張り作業																																																												
タイル工事	タイル張り作業																																																												
木工事	大工工事作業																																																												
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																																												
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																																												
左官工事	左官作業																																																												
塗装工事	建築塗装作業																																																												
建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業																																																												
内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																																												
排水工事	建築配管作業																																																												
舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業																																																												
植栽工事	造園工事作業																																																												
<p>備 考</p>		<p>11 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する</p> <p>施工条件 (1.3.5) 現場説明書による</p> <p>発生材の処理等 (1.3.12) 引渡しを要するもの(____) 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの(____) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分(____) 自由処分(____) 最寄りの再資源化施設へ搬出すること(____) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理(____) 特別管理産業廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 方 法</th> </tr> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B を含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B 含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6 ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </table> <p>廃石綿の処分地(____) 東京都環境保全公社瑞穂センター</p>	種 類	処 理 方 法	廃石綿等		P C B を含む機器類		P C B 含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6 ガス使用機器		<p>15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3) 既存破壊部分の補修方法 図示による</p> <p>16 技能士 (1.7.2) 適用する技能士の技能検定における選択作業</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作业 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALCA補工事</td> <td>コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポット工事</td> <td>金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業	ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業	カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業	防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業	内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業	植栽工事	造園工事作業	<p>2 仮設工事</p> <p>足場その他 (2.1.3) (2.2.1) 労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所に枠組足場を設ける。 施行箇所にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 枠組足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)</p> <p>足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工基準に基づく足場及び装備機材を設置すること。</p>	
種 類	処 理 方 法																																																												
廃石綿等																																																													
P C B を含む機器類																																																													
P C B 含有シーリング																																																													
廃油																																																													
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																																																													
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																																																													
S F 6 ガス使用機器																																																													
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																												
仮設工事	とび作業																																																												
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																																												
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コックリ圧送工事作業																																																												
鉄骨工事	構造物鉄工作业 とび作業																																																												
ブロック及びALCA補工事	コックリブロック工事作業 ALCA補工事作業																																																												
カーポット工事	金属製カーポット施工作業 ビニル用施工作業 ガラス工事作業																																																												
防水工事	アスファルト防水工事作業 シーリング防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アスファルトシート工法防水工事作業																																																												
石工事	石張り作業																																																												
タイル工事	タイル張り作業																																																												
木工事	大工工事作業																																																												
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																																												
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																																												
左官工事	左官作業																																																												
塗装工事	建築塗装作業																																																												
建具工事	ビニル用施工作業 ガラス工事作業 自動ドア施工作業																																																												
内装工事	ガラス系床仕上げ工事作業 ガラス仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																																												
排水工事	建築配管作業																																																												
舗装工事	溶融ビニルシートマーカー工事作業 加熱ビニルシートマーカー工事作業																																																												
植栽工事	造園工事作業																																																												
<p>備 考</p>		<p>11 電気保安技術者 (1.3.3) 適用する</p> <p>施工条件 (1.3.5) 現場説明書による</p> <p>発生材の処理等 (1.3.12) 引渡しを要するもの(____) 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの(____) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分(____) 自由処分(____) 最寄りの再資源化施設へ搬出すること(____) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理(____) 特別管理産業廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>処 理 </th></tr></table>	種 類	処 理																																																									
種 類	処 理																																																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項			
2	5 工用水	構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)	2	構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)	3	防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	接着工法の場合で、P Cコンクリート部下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F 1、S-I-F 1 の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 ｶｰ _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スチール鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの			
	6 工用電力	構内既存の施設 利用できない 利用できる (有償 無償)		予 想 平 均 気 温 () 補 正 値	断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____							ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____		
	7 仮囲い等	図示による _____		普通 早強 (S)	南部地域 中部地域 北部地域									
	8 設計 G L	図示による 設計 G L = 現状 G L		8以上 5以上 3	3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10									
2	埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土材) の外部からの受入土量 (_____ m ³) 発生場所 (_____)	土・鉄筋・コンクリート工事	コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤークロス (70g/m ² 程度)	6	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)	種別及び工程	防水層	施工箇所	仕上塗料 種類 使用量
				12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m ³						立ち上り部の押入金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立ち上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 _____ 成形緩衝材 ルーフパッド 類製造所の指定品 _____ 屋上排水溝 図示による _____	P 0 X 工法 X-1 X-2 X-1H X-2H 表3.6.1 L 4 X 工法 X-1 X-2 X-1H X-2H 表3.6.2 P 1 Y 工法 Y-2 表3.6.3 P 2 Y 工法 _____	脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 保護層 設ける 設けない	
	建設発生土の処理 (3.2.5)	下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 _____ 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項1号及び第4項に規定する方法 仮置場所 _____ 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい積		暑中コンクリート (6.12.2)	暑中における構造体強度補正值 (S)			屋根露出防水密着工法		9	施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上げ 150×100 _____ 設置数量 () 箇所		
	鉄筋の種類 (5.2.1)	表(5.2.1)		コンクリート車等の過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。			屋根露出防水絶縁工法			シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリングの種類 改修標識 表3.7.1による シーリング改修工法及び施工箇所 改修工法の種別 施工箇所 シーリング充填工法 図示による シーリング再充填工法 図示による 拡幅シーリング再充填工法 ブリッジ工法		
	4 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm	3	既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 行う (M4AS M4AS1 M4C M4D1 L4X) 行わない			屋根露出防水絶縁断熱工法			シーリングの試験 (3.8.2) (3.8.3)	シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____)		
	コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート _____ (表6.2.1) 類別 類 類		既存下地の処理 (3.2.6)	既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による	3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋根保護防水工法		屋根露出防水絶縁断熱工法			とい(雨水)	外とい(外気に接するとい)	
	コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (F c)		既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による		種 別 防水層 施 工 箇 所		立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____ 断熱材 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____				ルーフドレン (3.8.2) (3.8.3)	ルーフドレン ルーフドレン (JCW 301) 取付け _____ 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する	
	セメントの種類 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 (適用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____)		屋根露出防水工法		P 1 B 工法 B-1 B-2 表3.3.3 P 1 B I 工法 BI-1 BI-2 表3.3.4 P 2 A I 工法 AI-1 AI-2 表3.3.5 AI-3 表3.3.5 P 2 A 工法 A-1 A-2 表3.3.6 A-3 表3.3.6		脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 防湿層 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 設ける 設けない					軒とい 硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm たてとい 硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm	
	骨材 (6.3.1)	粗骨材 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 銅スラグ フェロシリカスラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) _____		屋根露出防水工法		M 4 C 工法 C-1 C-2 表3.3.7 C-3 C-4 M 3 D 工法 D-1 D-2 表3.3.8 P 0 D 工法		断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____				谷とい とい受け金物、足金物 改修標識 表 3.8.2 により溶融 垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下		
	混和材料 (6.3.1)	混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)		屋内防水工法		P 1 E 工法 E-1 E-2 表3.3.10 P 2 E 工法		S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する						
備考														



章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																	
3 防水改修工事	<p>内とい(VP管は使用しない)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び構走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修仕様表 3.8.2 により溶融 亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き</td> <td>改修仕様表 3.8.3による F</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける(開放性のある自転車置き場のといを除く) 養生鉄管を設ける(径 _____ 厚さ _____ 長さ _____) 既存といの撤去及び養生 (_____) 鋼管製といの防露巻 (_____ 改修仕様表 3.8.4による _____) たてとい受金物 (_____)</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td>隅角部及び突当たり部</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種 AC-2種</td> <td>等の役物は本体製所造</td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種</td> <td>の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td>_____</td> <td>2.0</td> <td>BC-1種 BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オープン形式 シール形式</td> <td>_____</td> <td>_____</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 行う (範囲 図示 _____) 行わない</p> <p>下地補修の工法 図示 _____ 板材折曲げ形の笠木取付方法 図示 _____ 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による _____</p>	材 質	そ の 他	たてとい及び構走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融 亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下	防露巻き	改修仕様表 3.8.3による F	種 類	幅	板厚(mm)	表面処理	備 考	250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部	300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種	等の役物は本体製所造	350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種	の仕様による。	曲げ材	_____	2.0	BC-1種 BC-2種		オープン形式 シール形式	_____	_____	C種		4 外壁改修工事	<p>(4.1.4) (4.3.5) - (4.3.8)</p> <p>モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない 抜き取り回数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き取り回数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 図示</p> <p>タイル張り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き取り回数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 図示</p> <p>タイル撤去後の補修</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート打放し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル塗替え工法</td> <td>改修仕様表4.3.3による</td> <td>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</td> </tr> </table> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂 系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂 系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式 I^{A} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式 I^{A} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂		タイル張替え工法			工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル		モルタル塗替え工法	改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂 系接着剤(JIS A 5557による)		タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂 系接着剤(JIS A 5557による)		4 外壁改修工事	<p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書表4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き取り部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法(4.3.10(3)による) ○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカビツ (本/m²)</th> <th>注入口 (箇所/m²)</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカビツ部分I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ部分I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する(形状 _____) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカビツ (本/m²)</th> <th>注入口 (箇所/m²)</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカビツ部分I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ部分I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツ全面I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工 法	アカビツ (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	16		25			アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	13	12		25		アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	20	20				注入口付アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16		25		注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16				広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	アカビツ (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	16		25			アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	13	12		25		アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	20	20				アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	13	12		50		注入口付アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16		25		注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16				4 外壁改修工事	<p>アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>建築補修用注入エポキシ樹脂 低粘度形 中粘度形 ひび割れの幅 (mm) 0.2~0.3未満 0.3~0.5未満 0.5~1.0以下 注入孔の間隔 (mm) 200程度 300程度 300程度 注入量 (CC/mm)</p> <p>自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 手動式エポキシ樹脂注入工法 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 (抜き取り回数 長さ500mごと及びその端数につき1個 _____) (抜き取り部の補修方法 _____)</p> <p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う</p> <p>アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>モルタル 現場調査材料 既調合材料(_____) 既製目地材 使用する(形状 _____)</p>
材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																																																																							
たてとい及び構走り管 SGP	径 75mm																																																																																																																																																																																																																																							
とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融 亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																																																							
防露巻き	改修仕様表 3.8.3による F																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	幅	板厚(mm)	表面処理	備 考																																																																																																																																																																																																																																				
250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部																																																																																																																																																																																																																																				
300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種	等の役物は本体製所造																																																																																																																																																																																																																																				
350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種 BB-1種 BB-2種	の仕様による。																																																																																																																																																																																																																																				
曲げ材	_____	2.0	BC-1種 BC-2種																																																																																																																																																																																																																																					
オープン形式 シール形式	_____	_____	C種																																																																																																																																																																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																					
自動式低圧 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																					
手動式 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																					
機械式 I^{A} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																					
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																					
自動式低圧 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																					
手動式 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																					
機械式 I^{A} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																					
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																					
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																						
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコン樹脂 ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																																							
タイル張替え工法																																																																																																																																																																																																																																								
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																						
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																							
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																						
充填工法	エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																							
モルタル塗替え工法	改修仕様表4.3.3による	仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示																																																																																																																																																																																																																																						
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																						
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂 系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																							
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコン樹脂 系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																							
工 法	アカビツ (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																			
アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																					
アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																				
アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																						
注入口付アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																					
注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16		25																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																						
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																			
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																			
工 法	アカビツ (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																			
アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																					
アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																				
アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																						
アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカビツ部分 I^{A} 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																					
注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16		25																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																				
注入口付アカビツ全面 I^{A} 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																						
4 外壁改修工事	<p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 _____ 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築士上診断技術者(BELCA)による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I^{A} 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない (注入状況確認方法 _____) 抜き取り回数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き取り部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式 I^{A} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7) (4.1.4) (4.3.9) (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) ~ (4.4.8)	5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)	<p>目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による 寸法(幅×深さ) コケリ打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上×10mm以上 その他 10mm以上×10mm以上</p>	6 樹脂注入工法 (4.2.4) (4.2.5)	7 Uカットシール材充填工法 (4.2.6)	8 アカビツ注入工法 (4.3.5)	9 注入口付アカビツ注入工法 (4.3.5)	10 モルタル塗替え工法 (4.3.5)																																																																																																																																																																																																											
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																					
自動式低圧 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																					
手動式 I^{A} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																					
機械式 I^{A} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																					
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																					
備考																																																																																																																																																																																																																																								

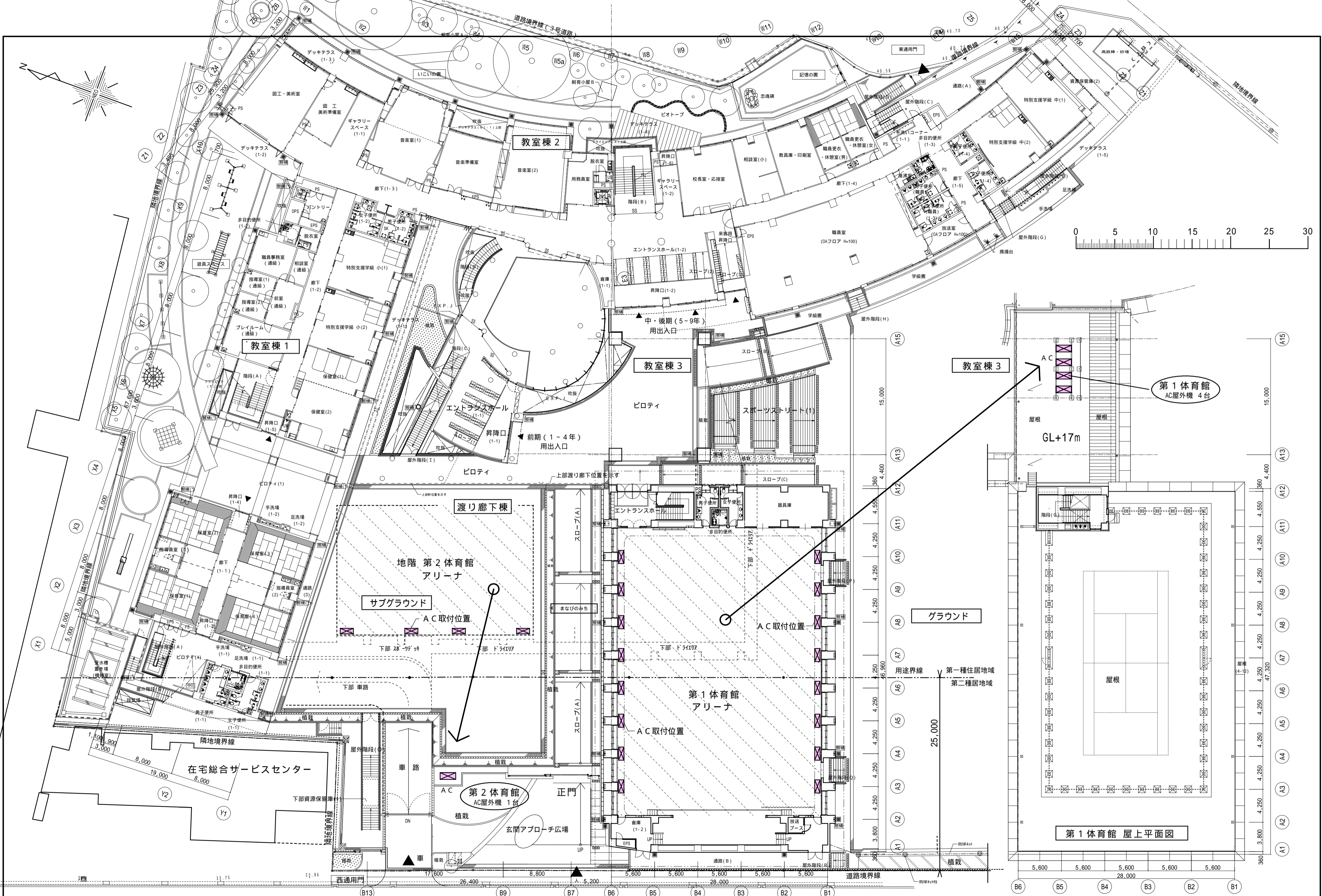
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表6.20.1 [鉄鋼の垂鉛めっきの種類] のF種程度の垂鉛めっきを施したものを</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 K2 K3 K4 K2 K3 K4</p> <p>薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571に適合又は同等品</p> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p> <p>軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4) 野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型 野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 900 mm 周辺部の端からの寸法 150 mm 野縁の間隔 360 mm はずれ留め補強 有り 無し 既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する あと施工アンカーの引抜き試験 行う (箇所以上、 N/箇所) ○ 行わない</p> <p>開口補強 つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____ 天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) 改修仕様6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない 屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3) スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 _____ スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p> <p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td>T S</td> <td rowspan="2">2.5</td> <td rowspan="2">無地</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>F S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td>H S</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">マーブル柄物</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>K S</td> </tr> </table>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	F S	発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S	2.0	マーブル柄物	熱溶接	仕上表による	クッションフロア	K S	6 内装改修工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着形</td> <td>コバジシヨビニル床タイル</td> <td>K T</td> <td>2.0 3.0</td> <td rowspan="2">無地 ○柄物</td> <td rowspan="2">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置敷形</td> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> <td rowspan="2">無地 ○柄物</td> <td rowspan="2">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td>500×500</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はせっ器質タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>高さ (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 複層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒトコソ工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリップ工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループパイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p> <p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修仕様6.11.2(2)による _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">フローリング フローリング フローリング</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">フローリング フローリング</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2">8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td>接着工法</td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">8</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3">A種 B種 C種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 _____ オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り _____</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT- _____) 衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2) _____</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 合板のホルムアルデヒド放散量 改修仕様6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格、厚さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード(GB-R)</td> <td>12.5(不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(GB-D)</td> <td>杉板模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 9.5(不燃) (軽鉄下地は専用のものとする)</td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード(GB-NC)</td> <td>○トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし</td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード(GB-S)</td> <td>15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード(GB-F)</td> <td>21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>吸音あなあきせっこうボード(GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td>内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td>立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による 1.2</td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山性ガラス質被覆板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5)</td> </tr> <tr> <td>無研磨品 (3 6 9 9.5)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表板樹種</td> </tr> <tr> <td>板面の品質 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> </tr> <tr> <td>化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧加工の方法</td> </tr> <tr> <td>表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 _____ せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) 継目処理 突付け 目透かし _____ 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) ベベルエッジ スクエアエッジ _____</p>	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所	接着形	コバジシヨビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	置敷形	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		薄型置敷きビニル床タイル	F O B			500×500		種類	性能	厚さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種類	形状	備考	塩化ビニル系	300mm角		レジンコンクリート系	150mm角		磁器又はせっ器質タイル			種類	厚さ (mm)	備考				種類	寸法	厚さ (mm)				種類	高さ (mm)	厚さ (mm)	軟質	60 75 100	1.5 2.0	色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)		単層品 複層品			種別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	A種			適用	無地	ヒトコソ工法		B種					つづり縫い		C種							パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			グリップ工法 全面接着工法	適用		種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	一種	ループパイル	500×500	6.5		二種					種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考	フローリング フローリング フローリング	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		表6.11.3	根太張り工法	表6.11.5	直張り工法	フローリング フローリング	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	15		接着工法	種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種		根太張り工法	直張り工法				接着工法			種類	規格、厚さ (mm) 等	せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)	化粧せっこうボード(GB-D)	杉板模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 9.5(不燃) (軽鉄下地は専用のものとする)	不燃積層せっこうボード(GB-NC)	○トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし	シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25	グラスウール吸音ボード(GW-B)	25	吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)	ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃)	立体模様 15(不燃) 12(不燃)		軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃)		立体模様 15(不燃) 12(不燃)	けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2	難燃木毛セメント板	30 25 20 15	断熱木毛セメント板	30 25 20 15	火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5)	無研磨品 (3 6 9 9.5)	普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種	板面の品質 防虫処理 行う	天然木化粧合板	厚さ 接着の程度	化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法	表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う	その他下張り用合板		6 内装改修工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による 施工箇所 防火性能 品質・規格</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>素地ごしらえ</td> <td>モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</td> <td></td> </tr> </table> <p>天井廻り縁 材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料 既調合材料 (_____) 既製目地材 設ける (形状 _____) 床目地 設ける 設けない 目地の種類 押目地 _____ 目地割り 2m程度 _____ 最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____ タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・タイルの種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 既調合モルタル _____ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 _____</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚 (mm) 10 15 _____</p>	素地	種類	備考	素地ごしらえ	モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4)			コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5)			せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)		施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他			磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注				磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注				磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注		7 塗装改修工事	<p>2 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗替えで下地調整の種類がB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>R A種 不透明塗料塗りの場合はR B種 R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>R A種 R B種 R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>R A種 R B種 R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル及びせっこうプラスター面</td> <td>R A種 R B種 R C種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コケート面及びA L Cパネル面</td> <td>R A種 R B種 R C種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>コケート面及び押出成形むね面</td> <td>R A種 R B種 R C種</td> <td>ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード及びその他ボード面</td> <td>R A種 R B種 R C種</td> <td></td> </tr> </table>	素地	種類	備考	木部	R A種 不透明塗料塗りの場合はR B種 R C種		鉄鋼面	R A種 R B種 R C種		亜鉛めっき鋼面	R A種 R B種 R C種		モルタル及びせっこうプラスター面	R A種 R B種 R C種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	コケート面及びA L Cパネル面	R A種 R B種 R C種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	コケート面及び押出成形むね面	R A種 R B種 R C種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	せっこうボード及びその他ボード面	R A種 R B種 R C種	
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5	無地	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	複層ビニル床シート	F S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S	2.0	マーブル柄物	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	クッションフロア	K S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
接着形	コバジシヨビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	単層ビニル床タイル	T T	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
置敷形	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	薄型置敷きビニル床タイル	F O B			500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	性能	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類	形状	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
塩化ビニル系	300mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
レジンコンクリート系	150mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
磁器又はせっ器質タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種類	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	寸法	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類	高さ (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
軟質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	単層品 複層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
A種			適用	無地	ヒトコソ工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
B種					つづり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		グリップ工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
一種	ループパイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
二種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
フローリング フローリング フローリング	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			表6.11.5	直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
フローリング フローリング	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			15			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	規格、厚さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
化粧せっこうボード(GB-D)	杉板模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 9.5(不燃) (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
不燃積層せっこうボード(GB-NC)	○トラバーチン模様 9.5(不燃) 模様なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ロックウール吸音ボード(RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
グラスウール吸音ボード(GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	無研磨品 (3 6 9 9.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	板面の品質 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
天然木化粧合板	厚さ 接着の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
その他下張り用合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
素地	種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
素地ごしらえ	モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
素地	種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
木部	R A種 不透明塗料塗りの場合はR B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
鉄鋼面	R A種 R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
亜鉛めっき鋼面	R A種 R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
モルタル及びせっこうプラスター面	R A種 R B種 R C種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
コケート面及びA L Cパネル面	R A種 R B種 R C種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
コケート面及び押出成形むね面	R A種 R B種 R C種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
せっこうボード及びその他ボード面	R A種 R B種 R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
備考					工事名称 宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事	図面名称 建築改修工事 特記仕様書 - 6	縮尺 -	図面 No A-06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村則正

8-8 耐震補強工事(柱補強工事)	6 連続繊維補強 工法 (8.2.13) (8.24.6)	工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 材料 炭素繊維 アラミド繊維 ガラス繊維 性能 引張強度 N/mm2 ヤング係数 N/mm2 製造所 _____ 製品名 _____ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ 炭素繊維シート 20mm以上 アラミド繊維シート 10mm以上 仕上げモルタルの除去 構造躯体まで除去する 剥離除去は行わない ひび割れ部改修 コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入工法 剥離塗り仕上げ 樹脂注入工法 炭素繊維の目付量 図示による _____ 炭素繊維シートの巻数 図示による _____ 引張強度試験 行う 試験数量 (_____) 行わない 付着強度試験 行う 試験数量 (_____) 行わない	8-10 耐震補強工事(免震改修)	4 仕上げ (8.26.13)	図示による _____	8-12 耐震補強工事(基礎工事)	1 既存部分の処理等 (8.28.2)	既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 図示による (_____) 杭頭部の処理 図示による (_____) 既存杭の補強 図示による (_____) 既存杭の健全性を確認する試験 図示による (_____)	9 ユニット及びその他の工事	3 可動間仕切 (20.2.3)	種 類 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 パネル式 スタッド式 スタッドパネル式 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F
	7 仕上げ (8.23.7) (8.24.7)	図示による _____		5 耐火被覆 (8.26.14)	仕様 _____		2 埋戻し及び盛土 (8.28.3)	埋戻し及び盛土の種別 改修標準仕様書8.28.1による A種適用箇所 (_____) B種適用箇所 (_____) C種適用箇所 (_____)土質 (_____) 受渡場所 (_____) D種 (細粒径(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 (_____) その他 (材料 _____ 工法 _____) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼矢板等の抜き跡の処理 図示による _____ 山留め壁等の存置箇所 (図示)		4 移動間仕切 (20.2.4)	パネル操作方法による種類 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作方法 遮音性能
8-9 耐震補強工事(耐震スリット)	1 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	方 向 タ イ プ 耐火性能 防水性能 垂直方向 完全(全貫通型)スリット 耐火型 有り 水平方向 せん断型部分スリット 非耐火型 無し 品質・規格 _____ 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄筋の処理 はつり出し 切断 存置(部分スリット) 耐震スリットの幅及び深さ 図示による _____ 耐震スリットの充填材 耐火材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による _____ 遮音材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による _____ 既存部分の撤去の補修 図示による _____	8-11 耐震補強工事(制振改修)	1 既存部分の撤去 (8.27.2)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存部分が鉄骨造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の撤去 範囲 図示による _____ 方法 図示による _____ 既存鉄骨の処置方法 _____	9 ユニット及びその他の工事	5 トイレブース (20.2.5)	表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 幅木型 足金物型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F ドアエッジの材質 トイレブース製造所の仕様による _____			
	2 既存部分の処理 (8.27.3)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。		6 手すり (20.2.6)	SUS304(表面処理 HL程度 _____) 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (表14.2.2)による種別 (_____)種) アルミニウム 表面処理 (表14.2.1)による種別 (_____)種) 種別 (_____)種 (_____) 色合等 標準色 (_____) 特注色 (_____) 手すりの握り部分 材 種 表面仕上げ 直径(mm) 取付場所 備 考 集成材 (材種: _____) ○クリアラッカー 35程度 45程度 ビニル製 35程度 45程度						
8-10 耐震補強工事(免震改修)	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	8-12 耐震補強工事(基礎工事)	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6)	減衰材 材質 _____ 諸元 _____ 性能確認試験 項目 _____ 数量 _____ 製品検査 項目 _____ 内容 _____ 判定基準 _____ 検査頻度 _____ 防錆処置 設置位置の寸法許容差 _____ 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 スパイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40～60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に 縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40～60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチ の1/3～1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による	9 ユニット及びその他の工事	7 階段滑り止め (20.2.7)	材種 ステンレス製(SUS304) 幅 約35mm 形状 ビニルタイヤ入り 両端フラットあり(ビニル SUS304) 取付工法 接着工法 埋込み工法			
	2 既存部分の処理 (8.26.6)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。		4 砂利地業等 (8.2.15)	材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂		8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	黒板 焼付け 鋼製黒板 緑 曲面 ほうろう黒板 黒 スクリーン付引分け ホワイトボード ほうろう白板 白 曲面 スクリーン付引分け 額縁金属 アルミ製 (表面処理の種別 B-2 B-1) 品質・規格 _____			
8-10 耐震補強工事(免震改修)	3 支承材・減衰材 (8.26.7) (8.26.10)	支承材 材質 _____ 諸元 _____ 減衰材 材質 _____ 諸元 _____ 性能確認試験 項目 _____ 数量 _____ 製品検査 項目 _____ 内容 _____ 判定基準 _____ 検査頻度 _____ 防錆処置 設置位置の寸法許容差 _____ 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 スパイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40～60mmとする。 図示による	8-12 耐震補強工事(基礎工事)	4 仕上げ (8.27.8)	図示による _____	9 ユニット及びその他の工事	3 杭地業 (8.2.15) (8.28.4)	支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による (_____) 杭の材料、工法、寸法、施行方法等 図示による (_____) 試験杭の位置、本数及び寸法並びに施行方法 図示による (_____) 杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による (_____) 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による (_____) 溶接部の確認 図示による (_____) 杭頭の処理 処理する 処理しない 処理方法(切断にともなう補強方法含む) 図示による (_____) 杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 1/100以内 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 図示による (_____)	9 鏡 (20.2.10)	厚さ(mm) 5	
	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。		5 検査 (8.27.9)	項目 _____ 数量 _____		1 家具、工口等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及び「フィクサー」等のホルムアルデヒド等の放散量 F _____ 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 F _____ 含まれる可塑剤 7-フェノール等を含有しない、難揮発性のもの _____	2 フリーアクセスフロア (20.2.2)	建設技術評価制度「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい抵抗 (mm) 高さ(mm) 性能 スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹き出しパネル あり(固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標準19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 _____ 耐衝撃性能 _____ ローリングロード性能 _____ 耐燃焼性能 _____		

9 ユニット及びその他の工事	10 表示・標識 (20.2.11)	衝突防止表示 図示による(市販品 ステンレス製 径 30 mm _____) なし 法令に基づく表示 非常用出入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。 室名札 厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種別 取付け形式 5 アクリル板 アルミ板 角太ゴシック 丸 シルク印刷 平付型 持出型 外国語表現 行う (英語 _____) 寸法(mm) 50×250 60×250 図示による ビクトグラフ(便所、車いす、階段等) 厚さ(mm) 材 質 印刷等の種別 取付け形式 備 考 5 アクリル板 アルミ板 シルク印刷 平付型 持出型 寸法(mm) 150×150 図示による 案内板(館内、各階、便所) 厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種別 取付け形式 5 アクリル板 アルミ板 角太ゴシック 丸 シルク印刷 平付型 持出型 外国語表現 行う (英語 _____) 寸法(mm) 600×600 100×600 200×200 図示による 館名板等 品質・規格 _____	20 掲示板 <table border="1"> <tr><th colspan="6">枠の材質</th></tr> <tr><td>屋内</td><td>アルミ製(B-2)</td><td>表面の材質</td><td>照明器具</td><td>施錠</td><td>品質・規格</td></tr> <tr><td></td><td>ステンレス製(SUS304)</td><td></td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>屋外</td><td>アルミ製(B-2)</td><td></td><td>あり</td><td>あり</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>ステンレス製(SUS304)</td><td></td><td>なし</td><td>なし</td><td></td></tr> </table> 品質・規格 _____ 材 種 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) 約450 約600 _____	枠の材質						屋内	アルミ製(B-2)	表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格		ステンレス製(SUS304)		—	—		屋外	アルミ製(B-2)		あり	あり			ステンレス製(SUS304)		なし	なし		10 排水工事	3 緑石 (21.3.1)	歩車道境界ブロックのJISによる呼び名 地先境界ブロックのJISによる呼び名 砂利地葉の厚さ A A C 100mm	11 舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	種 類 加熱系アスファルト混合物 添加材 着色骨材 自然石 結合材 アスファルト 石油樹脂(添加量 _____) アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない 舗装の厚さ _____mm 常温系ニート工法 常温系塗布工法 着色部の下部 舗装の平坦性 アスファルト舗装 コンクリート舗装 通行の支障となる水たまりを生じない程度	12 環境配慮改修工事	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ 図示による _____ 表層の厚さの試験 行う 行わない 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない	ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	コンクリート平板舗装 種 類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目 地 普通平板(N) カラー平板(C) 300角 60 砂 洗出平板(W) 覆石(S) _____ モルタル 品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル インターロッキングブロック舗装 種 類 部位 形状寸法(mm) 厚さ(mm) 曲げ強度(N/mm ²) 色彩及び表面加工等 普通ブロック 車路 _____ 80 5.0 標準品 京エルク 歩行者用通路 _____ 60 3.0 _____ 透水性ブロック 歩行者用通路 _____ 80 _____ 植生ブロック 歩行者用通路 300X300 60 _____ 標準品 80 _____ 緑化率65% 野芝張 100 _____ 品質・規格 緑化ブロックグリーン65% (株)野邑工業 同等品 クッション材 砂	8 砂利敷き (22.9.2)	通 路 A種 B種 建物周囲その他 A種 B種 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする	9 白線引き	種 類 溶融式 ペイント式 幅(cm) 15 _____	備考
	枠の材質																																																
	屋内	アルミ製(B-2)	表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格																																											
		ステンレス製(SUS304)		—	—																																												
	屋外	アルミ製(B-2)		あり	あり																																												
		ステンレス製(SUS304)		なし	なし																																												
	11 タラップ (20.2.12)	材質及び仕上げ ○ SUS304(スリップ止め加工 あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき ((表14.2.2)による種別(C種 種))	21 カウンター 品質・規格 _____	4 コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 250A 250B _____ コンクリートL形のJISによる呼び名 250A 250B _____ 鉄筋コンクリートU形のJISによる呼び名 240 300A 360A _____ 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²) 1 8 _____ スランブ(cm) 1 5 1 8 _____ 現場打の鉄筋 種類の記号 SD295 _____	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル	1 一般事項 (9.1.1)	石綿含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込み工法 () 囲い込み工法 () 石綿含有保温材除去工事 石綿含有成形板等除去工事 石綿含有仕上塗材除去工事																																								
	12 ブラインド (20.2.14)	形式 種類 横形 ギヤ式 アルミ合金 コード式 _____ 縦形 2本操作コード式 アルミ製 1本操作コード式 加工アルミ 合金製	22 洗面カウンター 材 種 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) 約450 約600 _____	2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)	路盤の厚さ _____mm 材料 再生クラッシュラン(RC-40,30,20) クラッシュラン(C-40,30,20) クラッシュ鉄鋼スラグ(CS-40) 路盤締固め度の試験 行う	8 砂利敷き (22.9.2)	2 仕上げ工事 (9.1.1)	石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示による _____																																									
	13 ローラスクリーン (20.2.15)	操作方法 スクリーンの材質 その他の材料 幅・高さ 取付箇所 品質等 スプリング式 ガラス繊維製 製造所の仕様 図示による コード式 合成・天然繊維製 _____ 電動式 木製 _____	23 流し台ユニット <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>部品寸法(mm)</th><th>規 格</th><th>仕 様</th></tr> <tr><td>流し台</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>トラップ付き</td></tr> <tr><td>コンロ台</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>バックガード有り</td></tr> <tr><td>吊戸棚</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>高さ 約500 mm</td></tr> <tr><td>水切り棚</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>ステンレス製 1段式</td></tr> </table>	種 類	部品寸法(mm)	規 格	仕 様	流し台		優良住宅部品	トラップ付き	コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り	吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm	水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製 1段式	3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	舗 装 の 種 類 表層(mm) 基層(mm) カラー舗装の種類 アスファルト舗装 _____ 顔料混入加熱アスファルト混合物 アスファルト 再生アスファルト(60~80 80~100) ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 区分 一般地域 寒冷地域 表層 密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F) 細粒度アスファルト混合物(13)	9 白線引き																							
	種 類	部品寸法(mm)	規 格	仕 様																																													
	流し台		優良住宅部品	トラップ付き																																													
	コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り																																													
	吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm																																													
	水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製 1段式																																													
	14 カーテン (20.2.16)	取付箇所 形式 開閉操作方法 カーテン用きり地の ひだの種類 シングルプル 片引 引分 電動 ひも引 手引 種別・品質・特殊加工等 つまみ 箱片 プレシ	24 非常用救助袋等 垂直降下式線下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 _____ 市販品 形式 釣下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(_____) 個	4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	構成 コンクリートの種類 部 位 厚さ(mm) 設計基準強度(N/m ²) スランブ(cm) 早強セメント 使用しない 使用する 目地 注入目地材料 低弾性タイプ 高弾性タイプ 種類 突合せ目地 収縮目地 伸縮調整目地 間隔 5m程度ごと 4m程度ごと 3m程度ごと コンクリート版厚さの試験 行う																																												
	16 ブラインドボックスカーテンボックス	図示による 市販品(アルミニウム製 押出し型材) 仕様等 溝幅×深さ(mm) 90×150 150×80 120×80 表面処理 C-1(無着色) C-2(着色)	25 鍵箱 市販品 形式 釣下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(_____) 個	1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	路床の構成 凍上抑制層 厚さ 図示による _____ 透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 図示による 150mm _____ 歩道部 図示による 50mm _____ (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない 盛土に用いる材料 A種 B種 C種 D種 (表23.2.1) 路床安定処理 行う 行わない 路床安定処理用材料 添加材料による安定処理 (表22.2.1) 種 類 地盤改良材 () 高炉セメントB種 普通ポルトランドセメント 生石灰 特号 生石灰 1号 フライアッシュセメントB種 消石灰 特号 消石灰 1号 添加量 _____kg/m ³ 路床土の支持力比(CBR)試験 行う(乱した土 乱さない土) 路床締固め度の試験 行う(埋戻し部、盛土部) 行わない																																												
	17 くつふきマット	材種 塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製(SUS304)受枠) 硬質アルミニウム合金(受枠とも) ゴム製(ステンレス製(SUS304)受枠)	26 車止め <table border="1"> <tr><th>形 式</th><th>材 質</th><th>柱径・肉厚(mm)</th><th>高さ(mm)</th></tr> <tr><td>上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)</td><td>ステンレス製(SUS304)</td><td>76.3 t=2.0 114.3 t=2.5</td><td>GL+700 GL+850</td></tr> </table> 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度	形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)	ステンレス製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850	2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)	路盤の厚さ _____mm 材料 再生クラッシュラン(RC-40,30,20) クラッシュラン(C-40,30,20) クラッシュ鉄鋼スラグ(CS-40) 路盤締固め度の試験 行う																																				
	形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																													
	上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)	ステンレス製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850																																													
18 鋼製書架及び棚	種類 規格等 JISによる種類 鋼製書架 JIS S 1039の規格による 1種 2種 3種 鋼製物品棚 法務省型 4種 5種 6種	27 フェンス <table border="1"> <tr><th>表 面 仕 上 等</th><th>種 類</th><th>門扉の仕様</th></tr> <tr><td>亜鉛めっき 樹脂塗装</td><td>メッキフェンス 珪酸エポキシフェンス</td><td>片開き</td></tr> <tr><td>ビニル被覆</td><td>メッキフェンス</td><td>両開き</td></tr> </table>	表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様	亜鉛めっき 樹脂塗装	メッキフェンス 珪酸エポキシフェンス	片開き	ビニル被覆	メッキフェンス	両開き	3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	舗 装 の 種 類 表層(mm) 基層(mm) カラー舗装の種類 アスファルト舗装 _____ 顔料混入加熱アスファルト混合物 アスファルト 再生アスファルト(60~80 80~100) ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 区分 一般地域 寒冷地域 表層 密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F) 細粒度アスファルト混合物(13)																																				
表 面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様																																															
亜鉛めっき 樹脂塗装	メッキフェンス 珪酸エポキシフェンス	片開き																																															
ビニル被覆	メッキフェンス	両開き																																															
19 収納家具(木製)	材質、形状、寸法 図示による 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F	28 防煙垂れ壁 固定式 <table border="1"> <tr><th>材 質</th><th>厚さ(mm)</th><th>高さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス</td><td>6.8</td><td>500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr> </table> 可動式 <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>材 質</th><th>高さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>垂直降下式 (巻取り型)</td><td>不燃布 (不燃認定品)</td><td>500 800</td><td>ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)</td></tr> <tr><td>回転降下式</td><td>鋼板制又はアルミ製</td><td>500 800</td><td>表面仕上げ 天井材張り</td></tr> </table> 降下機構 煙感知器運動及び手動開放装置(埋込型)	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き	種 類	材 質	高さ(mm)	備 考	垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)	回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り	4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	構成 コンクリートの種類 部 位 厚さ(mm) 設計基準強度(N/m ²) スランブ(cm) 早強セメント 使用しない 使用する 目地 注入目地材料 低弾性タイプ 高弾性タイプ 種類 突合せ目地 収縮目地 伸縮調整目地 間隔 5m程度ごと 4m程度ごと 3m程度ごと コンクリート版厚さの試験 行う																									
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																																														
網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き																																														
種 類	材 質	高さ(mm)	備 考																																														
垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)																																														
回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り																																														



備考	 一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治黄葉学園体育館空調設置ほか改修工事	図面名称 校舎配置図 空調設備配置図	縮尺 1/300 年月日 2026.03	図面 No A-10
----	---	-----------------------------	--------------------------	-------------------------	---------------

1階改修工事内容

1, 建具改修工事

排煙窓 9ヶ所の内8ヶ所作り-交換

2, 天井改修工事 器具庫

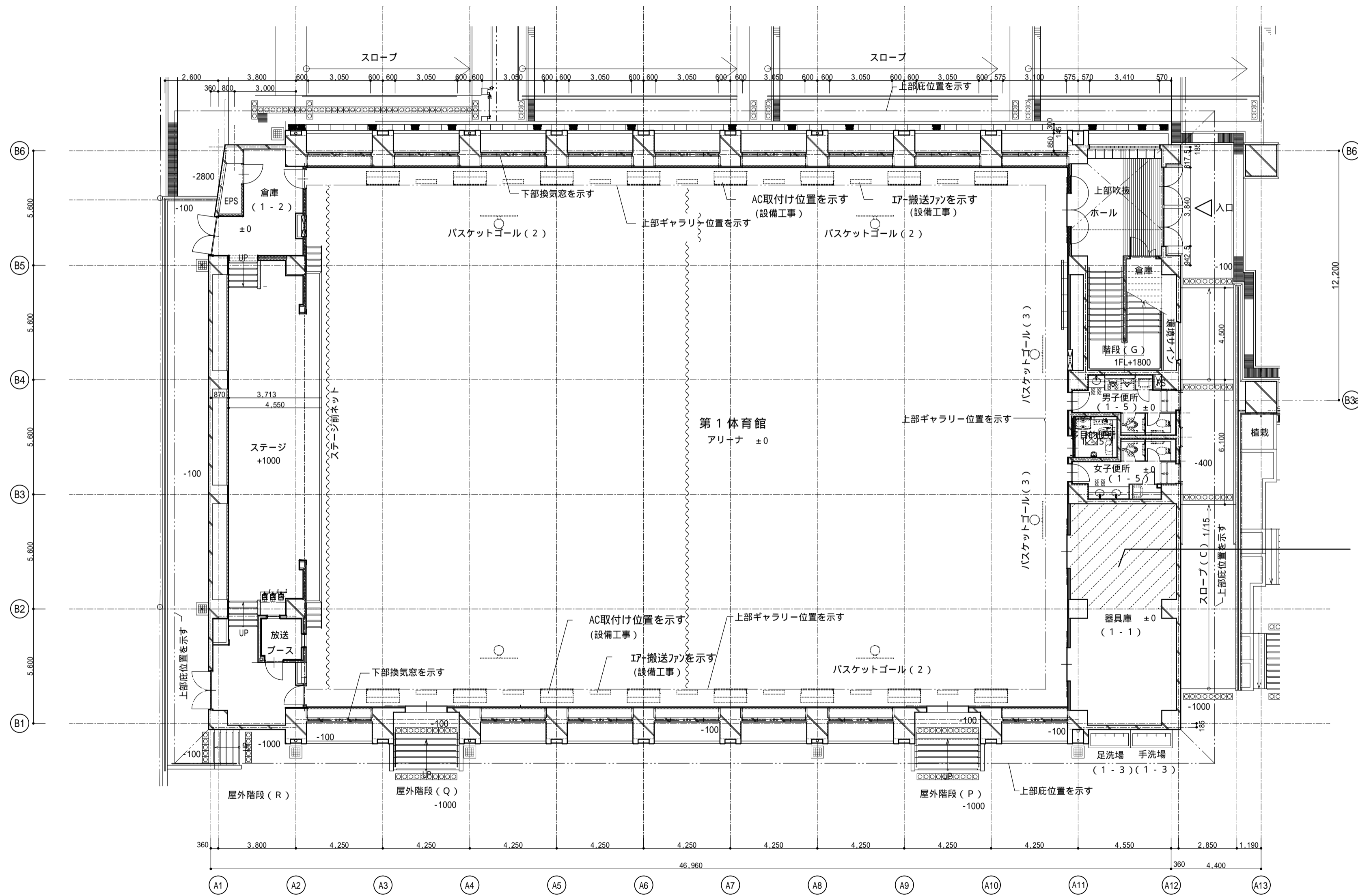
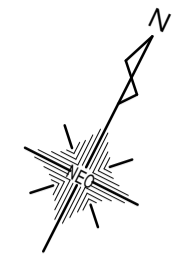
斜線部 空調設備工事による 天井材撤去張替(下地共)

照明及び設備器具等による取付け部材は脱着

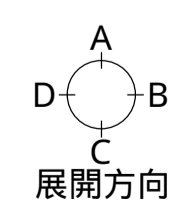
3, アリーナ AC取付け及び天井照明器具取替 設備工事

機器及び配管取付工事及び同電気工事は全て設備工事

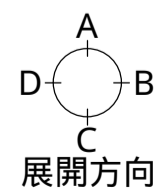
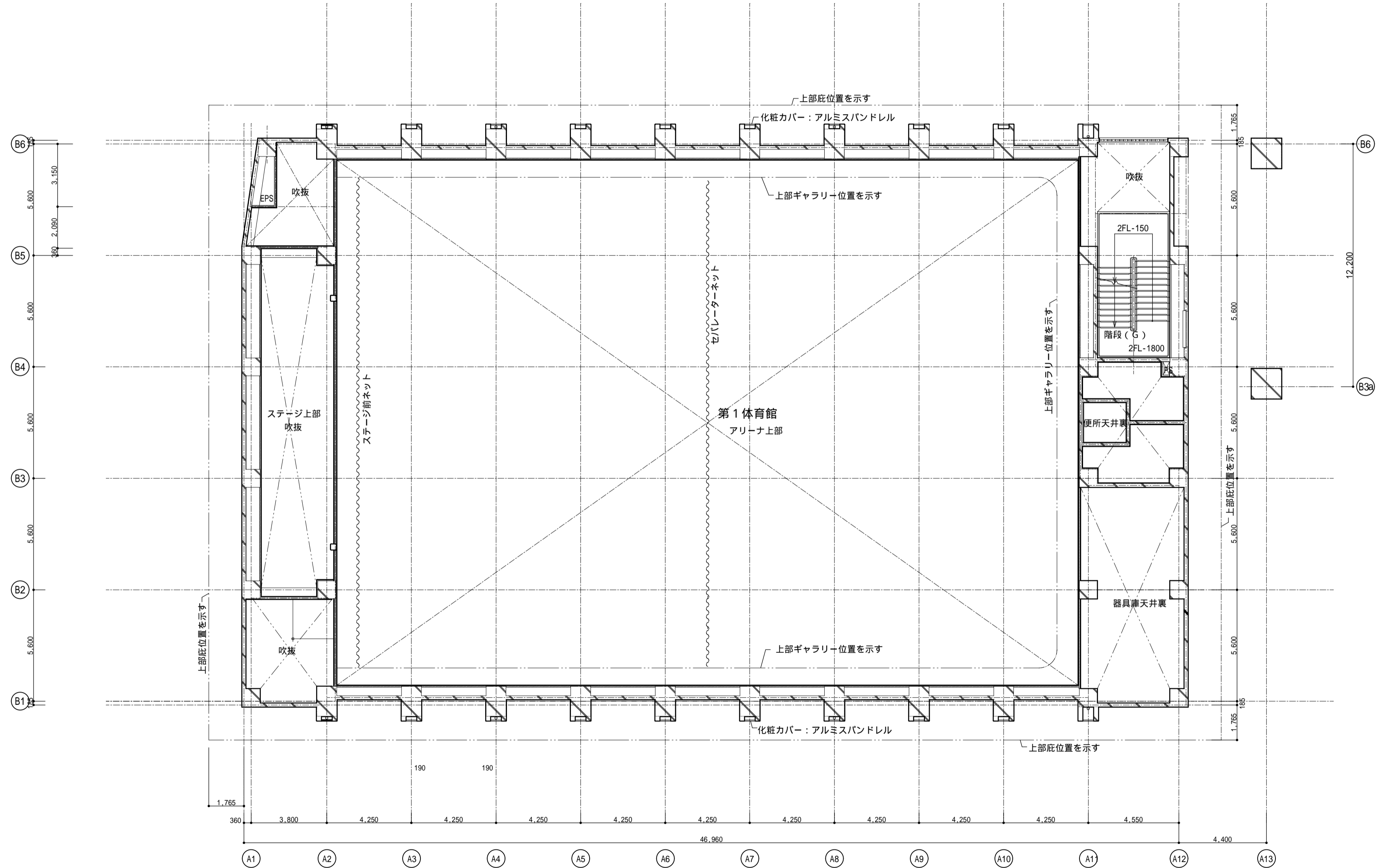
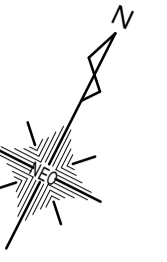
但し、仮設足場は建築工事



天井改修工事
空調設備工事による天井材撤去張替



備考 印は改修工事内容を示す			一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事	図面名称 第1体育館 (現況図)	縮尺 1/150	図面 No
					1階平面図	年月日 2026.03	A-11



備考 印は改修工事内容を示す			一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事	図面名称 第1体育館 (現況図)	縮尺 1/150	図面 No
					2階平面図	年月日 2026.03	A-12

3階改修工事内容

1, 建具改修工事

排煙窓 8か所ワイヤー交換 (参考メーカー: オイレスECO株式会社)

2, 天井改修工事 ロッカー室(1)

斜線部 空調設備工事による 天井材撤去張替 (下地共) 及び

一部 A C 等配管加へ取付け

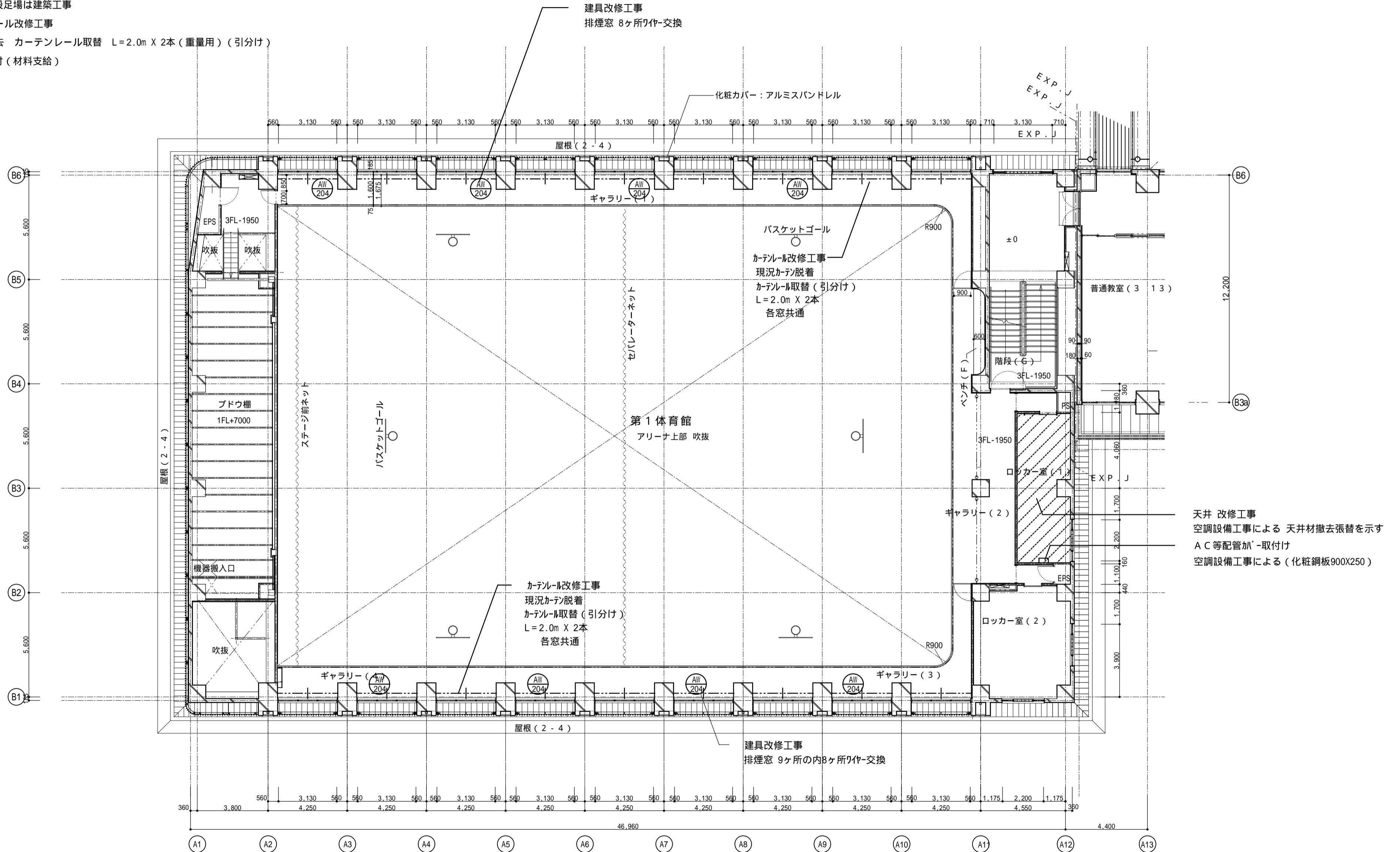
照明及び設備器具等による取付け部材は脱着

但し、仮設足場は建築工事

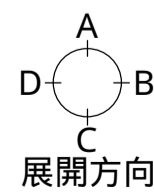
7, カーテンレール改修工事

既存暗幕撤去 カーテンレール取替 L=2.0m X 2本 (重量用) (引分け)

カーテン取付 (材料支給)



天井改修工事
空調設備工事による 天井材撤去張替を示す
A C 等配管加へ取付け
空調設備工事による (化粧鋼板900X250)



展開方向

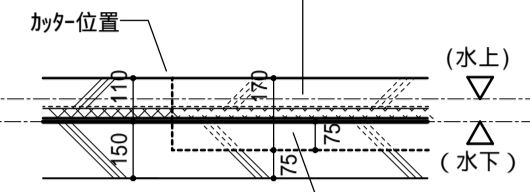
備考 印は改修工事内容を示す	 一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事	図面名称 第1体育館 (現況図)	縮尺 1/150	図面 No
			3階平面図	年月日 2026.03	A-13

屋上改修工事内容

- 4, 防水押えコンクリート等の削り工事
 - A C屋外機設置基礎に伴う 既存コンクリート削り工事
- 5, シート防水改修
 - バルコニー上り部分 アスファルト防水撤去及び防水押え水切り撤去
 - 既存押えコンクリート全面、樹脂コンクリートにて下地調整後 シート防水F1.5施工
- 6, A C屋外機設置工事
 - 基礎独立柱脚コンクリート工事
 - AC屋外機架台取付け工事 架台H鋼加工垂鉛処理
 - 防音パネル取付け工事 加断材730 取付け金物全ては垂鉛鋼材とする
 - 但し、仮設足場は建築工事

解体詳細

保護コンクリート 780
(ワイヤメッシュ筋 6 100角)
絶縁シート
ポリイソシアヌレート 725
A 防水
コンクリート押え



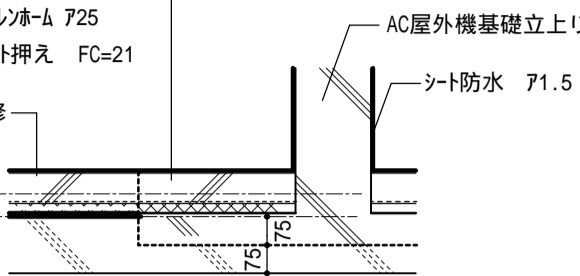
改修工事

削り深さは事前に現場調査を行い
調査結果により現場指示に従う事

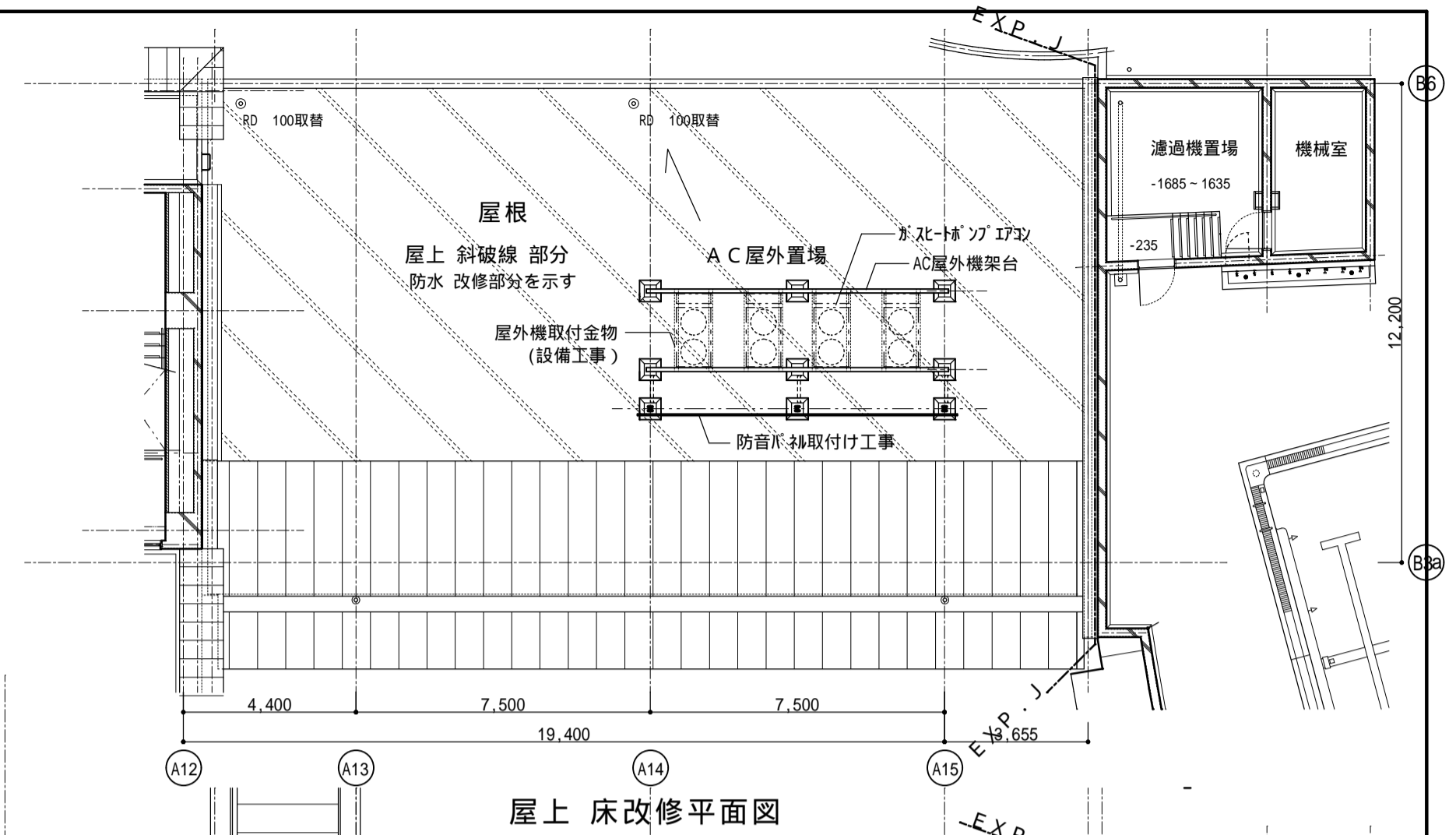
屋上 既存図 1/20

改修詳細

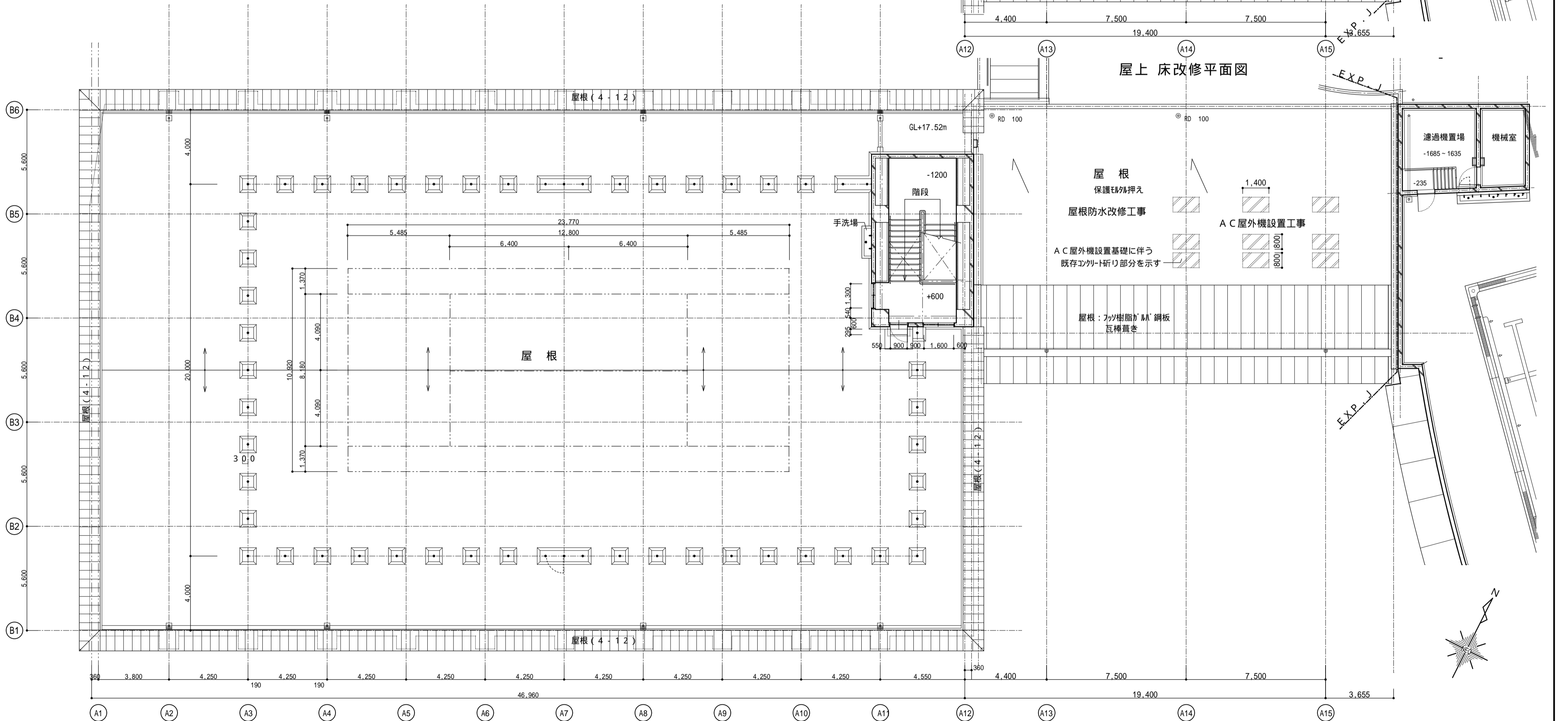
シート防水 F1.5(全面)
保護コンクリート 780
(ワイヤメッシュ筋 6 100角)
絶縁シート
ポリイソシアヌレート 725
コンクリート押え FC=21

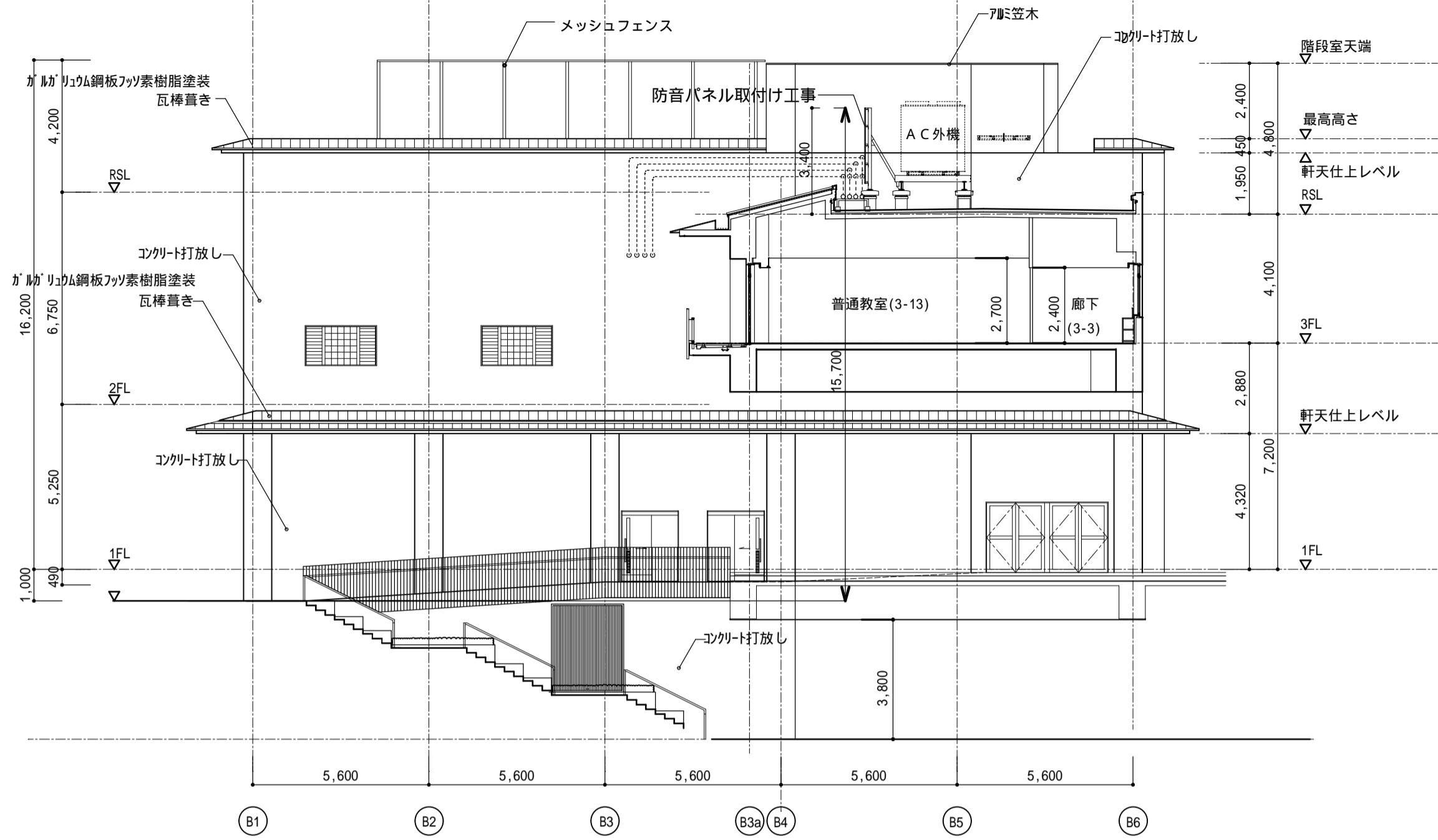


屋上 改修詳細図 1/20

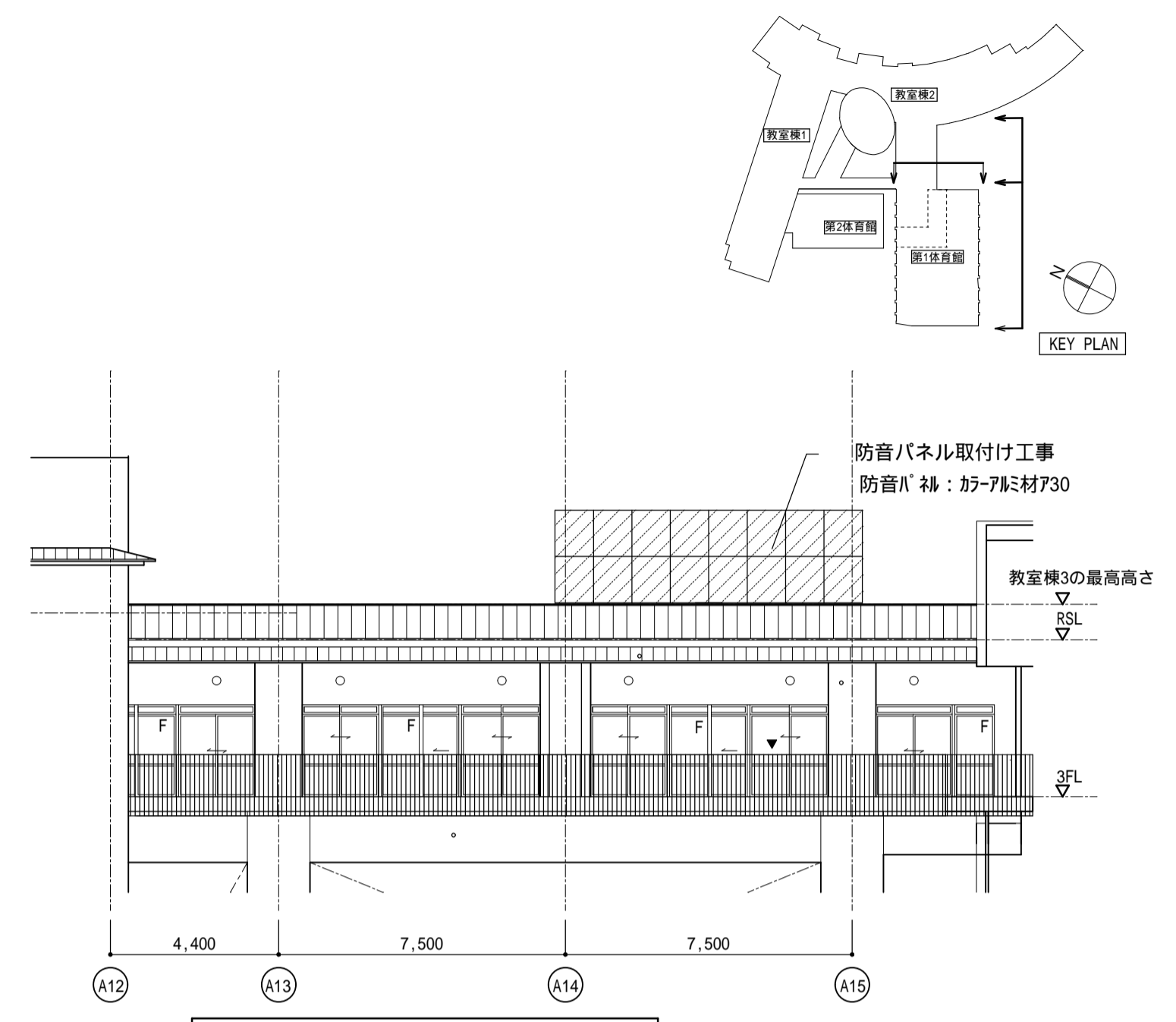


屋上 床改修平面図

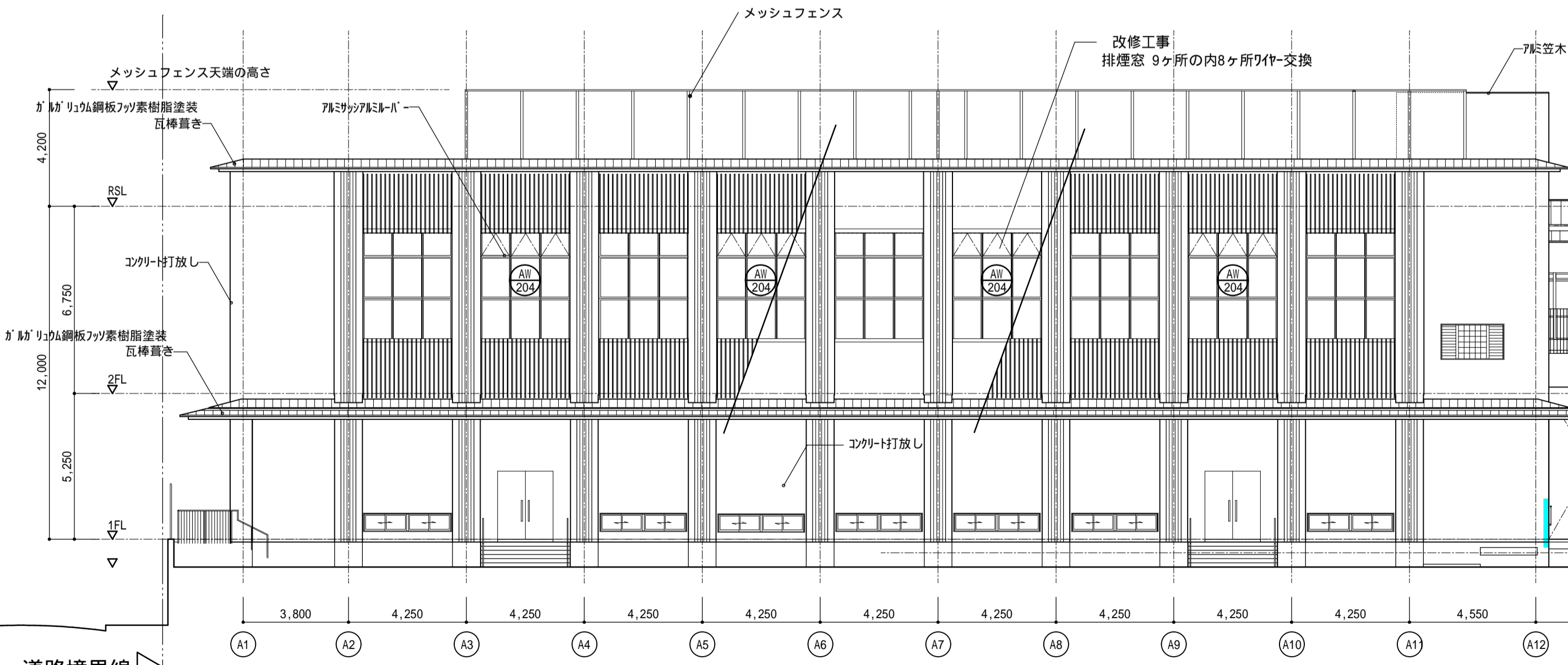




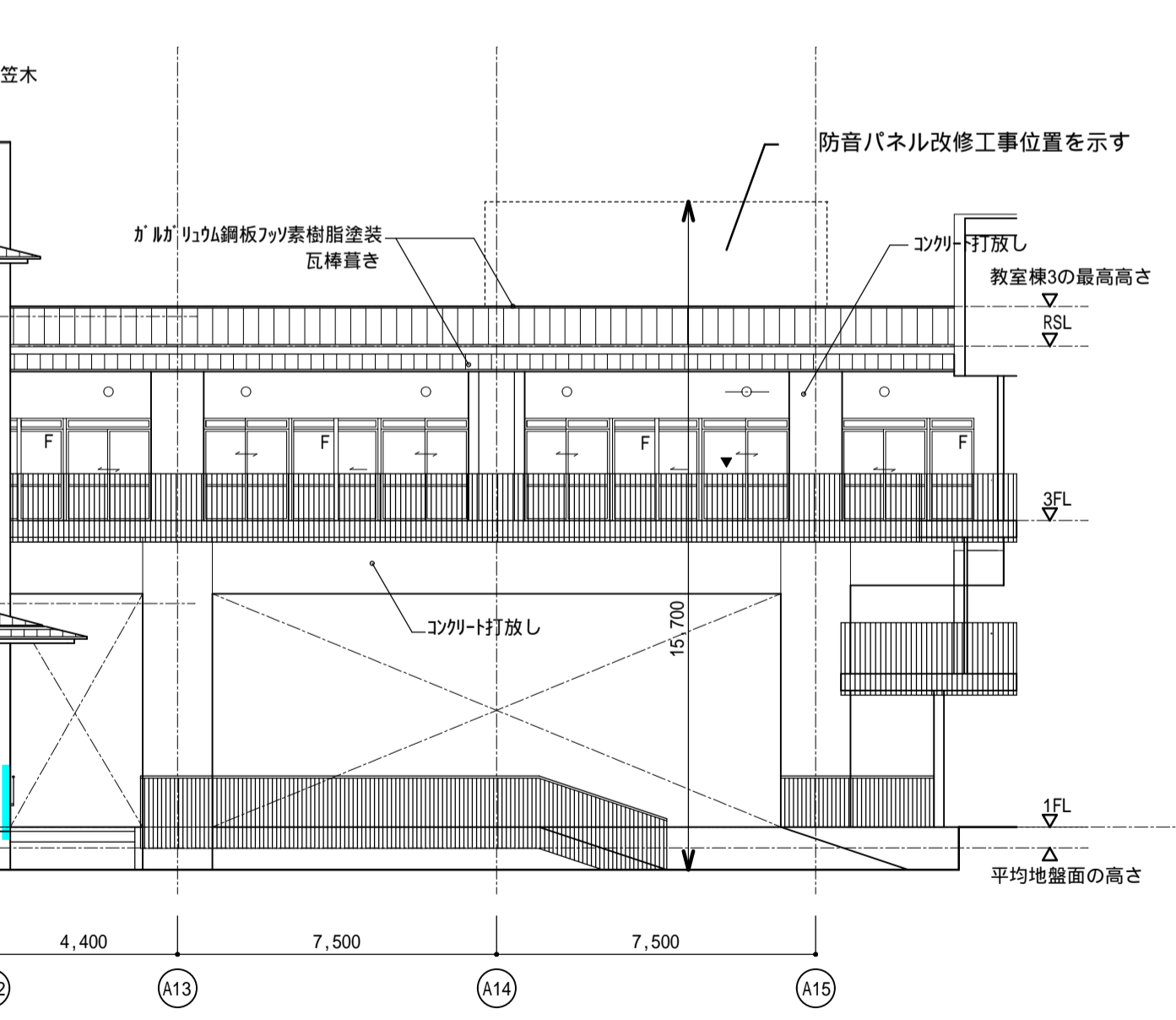
第1体育館 東立面図



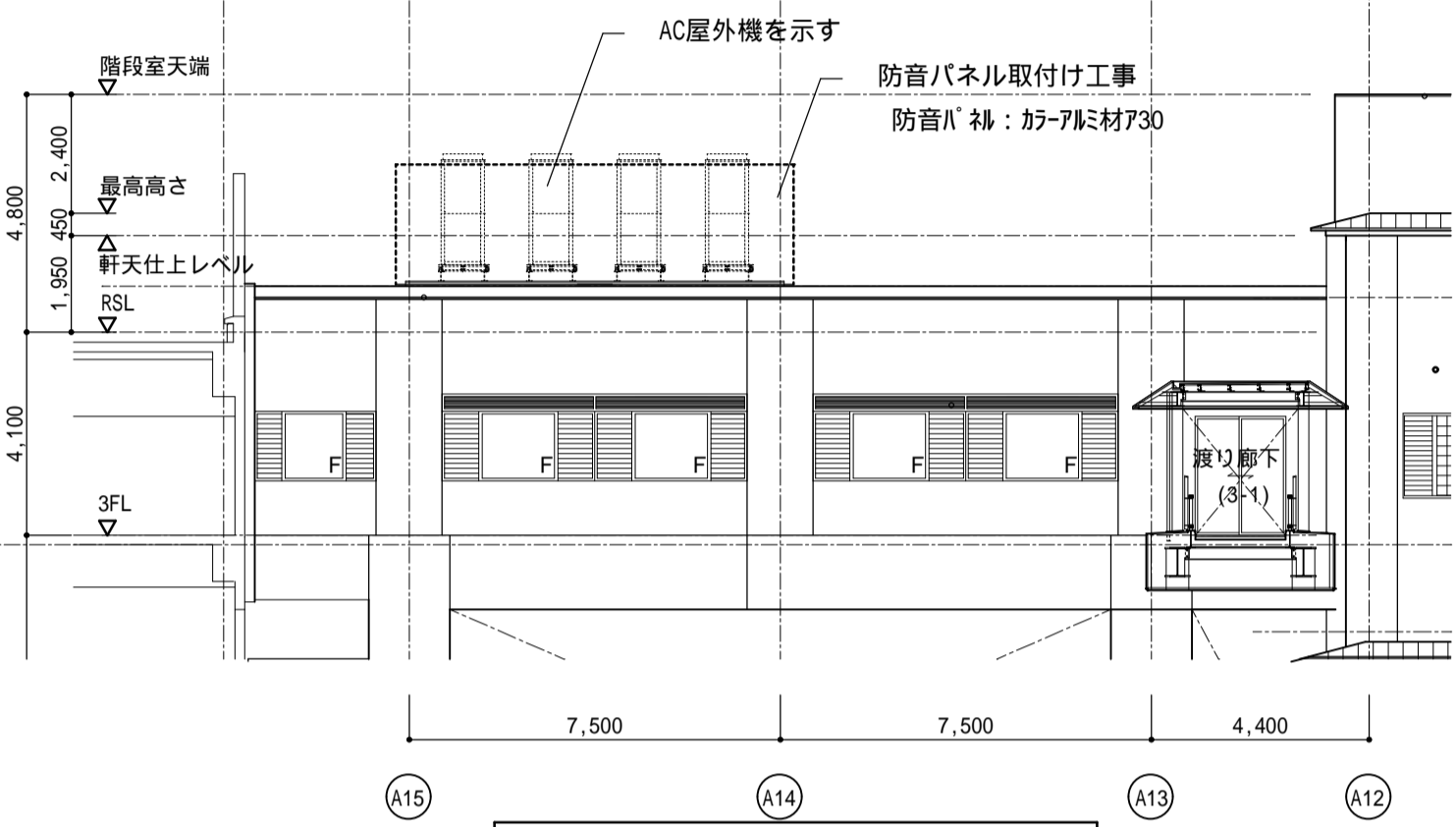
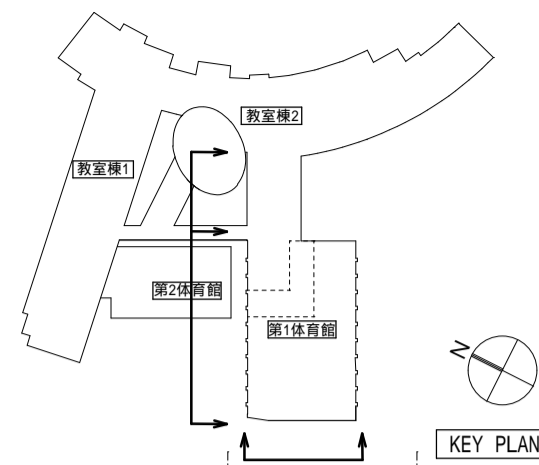
教室棟3 改修南立面図



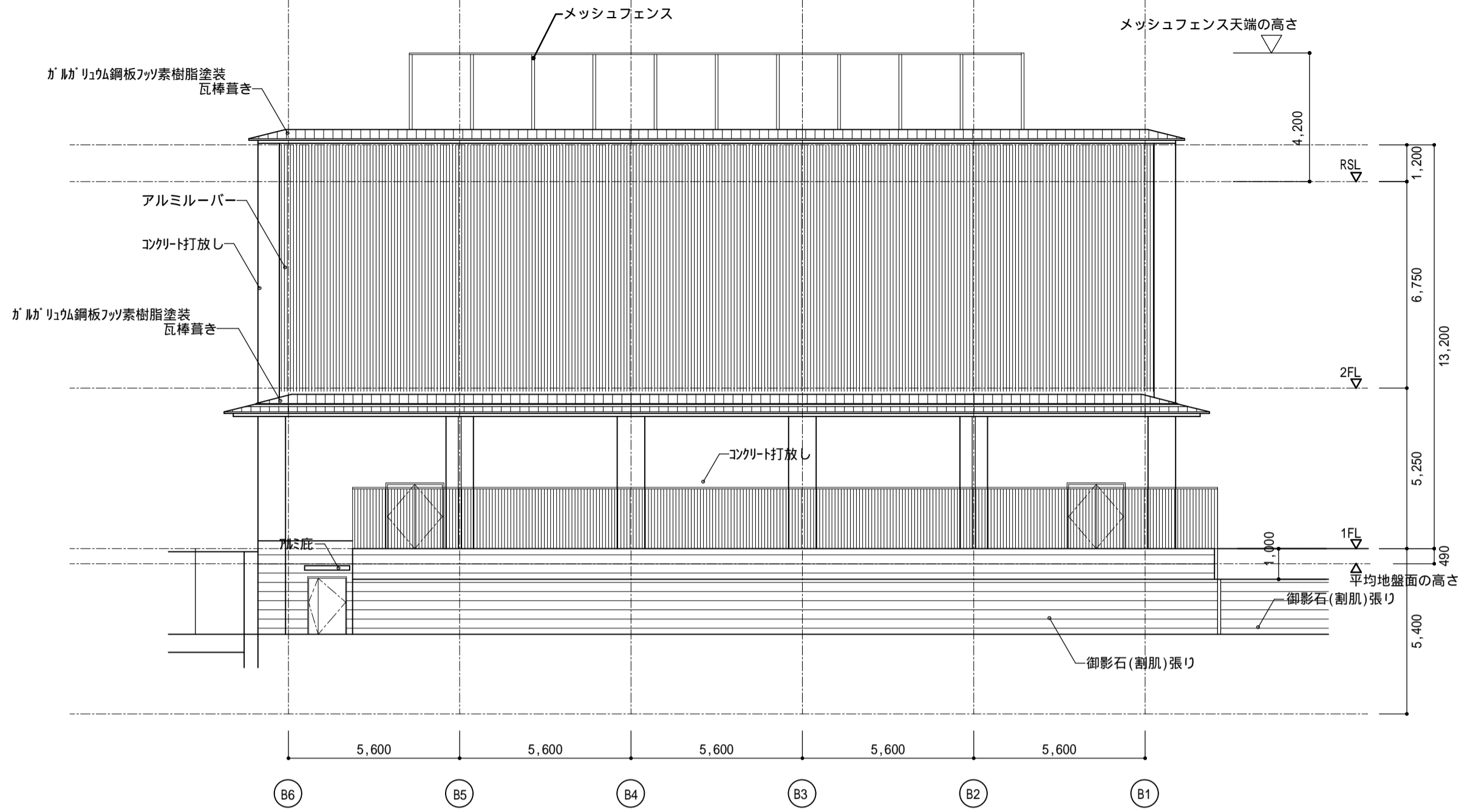
第1体育館 南立面図



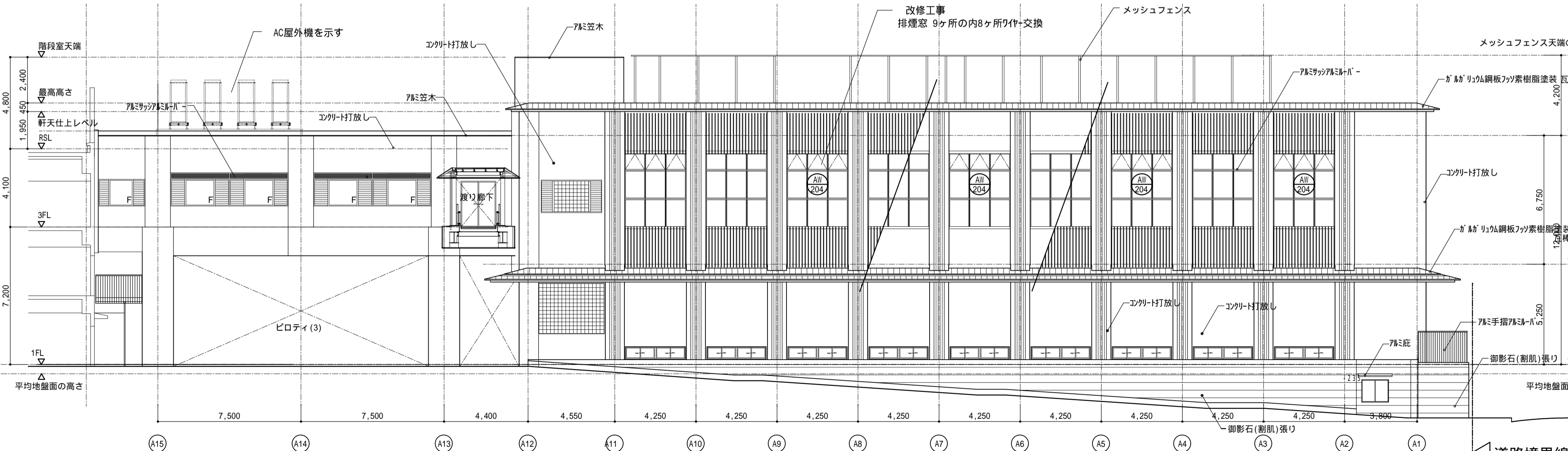
教室棟3 南立面図



教室棟3 改修北立面図



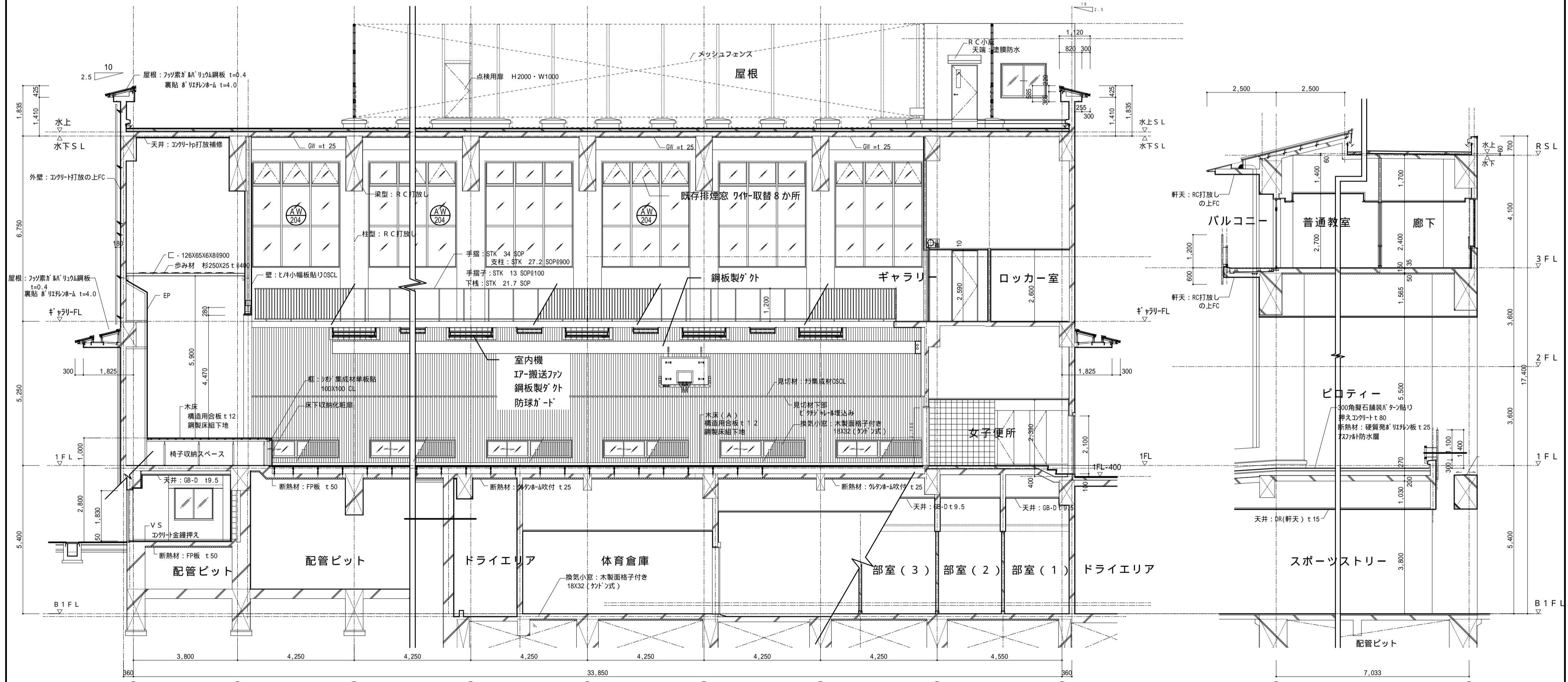
第1体育館 西立面図

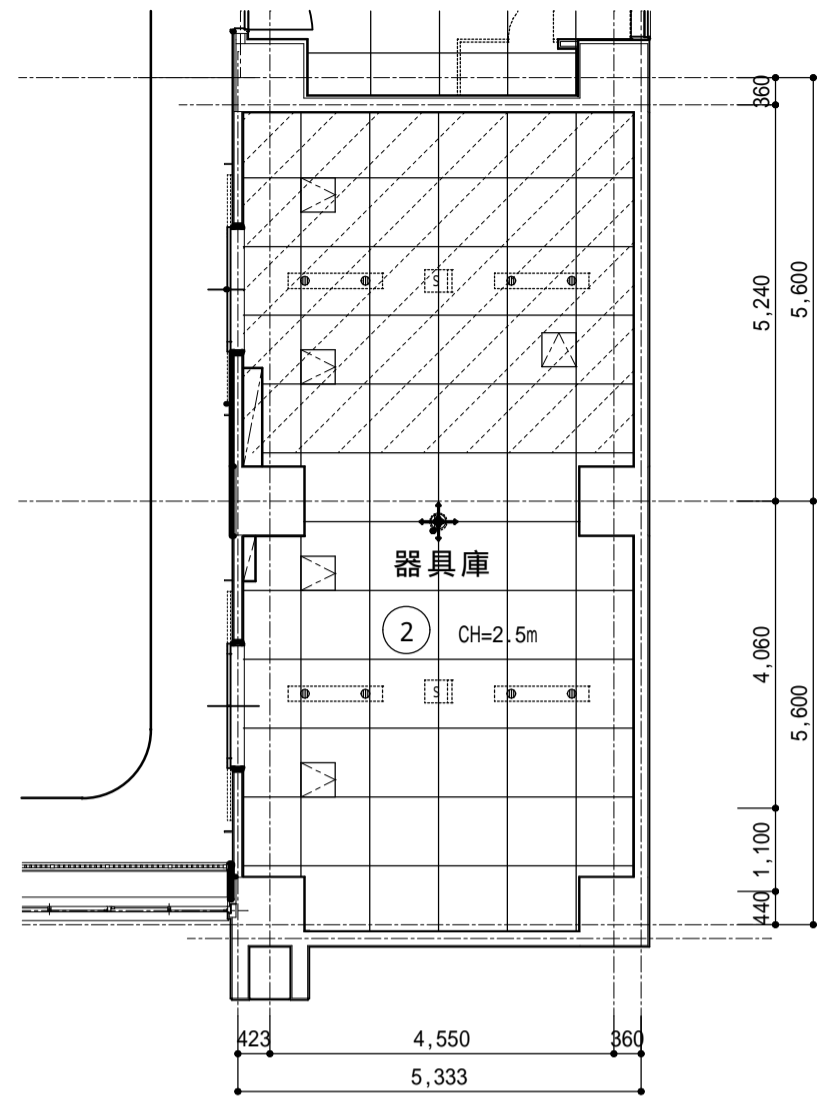
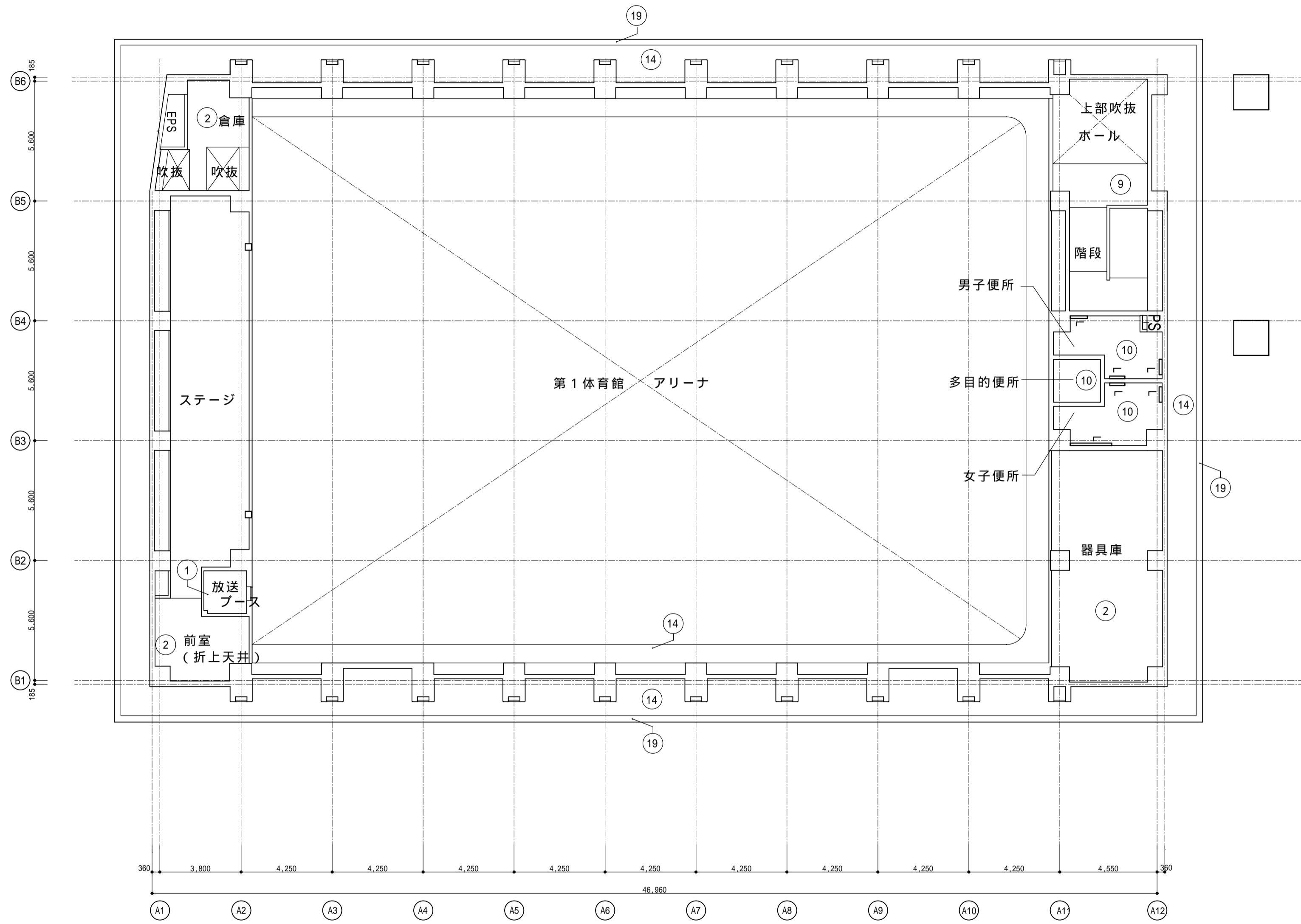


第1体育館 北立面図

教室棟3 北立面図

建具記号	位置	数量	AW204	ギャラリー階 第1体育館 ギャラリー	9	AW204A	ギャラリー階 第1体育館 ギャラリー	9	AW201	1階 第1体育館 アリーナ	2	AW202	1階 第1体育館 アリーナ	1.4	
図				排煙窓 ワイヤ-取替 (8か所)											
扉見込	枠見込	枠見付		扉見込	--	枠見込み	100	枠見付	--	扉見込	--	枠見込み	70	枠見付	--
方	式			突出し排煙窓付FIXアルミサッシ				FIXアルミサッシ		引違いアルミサッシ			引違いアルミサッシ		
形	式			参考メーカー：オイレスECO株式会社				-		-			-		
仕上	(表面処理)			アルミシルバー マット仕上げ (B-2)				アルミシルバー マット仕上げ (B-2)		アルミシルバー マット仕上げ (B-2)			アルミシルバー マット仕上げ (B-2)		
ガラス	ス			スクールテンパーライト t5				スクールテンパーライト t5		スクールテンパーライト t5			スクールテンパーライト t5		
ヒンジ・フランス	落し			付属金物一式、アングルピース、突出し窓オペレーター (隠蔽式)				付属金物一式、アングルピース 付属金物一式、アングルピース		付属金物一式、アングルピース、召合わせ部指詰め防止ゴム取付			付属金物一式、アングルピース、召合わせ部指詰め防止ゴム取付		
その他				アルミ顔線・水切り、自然風力換気窓金物一式 (降雨セガ付) 一部網戸付 (ステンレスメッシュ)、電源-100V仕様				アルミ顔線・水切り、自然風力換気窓金物一式 (降雨セガ付) 一部網戸付 (ステンレスメッシュ)、電源-100V仕様		アルミ顔線・水切り 網戸付 (ステンレスメッシュ)			アルミ顔線・水切り		
改修項目				排煙窓のワイヤ-取替 (8か所)											





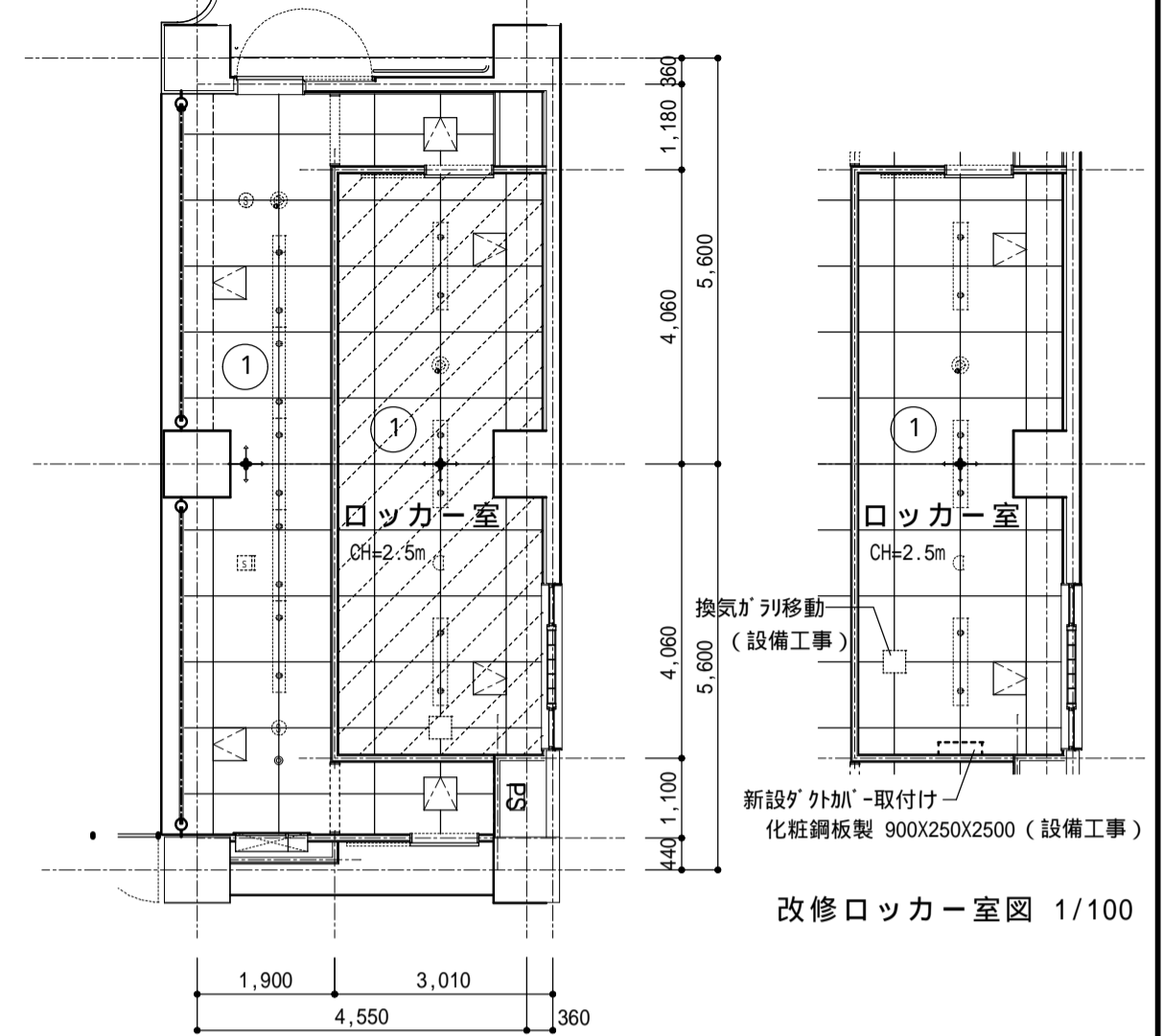
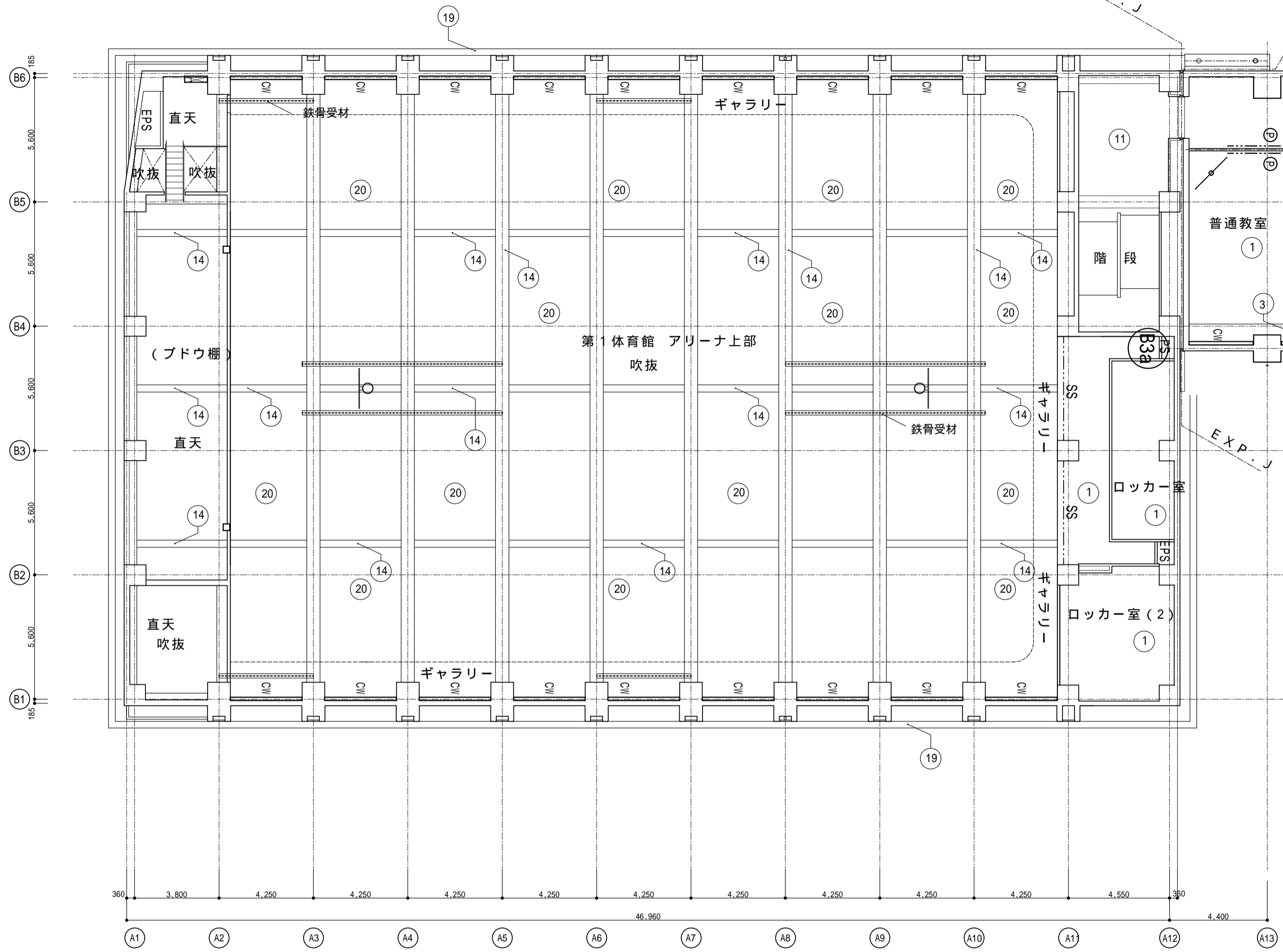
器具庫平面図 1/100

改修工事 器具庫 (斜線部分)
 改修概要: 仕上下地共解体、空調設備工事後 天井改修とする
 現況天井: 化粧石膏ボード (トワイチ模様) 79.5張 CH=2.5m 下地LGS共解体
 7#450角天井点口及び照明器具、防災設備、換気が列等脱着。
 改修概要: 化粧石膏ボード (トワイチ模様) 79.5張 CH=2.5m 下地LGS共新設
 7#450角天井点口及び照明器具、防災設備、換気が列等取付け。

凡例
 天井改修範囲を示す

< 天井仕上凡例 >

①	化粧石膏吸音ボード t=9.5
②	化粧石膏ボード t=9.5
③	石膏ボード t=9.5 寒冷紗パテしごきの上 E P
④	ロックウール化粧吸音板 t=9.0
⑤	ロックウール化粧吸音板 t=12.0 (スタンダードタイプ)
⑥	F Gボード t=6.0+6.0 寒冷紗パテしごきの上 E P
⑦	ガラス繊維不敷布入石膏ボード t=12.0 寒冷紗パテしごきの上 E P
⑧	杉桟合板ハガサネ貼 (竿縁天井)
⑨	コンクリート打放補修の上 E P
⑩	無石棉セメントケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 E P
⑪	無石棉セメントケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 E P G
⑫	無石棉セメントケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 A E
⑬	ロックウール化粧吸音板 (軒天用) t=15
⑭	コンクリート打放の上 F C
⑮	コンクリート打放補修 (C) のまま (直天)
⑯	有孔シナ合板 O S C L
⑰	クロス (A)
⑱	GW t=5 0 ガラスクロス押え
⑲	フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.4
⑳	GW t=2 5 ガラスクロス押え
Ch	カーテンボックス、カーテンレール 1本取付 (木製) W150
B	ブラインドボックス (木製) W150
◎	ビクチャーレール
+	天井フック
●	地図掛け
S	スクリーンボックス (木製) W150
L	照明BOX スチール焼付塗装

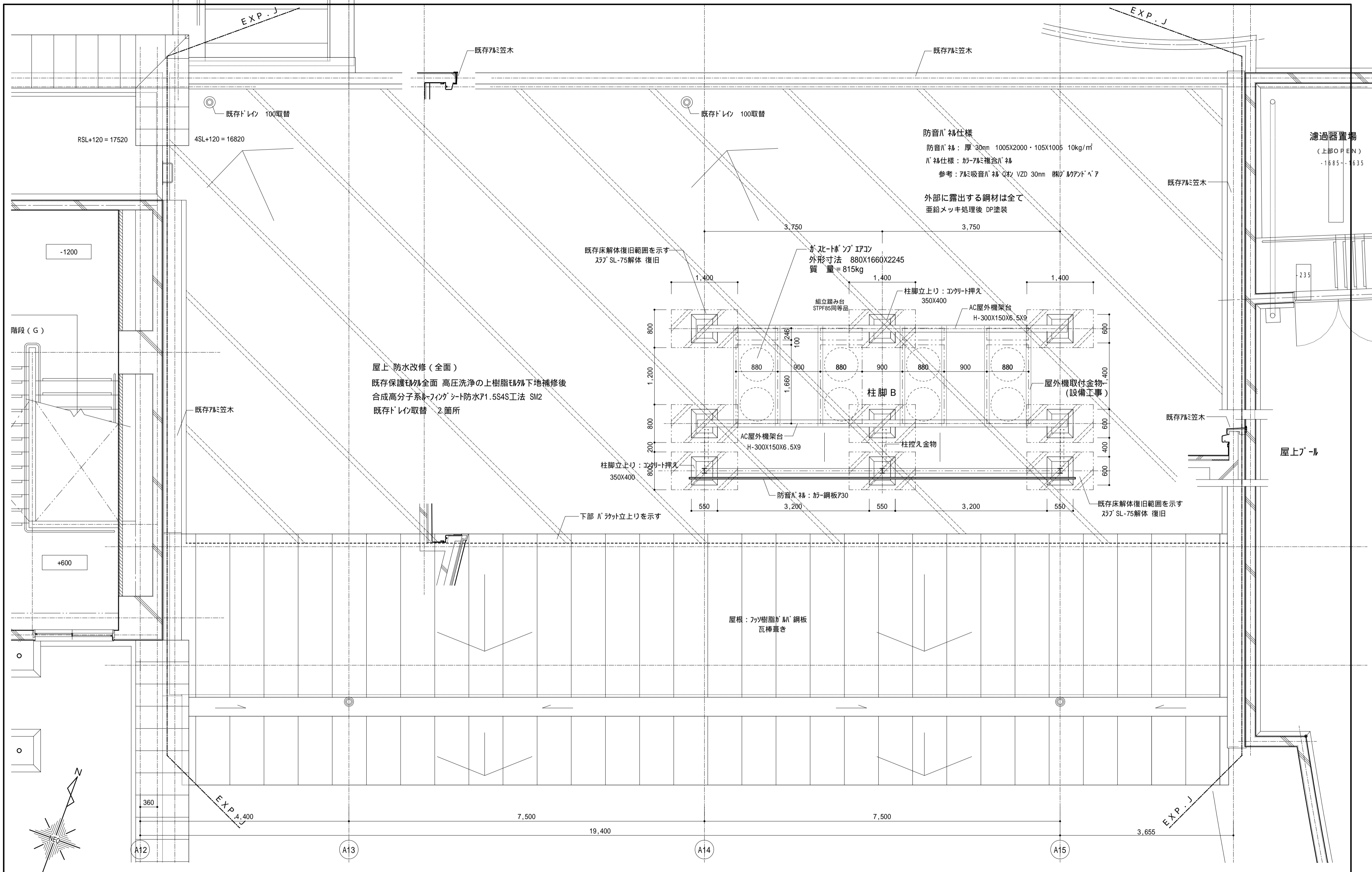


改修工事 ロッカー室 (斜線部分)
 改修概要: 仕上下地共解体、空調設備工事後 天井改修する
 現況天井: 化粧石膏吸音ボード 79.5張 CH=2.5m 下地LGS共解体
 7#450角天井点口及び照明器具、防災設備、換気がリ等脱着。
 改修概要: 化粧石膏吸音ボード 79.5張 CH=2.5m 下地LGS共新設
 7#450角天井点口及び照明器具、防災設備、換気がリ等取付け。

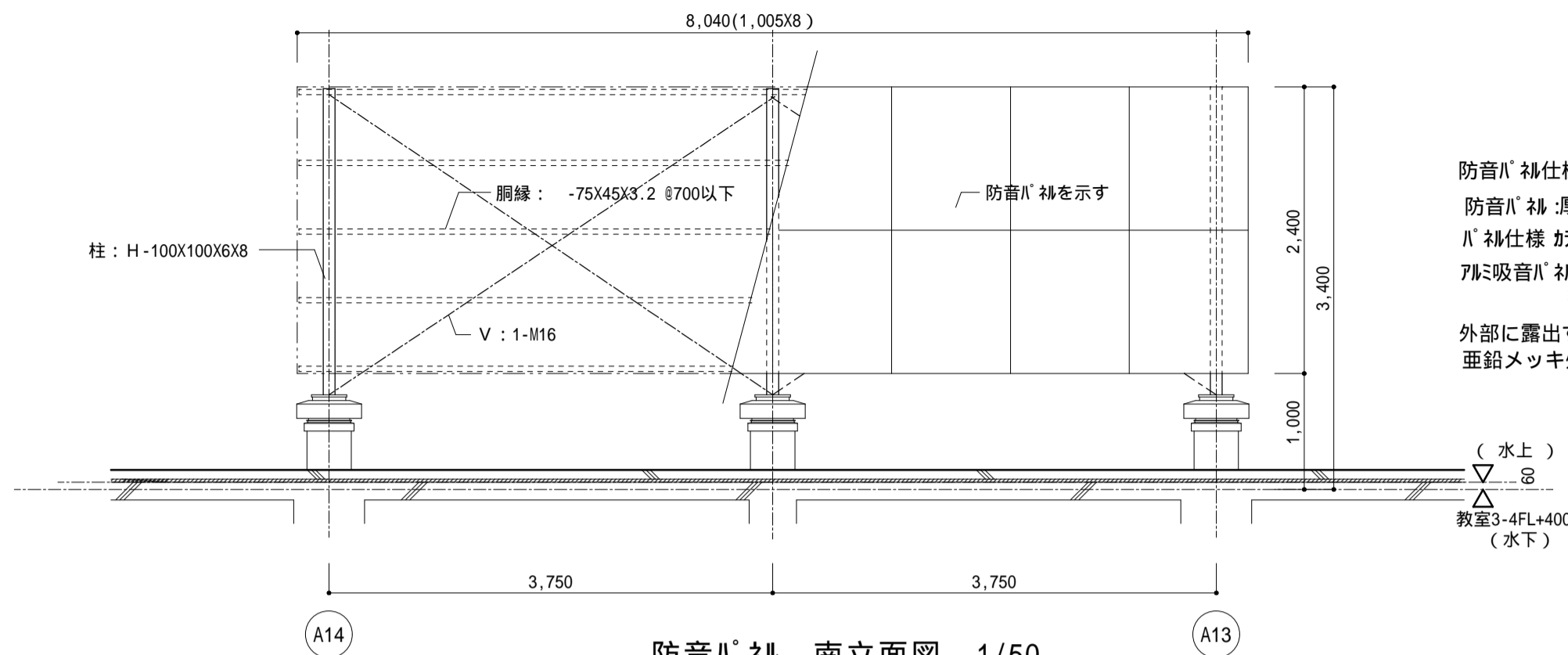
凡例
 天井改修範囲を示す

< 天井仕上凡例 >

①	化粧石膏吸音ボード t=9.5
②	化粧石膏ボード t=9.5
③	石膏ボード t=9.5 寒冷紗パテしごきの上 E P
④	ロックウール化粧吸音板 t=9.0
⑤	ロックウール化粧吸音板 t=12.0 (スタンダードタイプ)
⑥	F G ボード t=6.0+6.0 寒冷紗パテしごきの上 E P
⑦	ガラス繊維不敷布入石膏ボード t=12.0 寒冷紗パテしごきの上 E P
⑧	杉空合板ハガサネ貼 (竿縁天井)
⑨	コンクリート打放補修の上 E P
⑩	無石棉セメントケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 E P
⑪	無石棉セメントケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 E P G
⑫	無石棉セメントケイ酸カルシウム板 t=6.0の上 A E
⑬	ロックウール化粧吸音板 (軒天用) t=15
⑭	コンクリート打放の上 F C
⑮	コンクリート打放補修 (C) のまま (直天)
⑯	有孔シナ合板 O S C L
⑰	クロス (A)
⑱	GW t=5 0 ガラスクロス押え
⑲	フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.4
⑳	GW t=2 5 ガラスクロス押え
CW	カーテンボックス、カーテンレール 1 本取付 (木製) W150
B	ブラインドボックス (木製) W150
⓪	ピクチャーレール
+	天井フック
→	地図掛け
S	スクリーンボックス (木製) W150
L	照明BOX スチール焼付塗装



備考 屋上 防水改修 (全面)		工事名称 宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事	図面名称 第1体育館 (改修図) A C 屋外機周り平面図	縮尺 1/50 年月日 2026.03	図面 No. A -21
--------------------	--	-----------------------------	-------------------------------------	------------------------------	-----------------

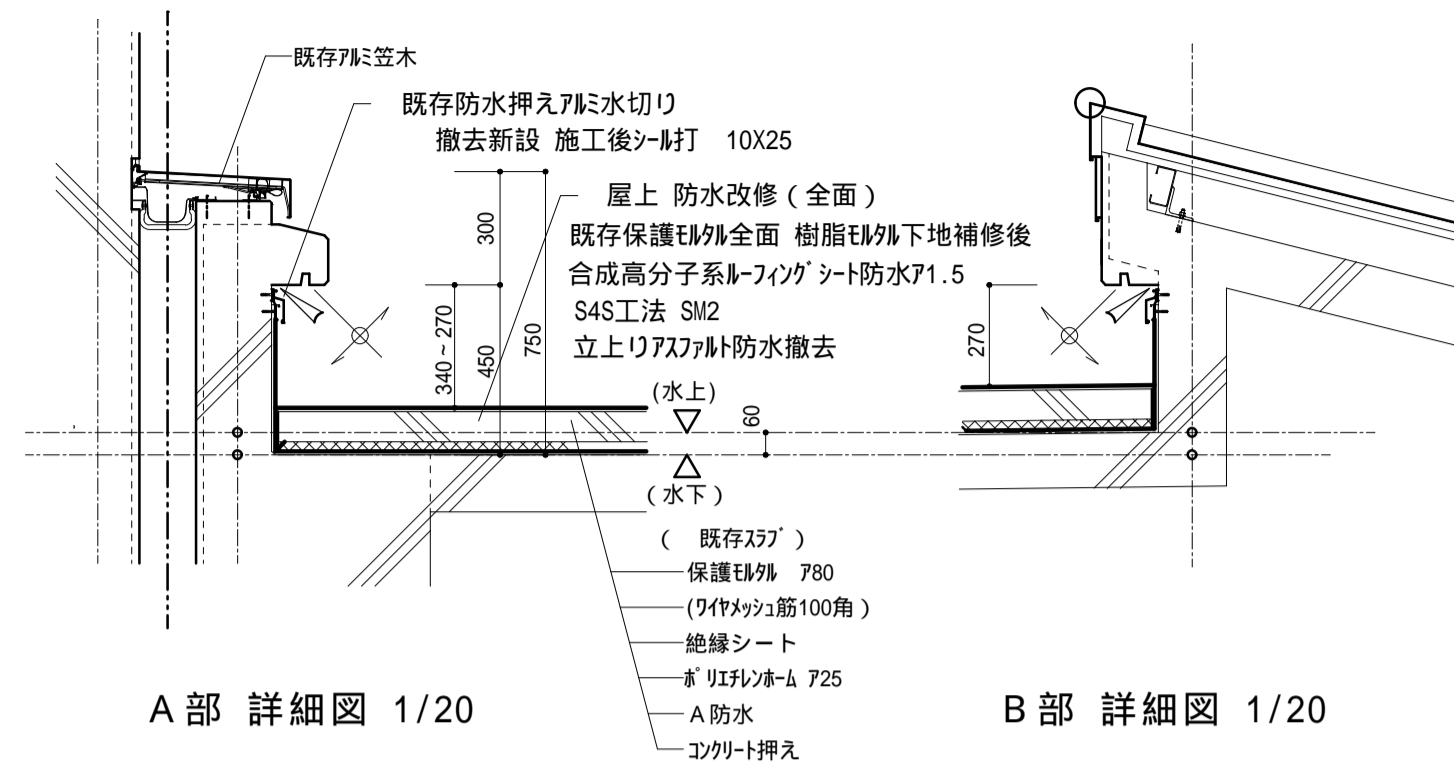


防音バ 南立面図 1/50

防音バ 仕様 2.5Y8.5/1.5 (ベージュ)
 防音バ 厚 30mm 1005X2000・105X1005 10kg/m²
 バ 仕様 カ-アルミ複合バ
 アルミ吸音バ Qオ VZD 30mm (樹アルマドハア 同等品)

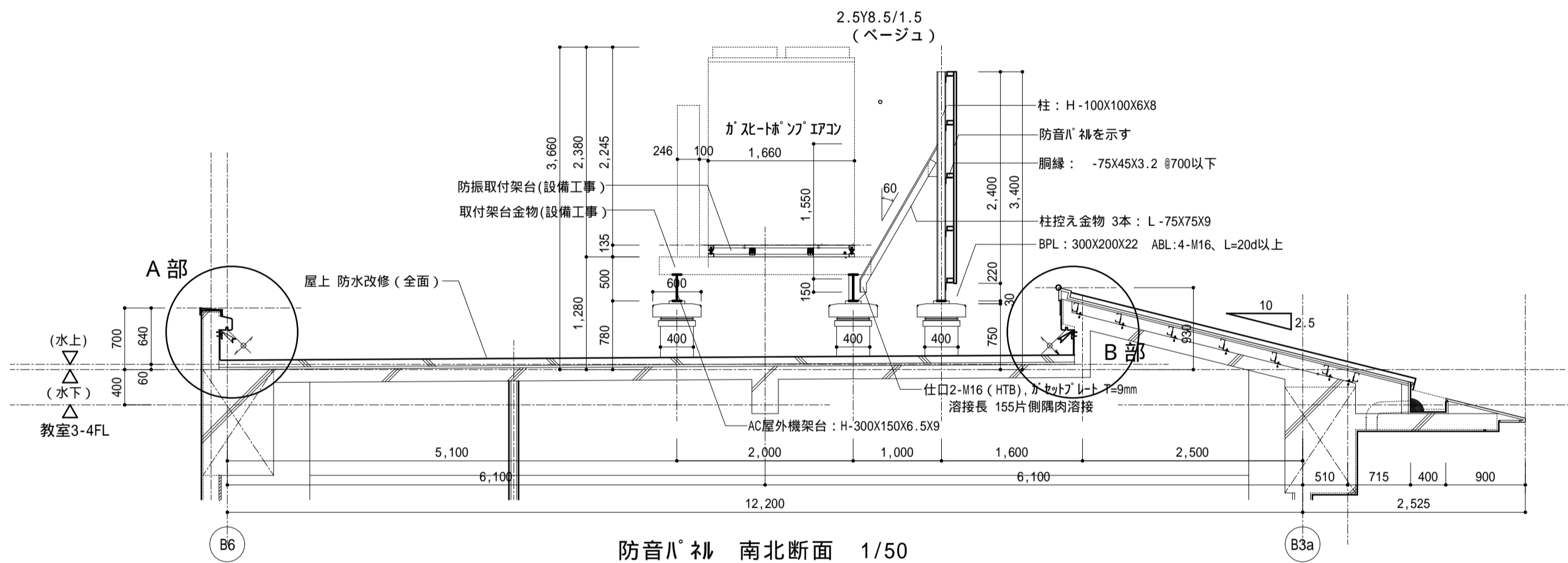
外部に露出する鋼材は全て
 亜鉛メッキ処理後 DP塗装

(水上) △ 8
 教室3-4FL+400
 (水下)

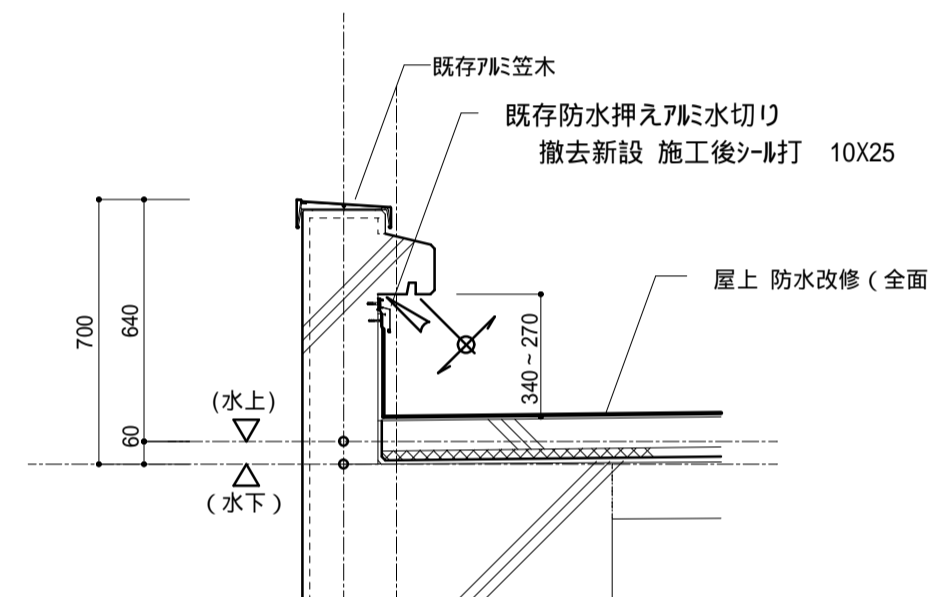


A部 詳細図 1/20

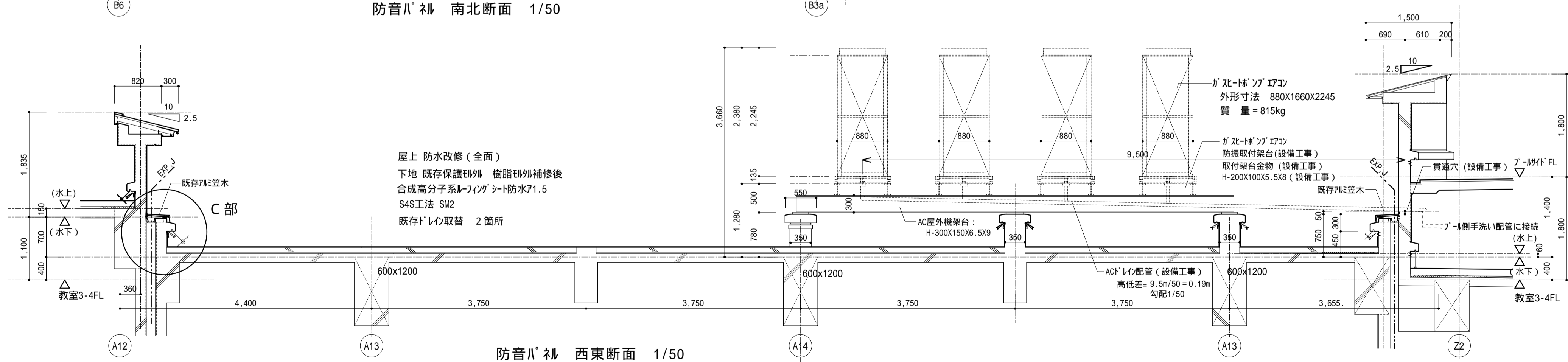
B部 詳細図 1/20



防音バ 南北断面 1/50



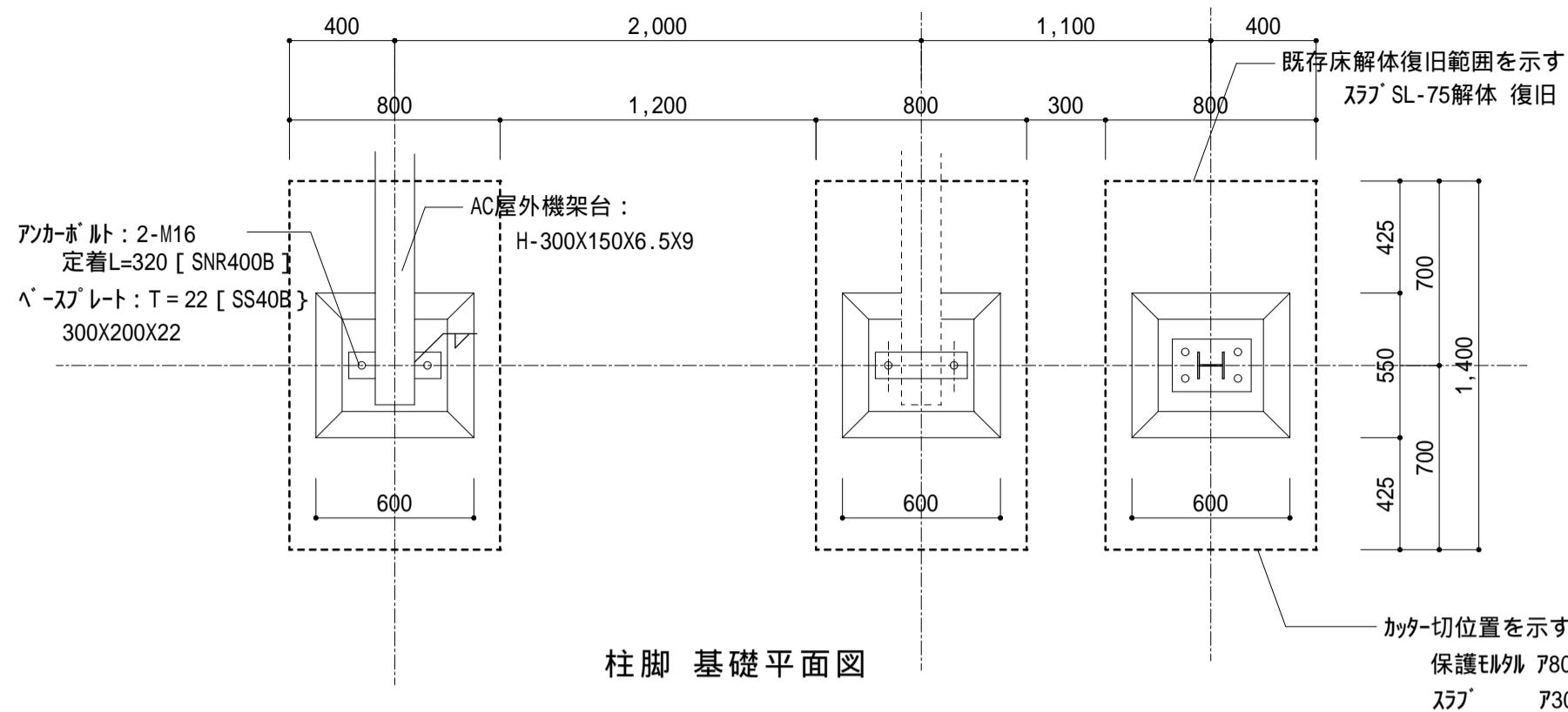
C部 詳細図 1/20



防音バ 西東断面 1/50

屋上 防水改修 (全面)
 下地 既存保護バ 樹脂バ 補修後
 合成高分子系バ 防水バ 1.5
 S4S工法 SM2
 既存バ 取替 2箇所

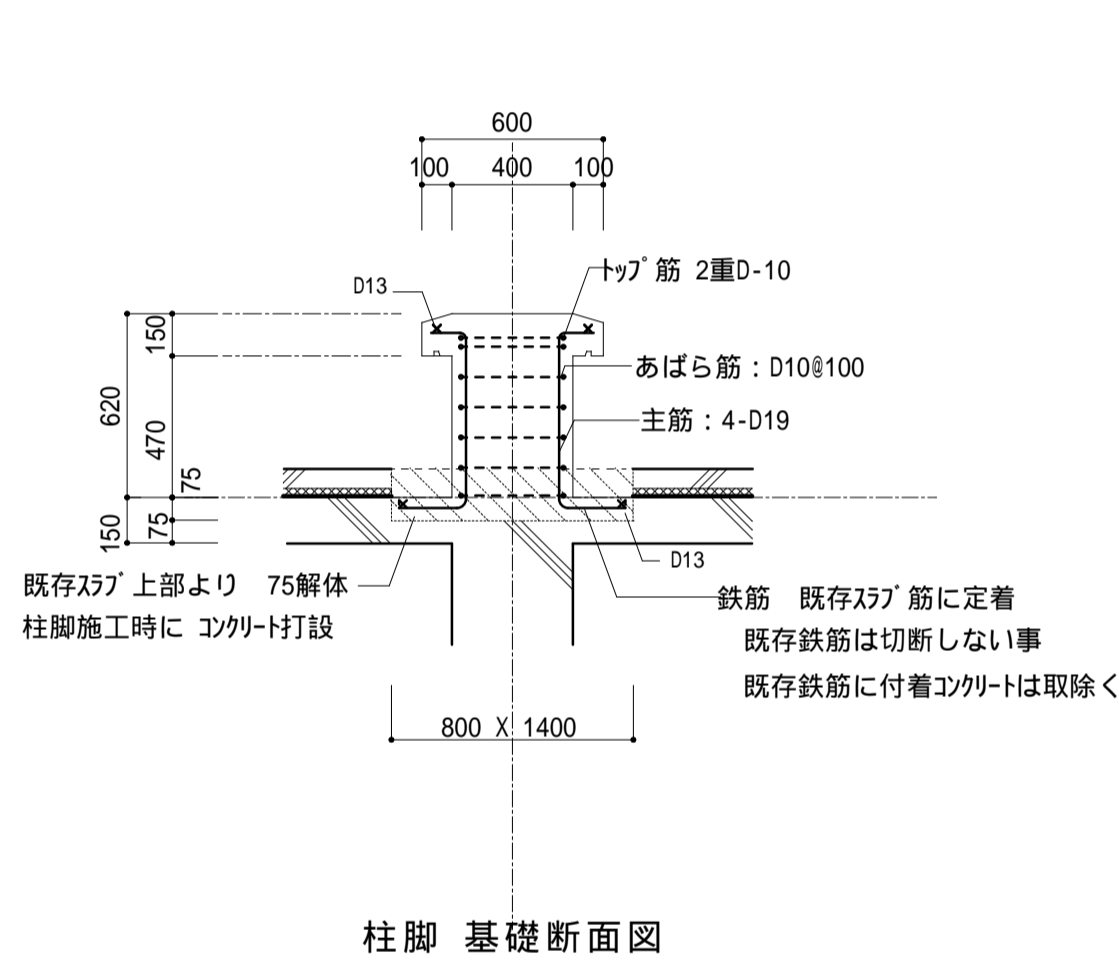
ガス・ホップ・アイロン
 外形寸法 880X1660X2245
 質量 = 815kg
 ガス・ホップ・アイロン
 防振取付架台 (設備工事)
 取付架台金物 (設備工事)
 H-200X100X5.5X8 (設備工事)



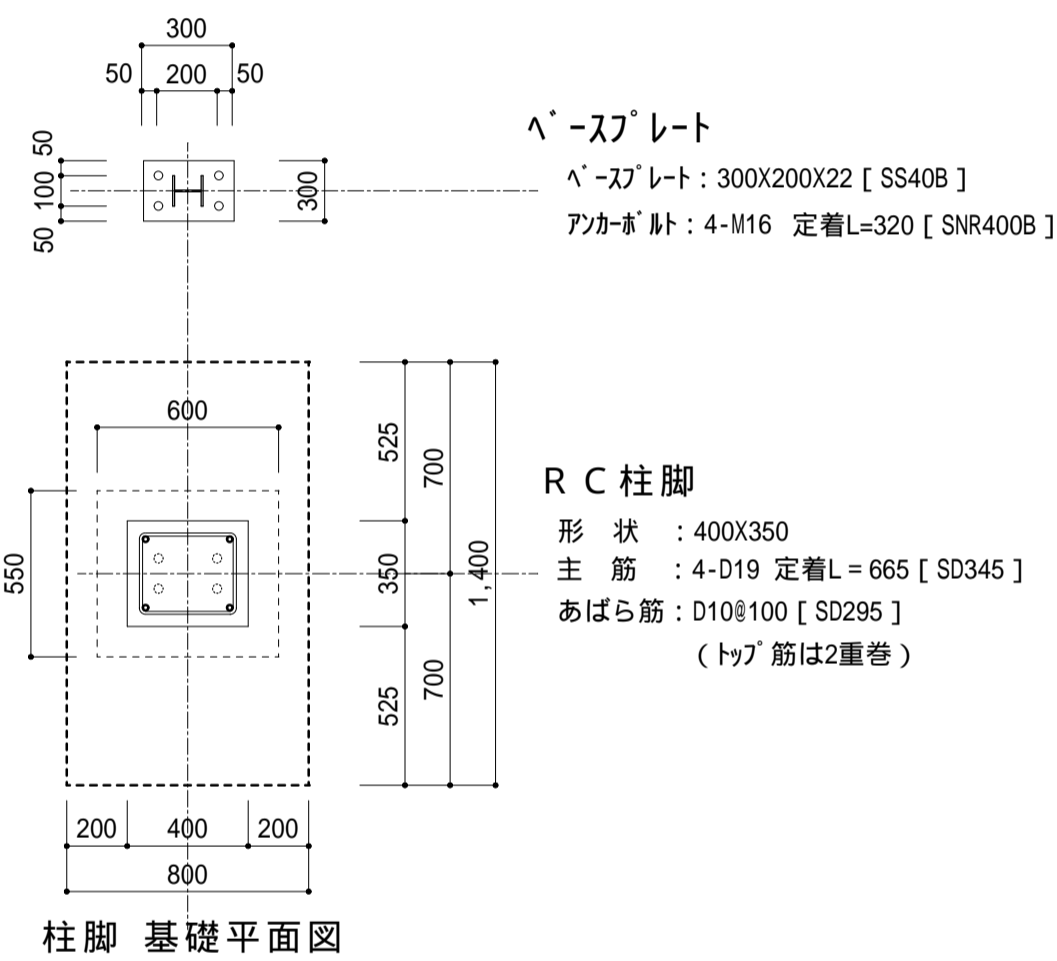
柱脚 基礎平面図

特記リスト

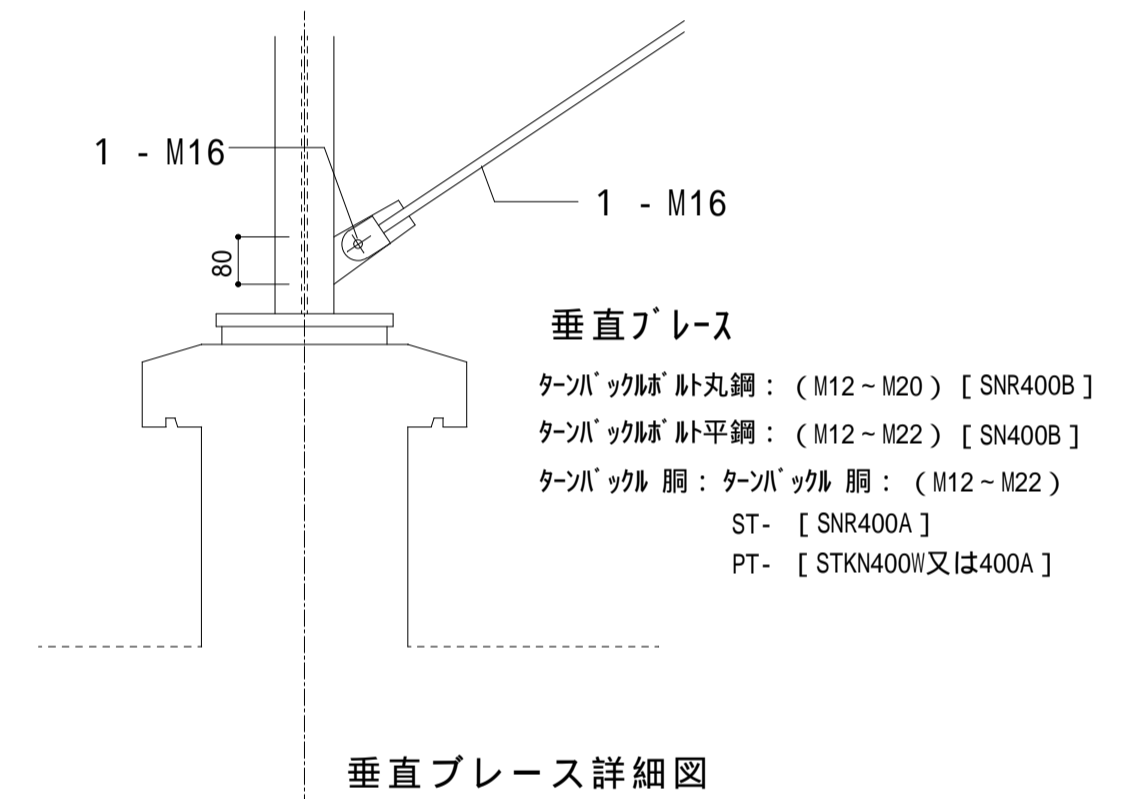
- コンクリート FC = 21N/m²
- 鉄筋 D19以上:SD345, D16以下:SD295
- 柱脚 在来
- 鋼材 H形鋼 SS400
- ボルト 高力ボルト S10T



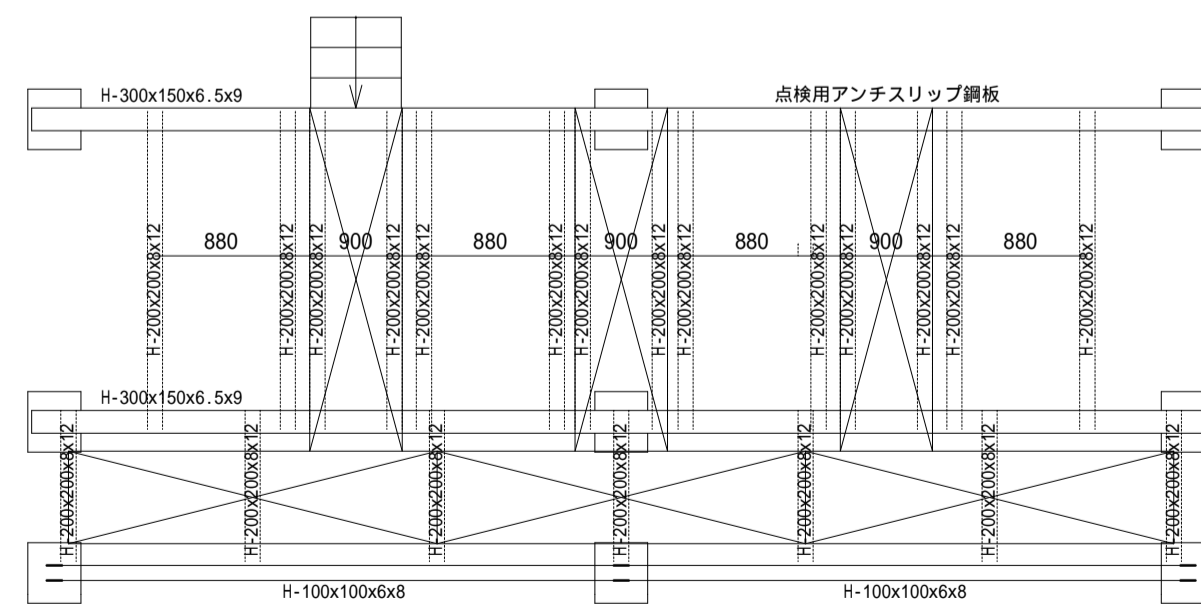
柱脚 基礎断面図



柱脚 基礎平面図



垂直ブレース詳細図



室外機架台・点検スペース 鉄骨伏図

備考	
----	--



一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称

宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

図面名称 第1体育館(改修図)

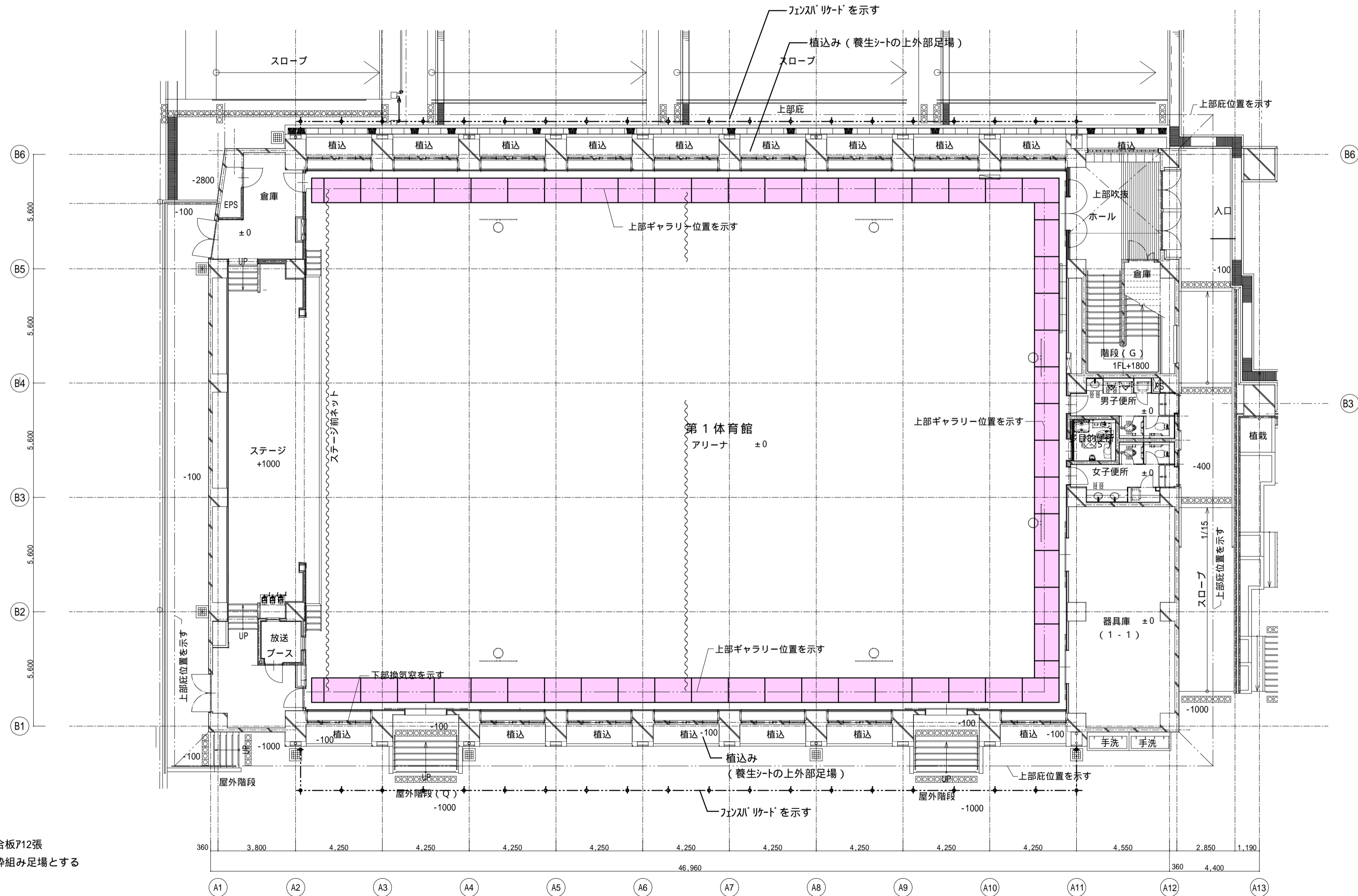
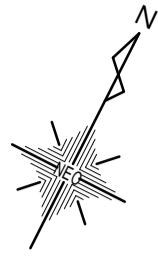
屋上 AC屋外機回り基礎図

縮尺 1/20, 1/30, 1/50

年月日 2026.03

図面 No

A -23



仮設特記事項
内部 足場下には合板A12張
足場は全て枠組み足場とする

備考
仮設足場：圍のまとめる足場等に関する安全基準の仕様に基き施工



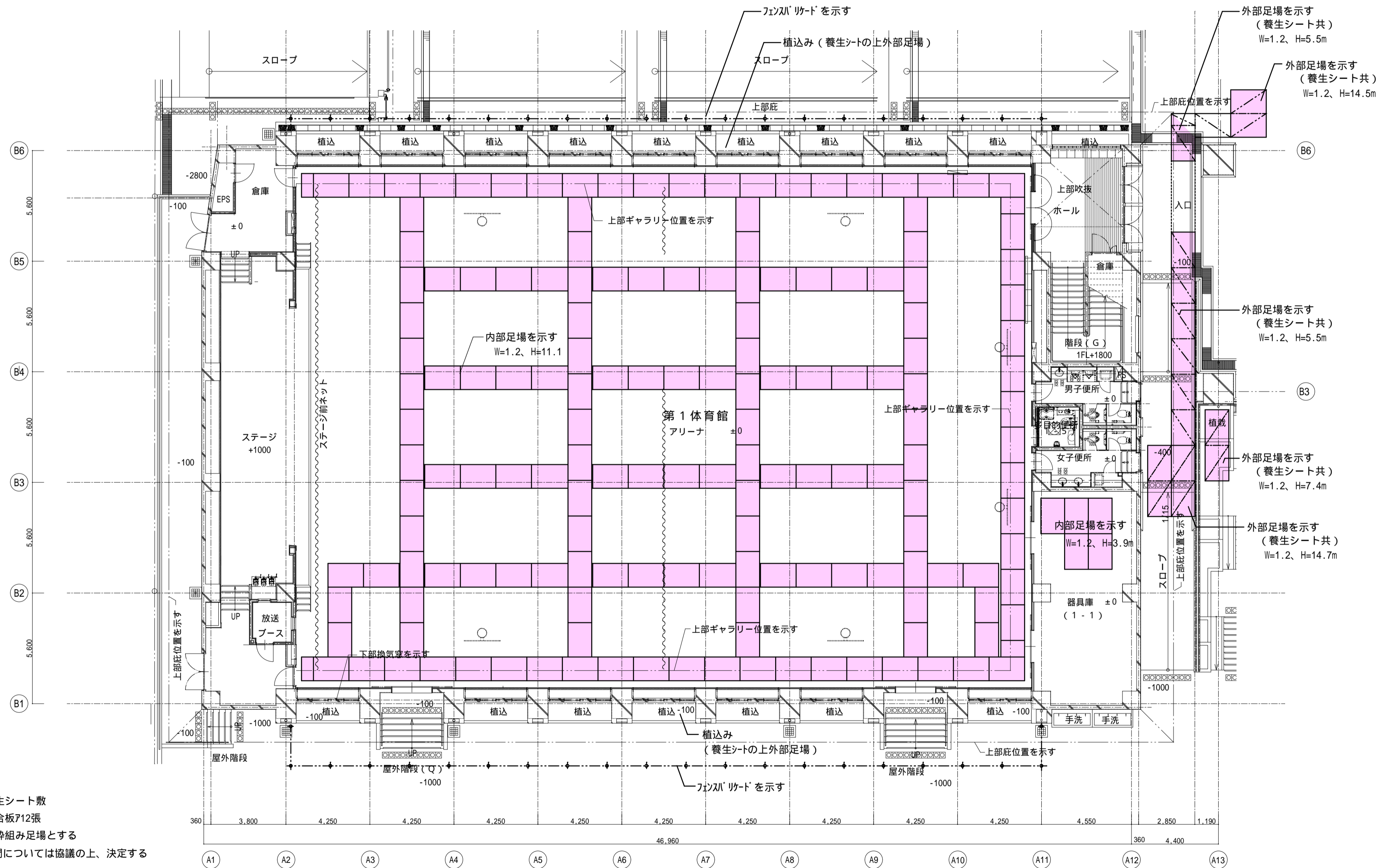
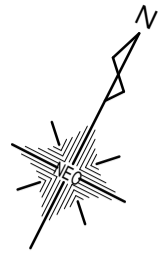
NEO
一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

図面名称
第1体育館 (仮設図)
1階平面図 参考図(1期)

縮尺 1/150
年月日 2026.03

図面 No
A-24



仮設特記事項

- 内部 床は全面養生シート敷
- 足場下には合板A12張
- 足場は全て枠組み足場とする
- 外部 足場設置期間については協議の上、決定する

備考
仮設足場：国のまとめる足場等に関する安全基準の仕様に基き施工



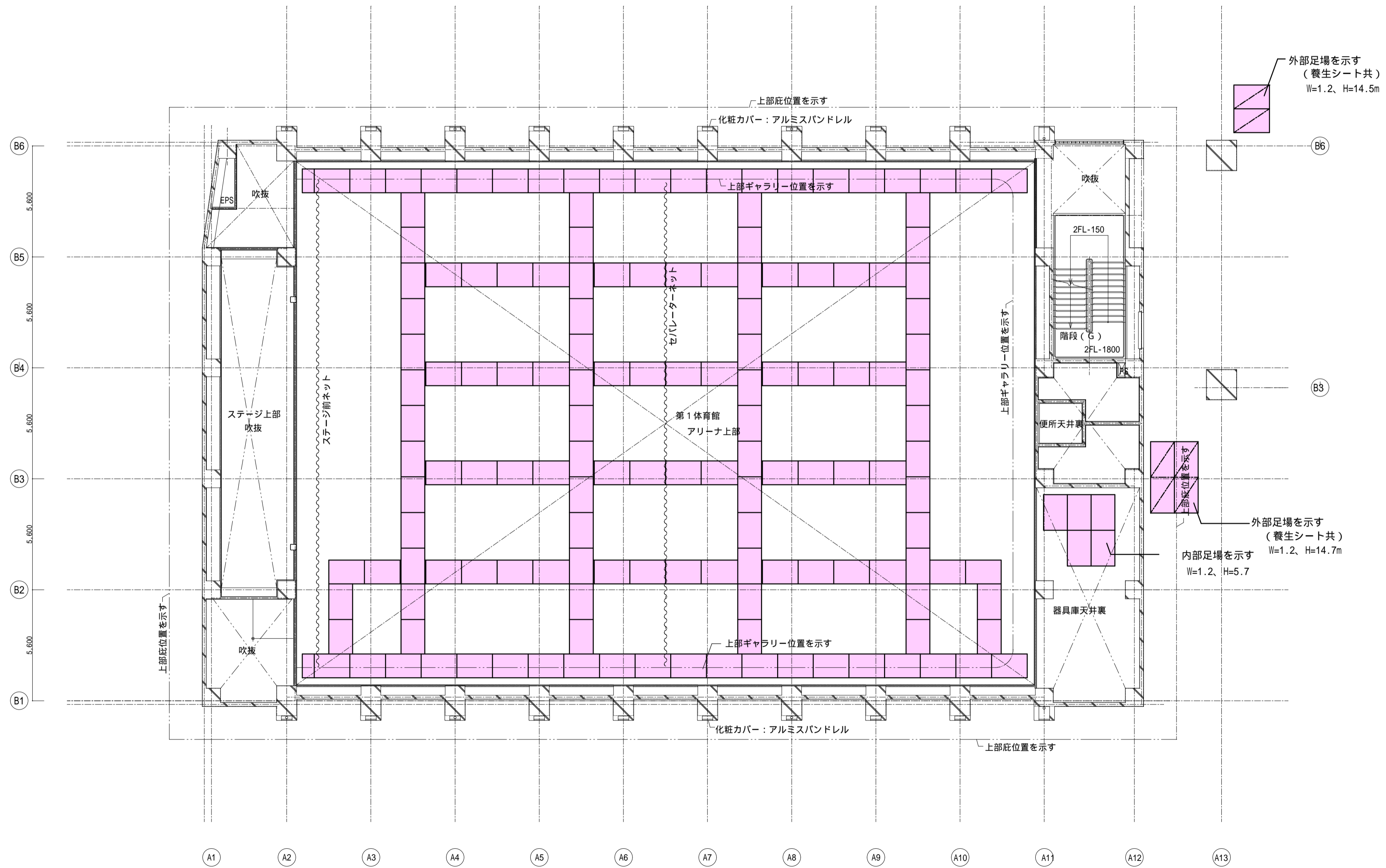
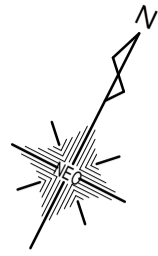
NEO 設計
株式会社 NEO 設計
一級建築士事務所
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

図面名称
第1体育館 (仮設図)
1階平面図 参考図(2期)

縮尺 1/150
年月日 2026.03

図面 No
A-25



備考
仮設足場：国のまとめる足場等に関する安全基準の仕様に基き施工



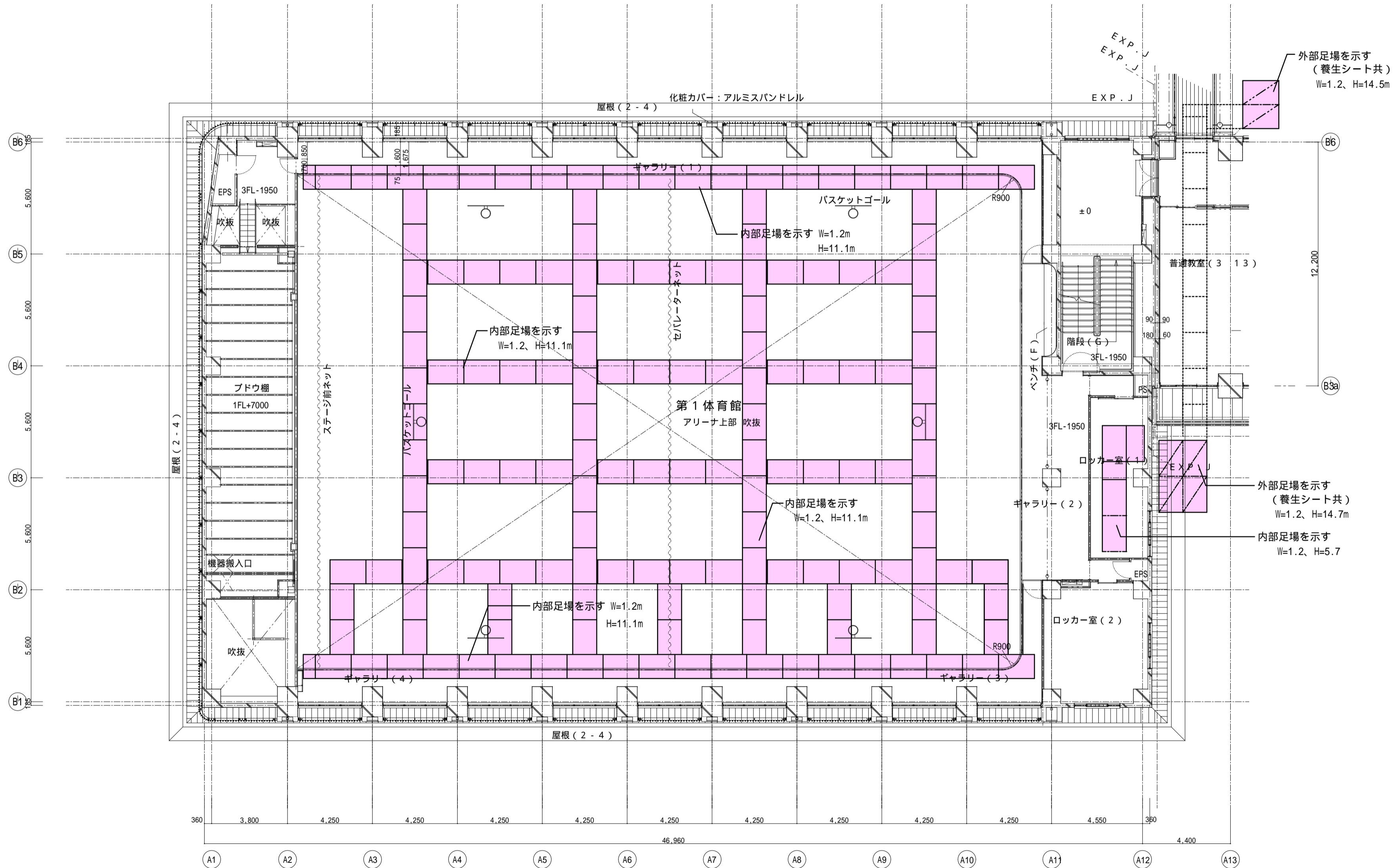
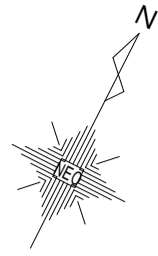
NEO
一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

図面名称
第1体育館 (仮設図)
2階平面図 参考図(2期)

縮尺 1/150
年月日 2026.03

図面 No
A-26



備考
仮設足場：国のまとめる足場等に関する安全基準の仕様に基き施工



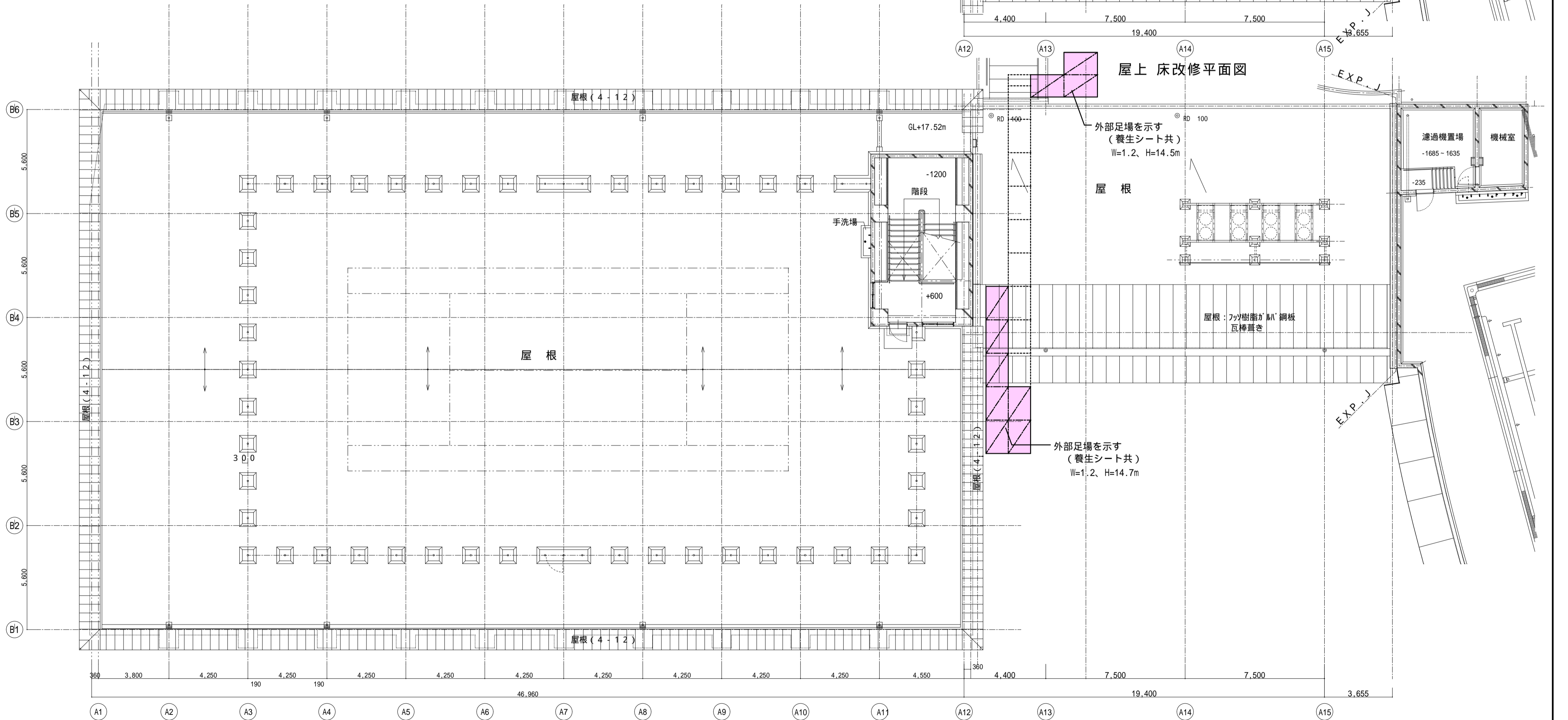
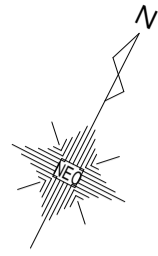
NEO
一級建築士事務所
株式会社 NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

図面名称
第1体育館 (仮設図)
3階平面図 参考図 2期

縮尺 1/150
年月日 2026.03

図面 No
A-27



備考
仮設足場：国のまとめる足場等に関する安全基準の仕様に基き施工



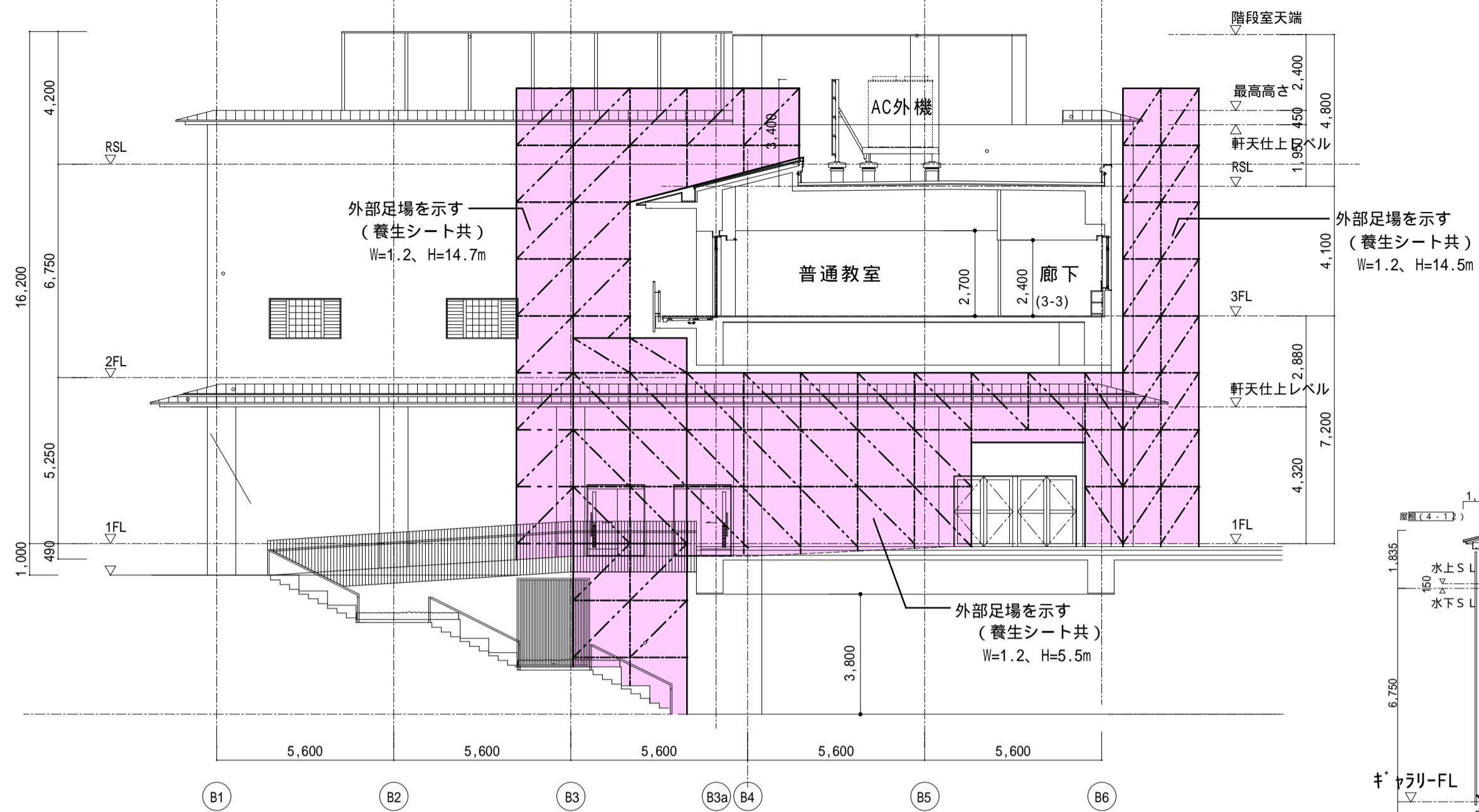
NEO
NEO設計
株式会社
第一級建築士登録
第187781号 中村剛正

工事名称
宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

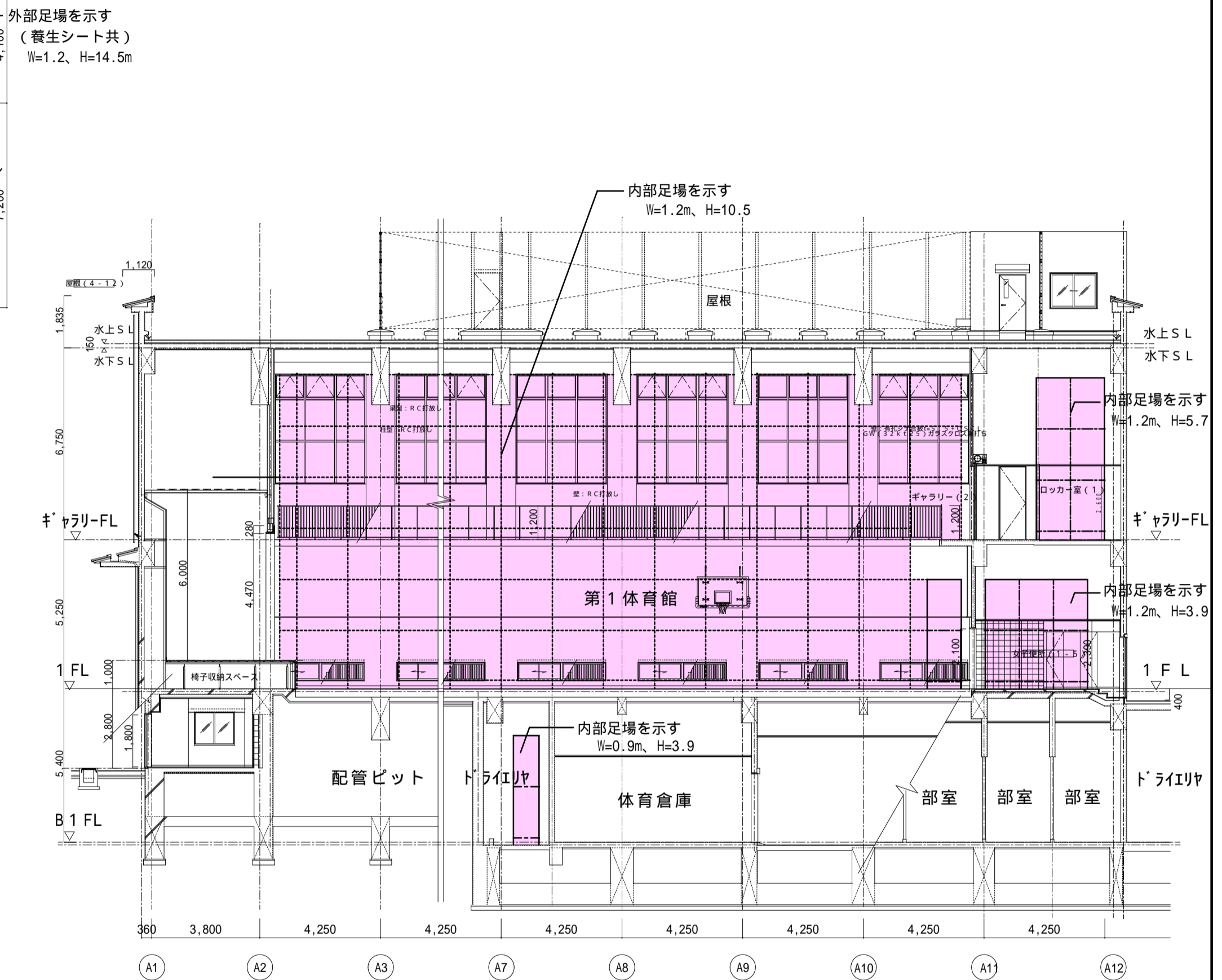
図面名称
第1体育館 (仮設図)
4階平面図 参考図(2期)

縮尺
1/150
年月日
2026.03

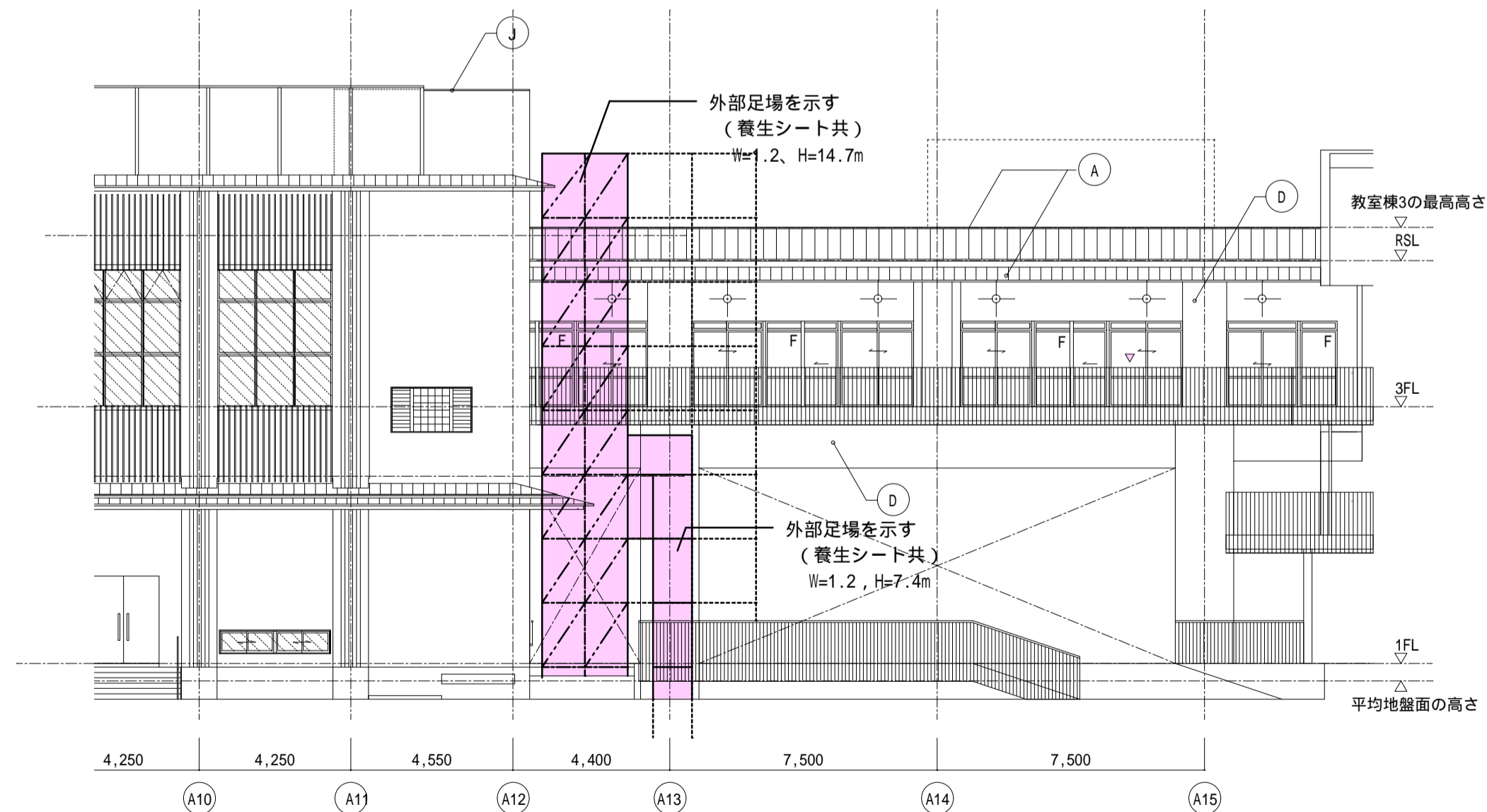
図面 No
A-28



第1体育館 東立面図



第1体育館 断面図



教室棟3 改修南立面図

備考
仮設足場：国のまとめる足場等に関する安全基準の仕様に基き施工



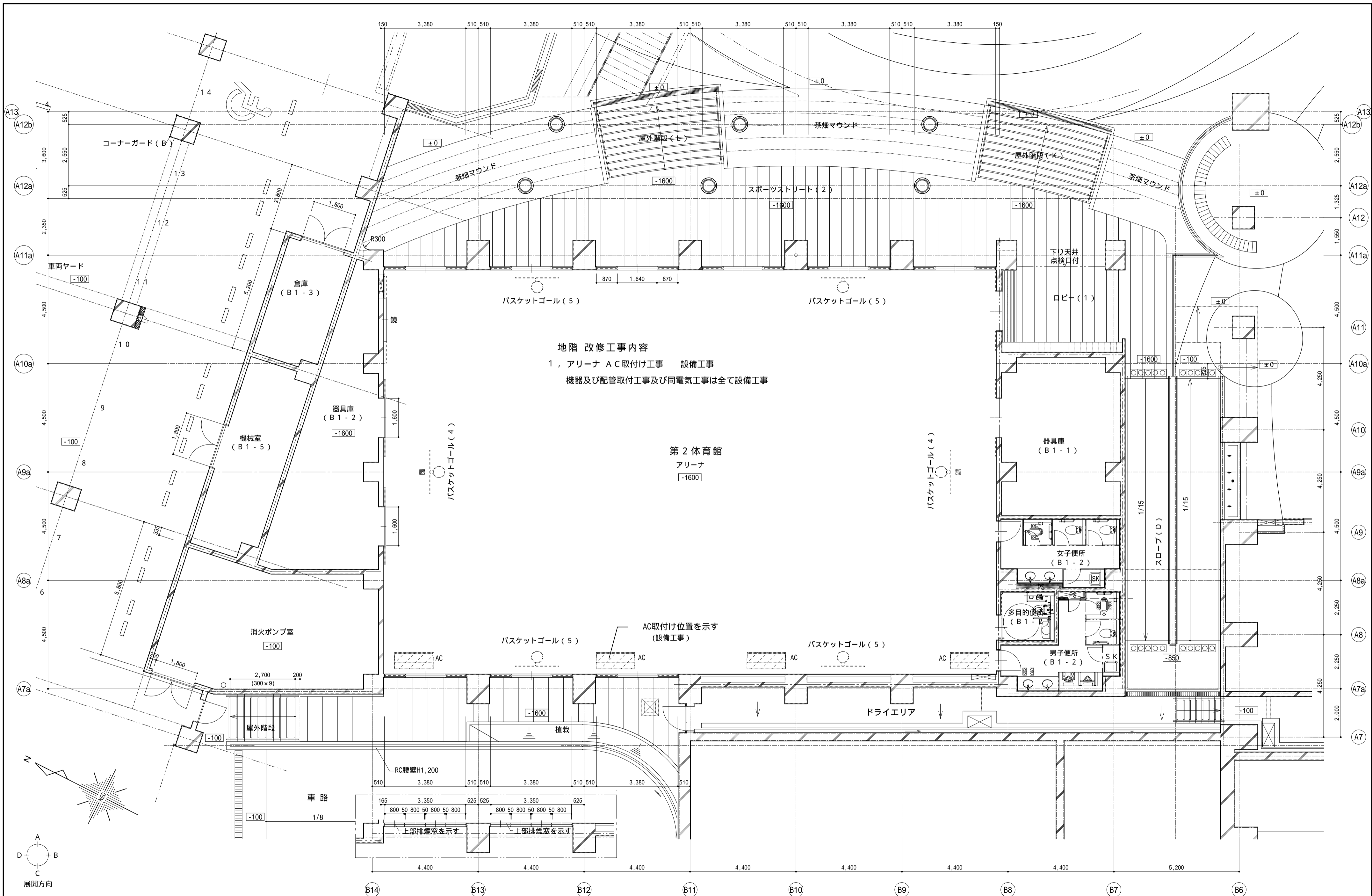
NEO 設計
NEO設計
株式会社
NEO設計
第一級建築士事務所
第一級建築士登録
第187781号 中村剛正

工事名称
宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

図面名称
第1体育館 (仮設図)
立面図、断面図 参考図

縮尺
1/150
年月日
2026.03

図面 No
A-29



備考
印は改修工事内容を示す



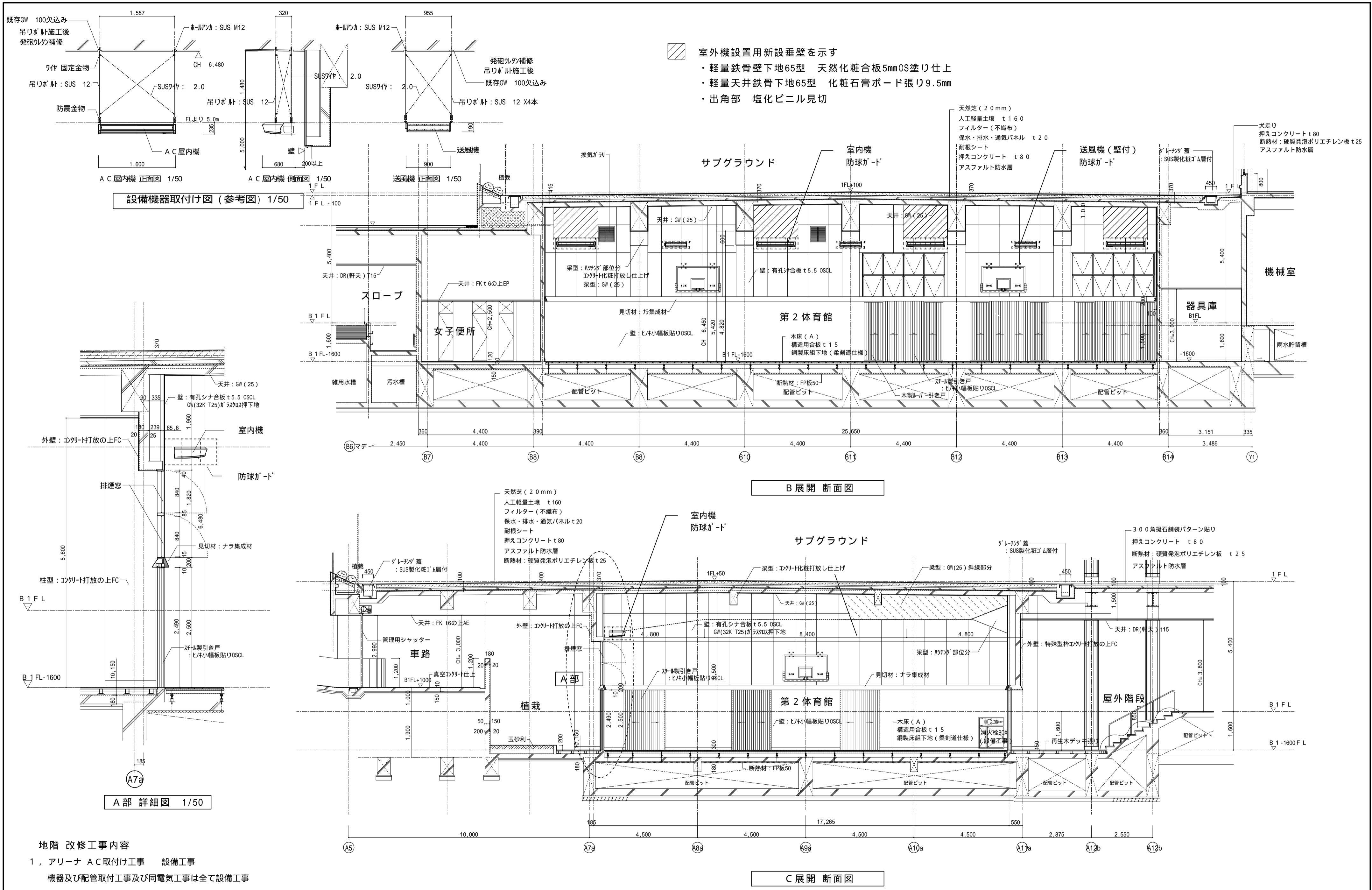
NEO
 一級建築士事務所
 株式会社 NEO設計
 一級建築士登録 第187781号 中村剛正

工事名称
 宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事

図面名称 第2体育館 (現況図)
 地下1階平面図

縮尺 1/100
 年月日 2026.03

図面 No
 A-30



室外機設置用新設垂壁を示す

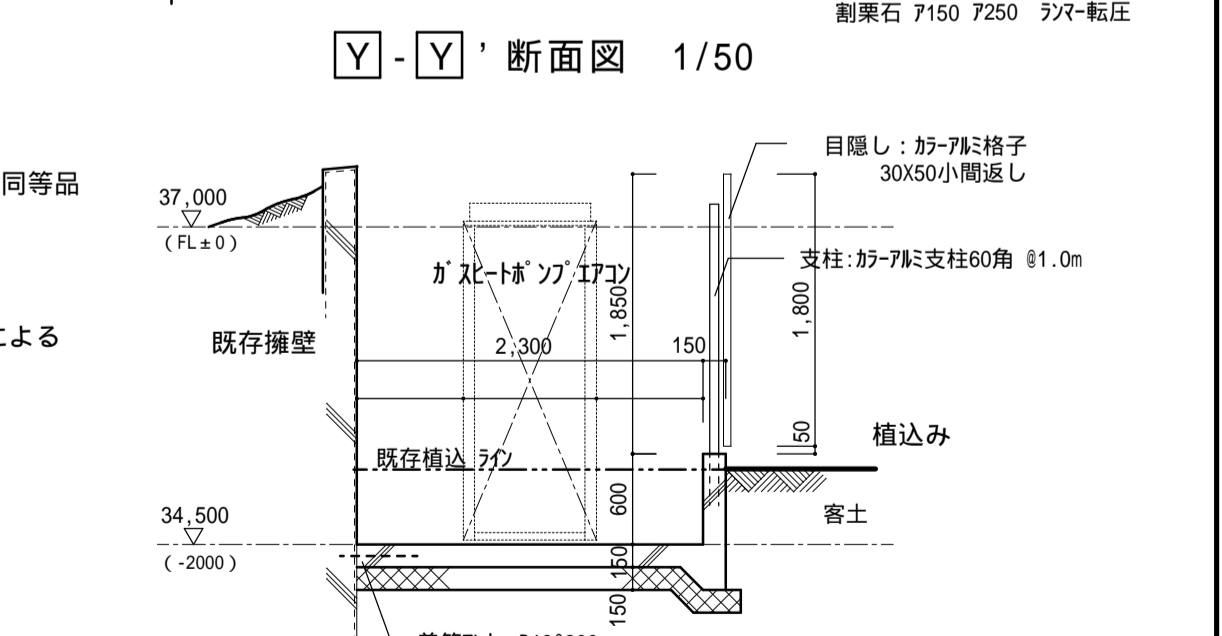
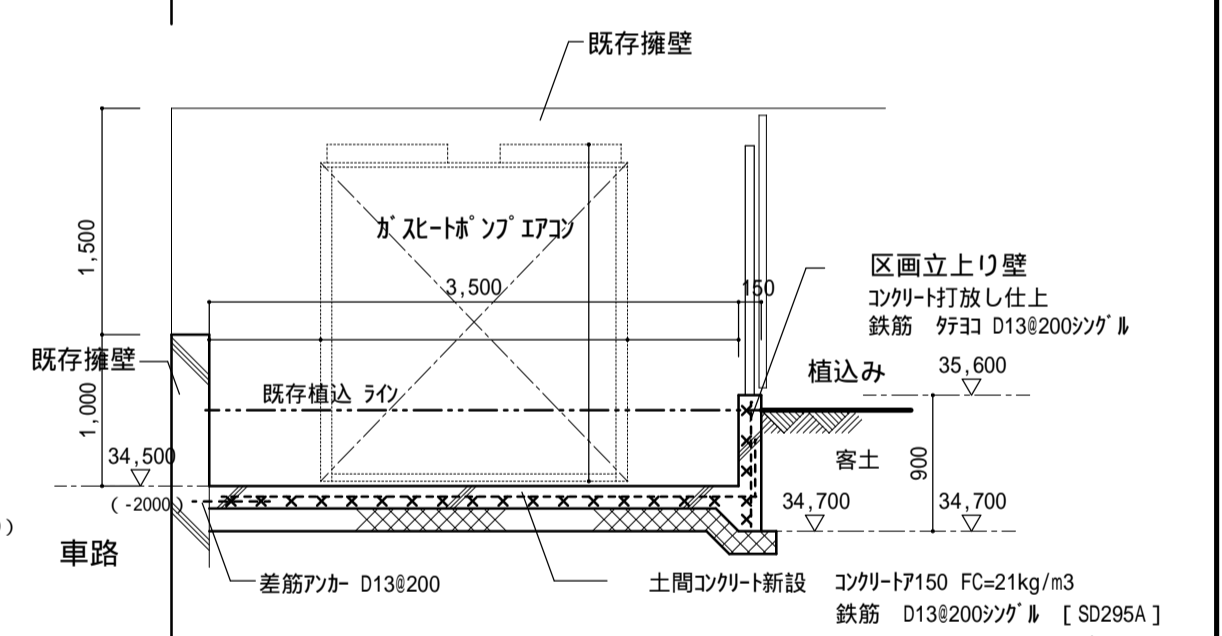
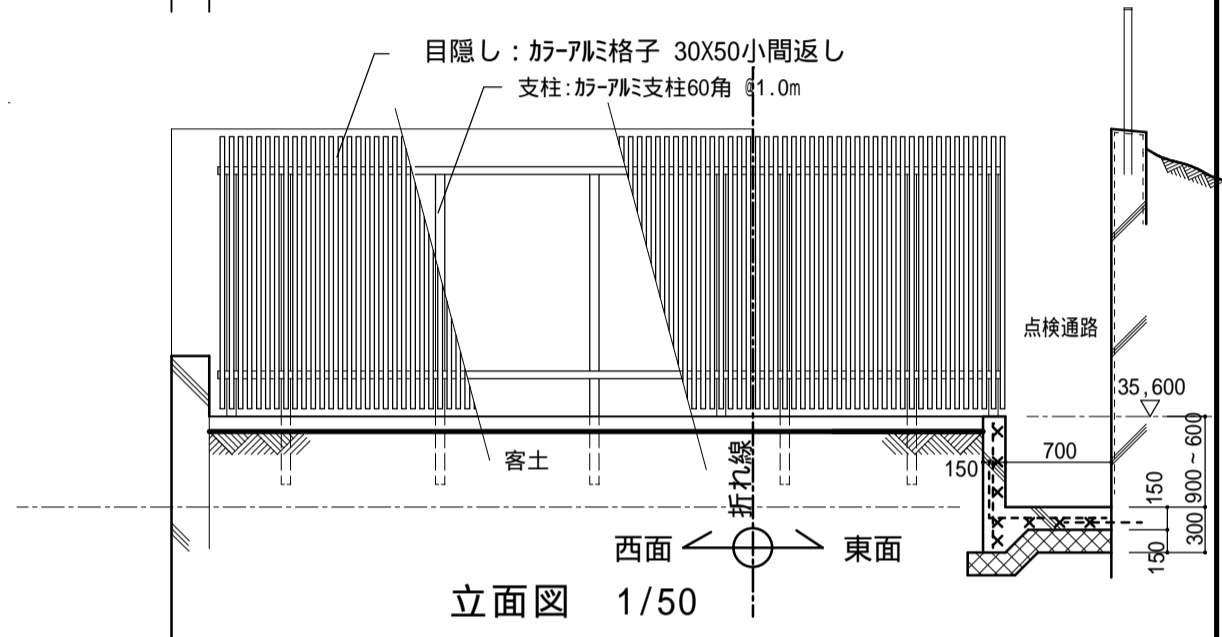
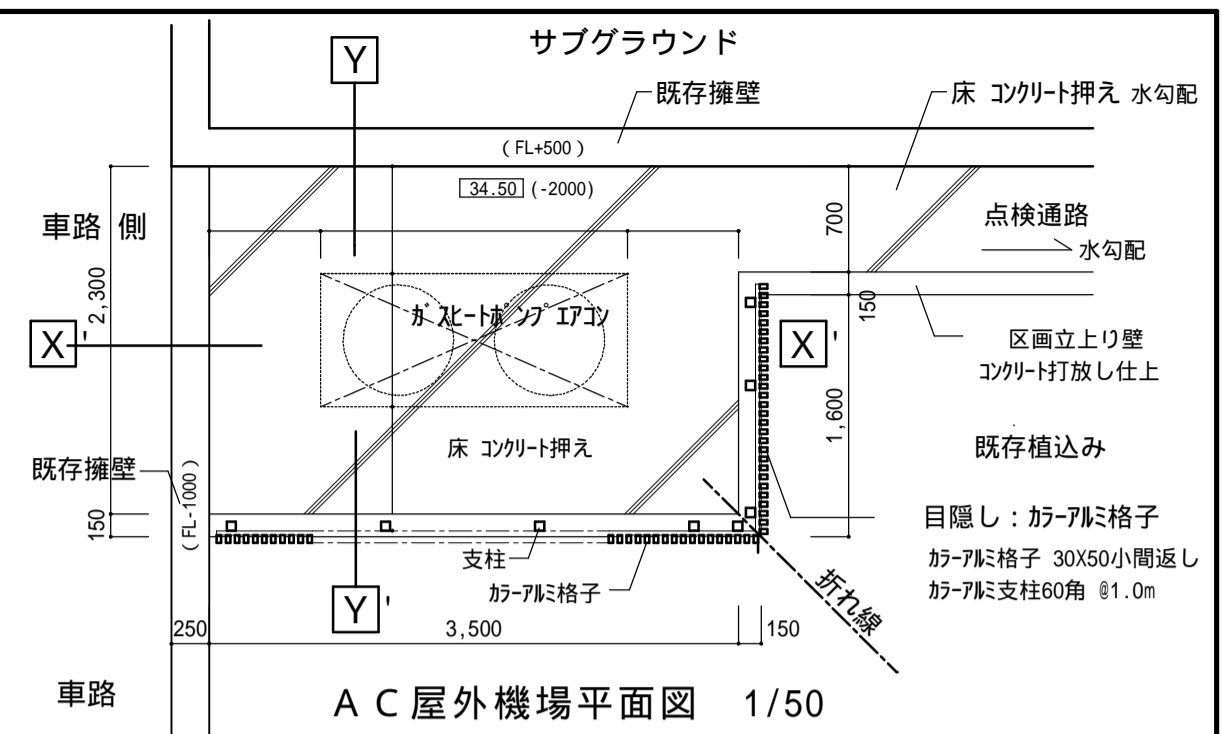
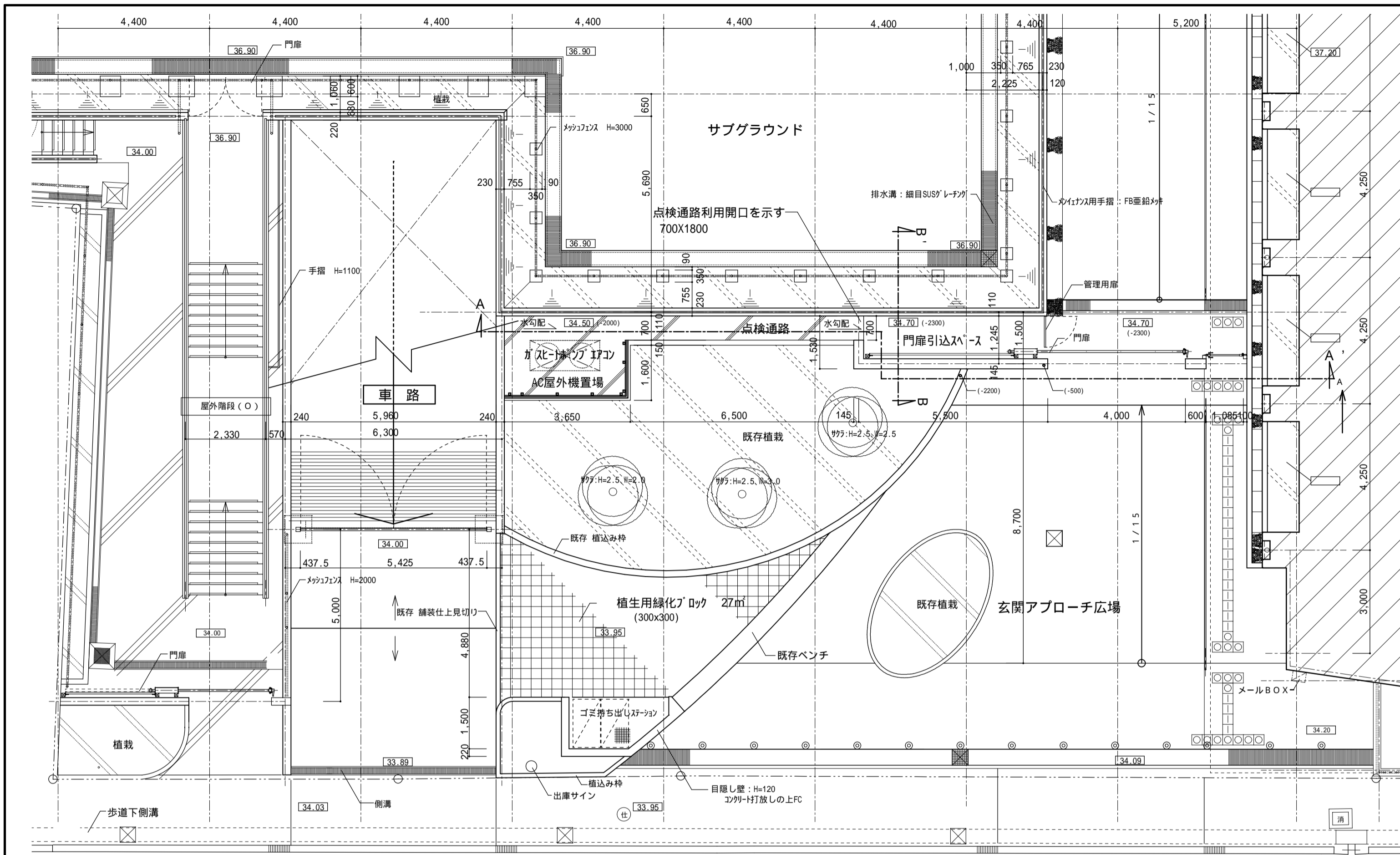
- ・軽量鉄骨壁下地65型 天然化粧合板5mmOS塗り仕上
- ・軽量天井鉄骨下地65型 化粧石膏ボード張り9.5mm
- ・出角部 塩化ビニル見切

地階 改修工事内容

1, アリーナ AC取付け工事 設備工事

機器及び配管取付工事及び同電気工事は全て設備工事

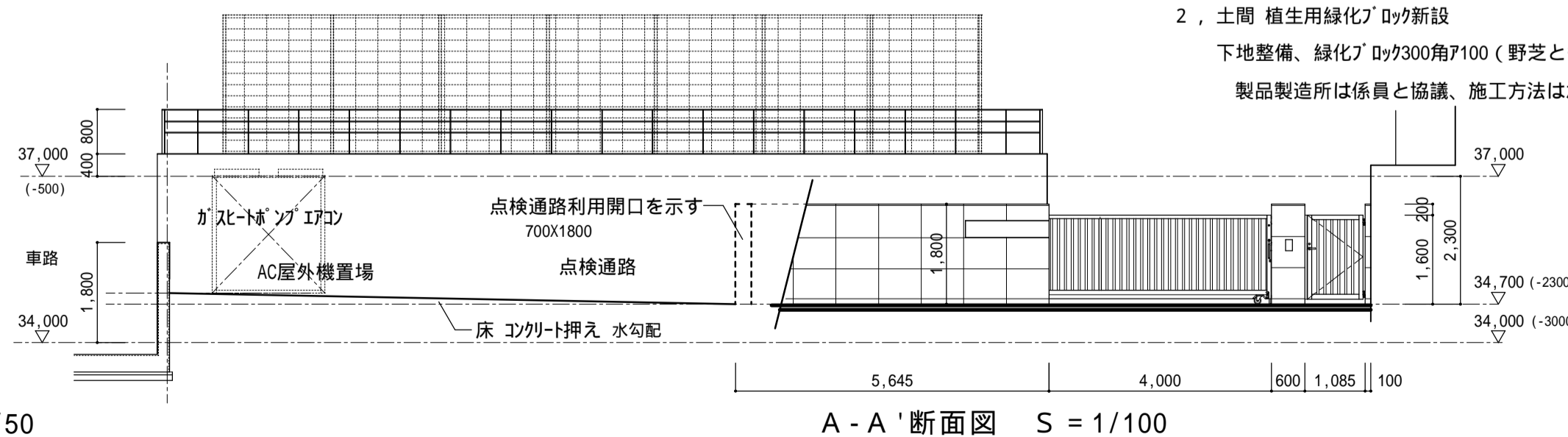
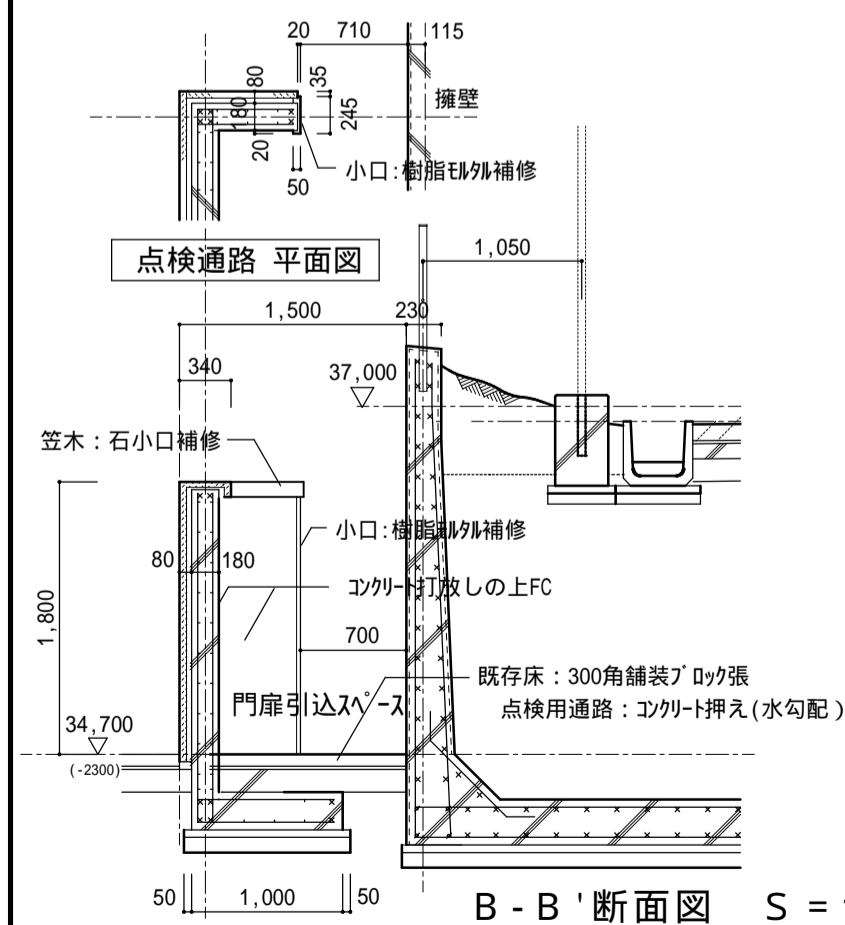
備考 印は改修工事内容を示す	一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村剛正	工事名称 宇治黄檗学園体育館空調設置ほか改修工事	図面名称 第2体育館 (現況図)	縮尺 1/50, 1/100	図面 No A-31
			断面 展開図	年月日 2026.03	

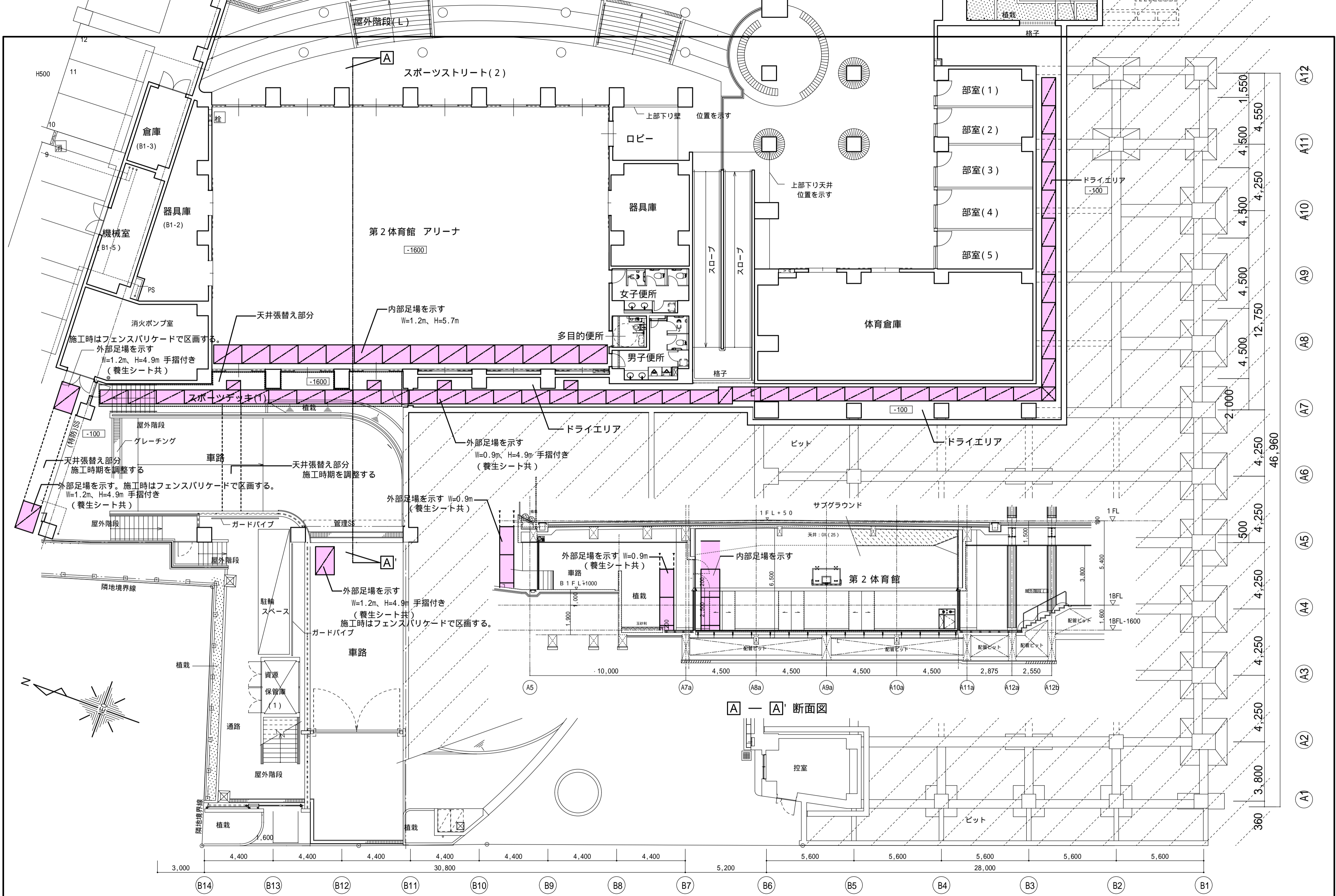


改修配置図 S = 1/100

第2体育館屋外機設置工事内容

- AC屋外機置場周り改修工事
土間及び区画立上りコンクリート工事
目隠しフェンス設置工事
カーアルミ格子 千本格子エツト30X50 (株)カシヨ同等品
- 土間 植生用緑化ブロック新設
下地整備、緑化ブロック300角7100 (野芝とも)
製品製造所は係員と協議、施工方法はカワ'による





A - A' 断面図

